

高浜市まちづくりや市民生活の現状
及び児童・生徒の意識や行動に関する
アンケート報告書
【概要版】



平成29年6月

高 浜 市

目 次

I	「市民意識調査」「小・中学生アンケート」の実施概要について.....	1
1	調査の概要.....	1
2	調査結果の表示方法.....	1
	<まちづくりや市民生活の現状についてのアンケート>.....	2
II	回答者属性（設問 34）.....	2
1	性別.....	2
2	年齢.....	2
3	居住地区.....	2
4	居住年数.....	3
5	職業.....	3
6	通勤・通学先.....	3
III	アンケート結果概要.....	4
1	高浜市のまちの状況について.....	4
2	高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について.....	9
3	今後の高浜市における重要施策について.....	19
IV	高浜市のまちの状況について（設問 1～11）.....	20
V	高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について（設問 12～32）.....	42
VI	今後の高浜市における重要施策について（設問 33）.....	82
VII	児童・生徒の意識や行動に関するアンケート.....	84
1	回答者属性.....	84
①	性別（問 1）.....	84
②	学年（問 2）.....	84
③	小学校・中学校（問 3）.....	84
2	児童・生徒の意識（問 4～11）.....	85

I 「市民意識調査」「小・中学生アンケート」の実施概要について

1 調査の概要

◆調査目的	<p>本調査は、高浜版総合戦略に掲げる重要業績評価指標等の現状値や、第6次高浜市総合計画中期基本計画（平成26年度～平成29年度）におけるまちづくりの進み具合を測るために掲げる「みんなで目指すまちづくり指標」の実績値を測定するために実施した。</p> <p>調査結果（分析・とりまとめ結果）は、第6次高浜市総合計画中期基本計画の「施策評価」において活用する。</p>	
◆調査区分	まちづくりや市民生活の現状についてのアンケート	児童・生徒の意識や行動に関するアンケート
◆調査対象	高浜市内在住の18歳以上の市民から無作為に抽出した2,500人	高浜市内の小学3年生から中学3年生合計3,578人
◆調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ① 回答者の属性 ② 高浜市のまちの状況について ③ 高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について ④ 今後の高浜市における重要施策について ⑤ 高浜市のまちづくりについての自由意見 	<ul style="list-style-type: none"> ① 回答者の属性 ② 児童・生徒の意識 ③ 高浜市のまちづくりについての自由意見
◆調査方法	郵送による配布・回収	学校を通じた配布・回収
◆調査期間	平成29年4月5日に配布 5月2日を回答期限として回収	平成29年4月14日に配布 4月24日までに回収
◆回収状況	<ul style="list-style-type: none"> ・配布数 2,500票 ・有効回収数 856票 ・有効回収率 34.2% <p>《参考》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期基本計画推進時調査（平成25年4月） 有効回収数 1,069票 有効回収率 42.8% ・中期基本計画策定時調査（平成25年11月） 有効回収数 975票 有効回収率 39.0% ・前回調査（平成28年4月） 有効回収数 922票 有効回収率 36.9% 	<ul style="list-style-type: none"> ・配布数 3,578票 ・有効回収数 3,476票 ・有効回収率 97.1% <p>《参考》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期基本計画推進時調査（平成25年4月） 有効回収数 3,403票 有効回収率 97.3% ・中期基本計画策定時調査（平成25年11月） 有効回収数 3,401票 有効回収率 97.1% ・前回調査（平成28年4月） 有効回収数 3,490票 有効回収率 97.7%

2 調査結果の表示方法

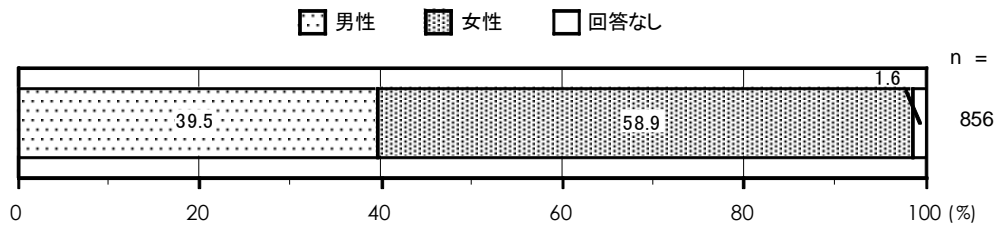
- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・中期基本計画におけるまちづくりの進み具合の進捗がわかるように、中期基本計画策定時に測定した値（平成25年度調査値）、前々回測定した値（平成27年度調査値）、及び前回測定した値（平成28年度調査値）と比較しています。

<まちづくりや市民生活の現状についてのアンケート>

II 回答者属性（設問 34）

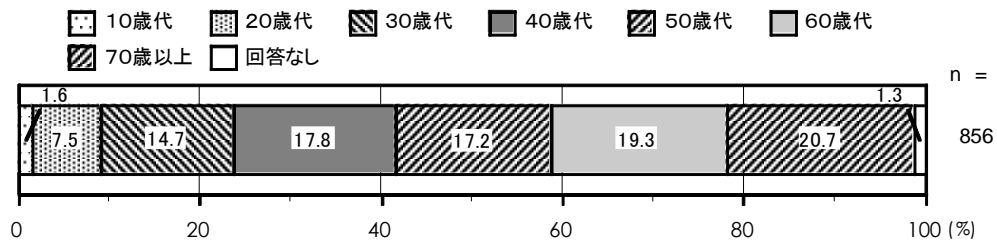
1 性別

「男性」の割合が39.5%、「女性」の割合が58.9%となっています。



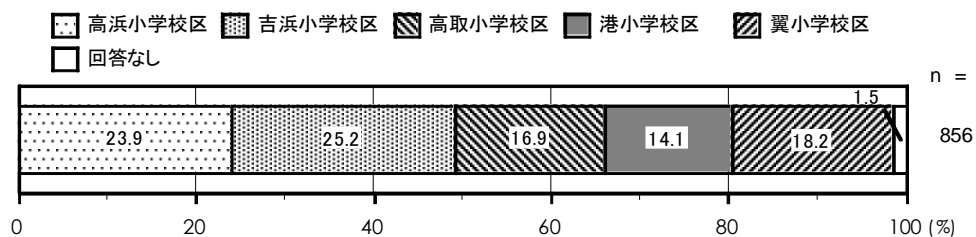
2 年齢

「70歳以上」の割合が20.7%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が19.3%、「40歳代」の割合が17.8%となっています。



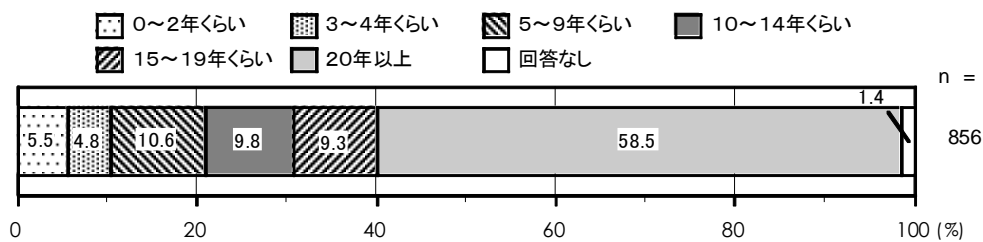
3 居住地区

「吉浜小学校区」の割合が25.2%と最も高く、次いで「高浜小学校区」の割合が23.9%、「翼小学校区」の割合が18.2%となっています。



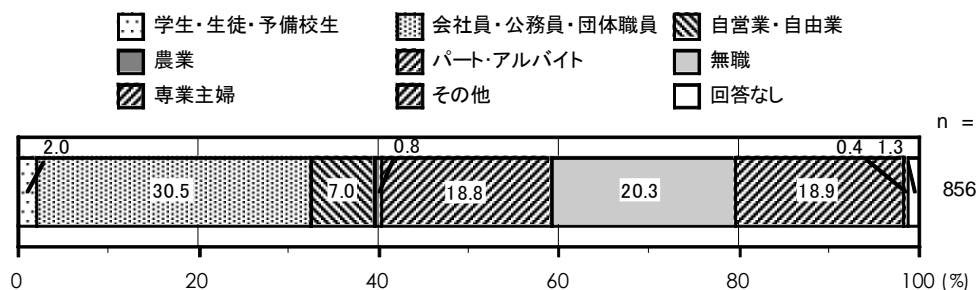
4 居住年数

「20年以上」の割合が58.5%と最も高くなっています。



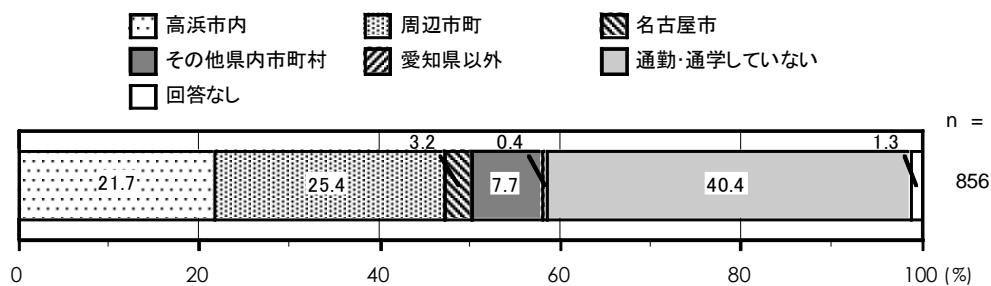
5 職業

「会社員・公務員・団体職員」の割合が30.5%と最も高く、次いで「無職」の割合が20.3%、「専業主婦」の割合が18.9%となっています。



6 通勤・通学先

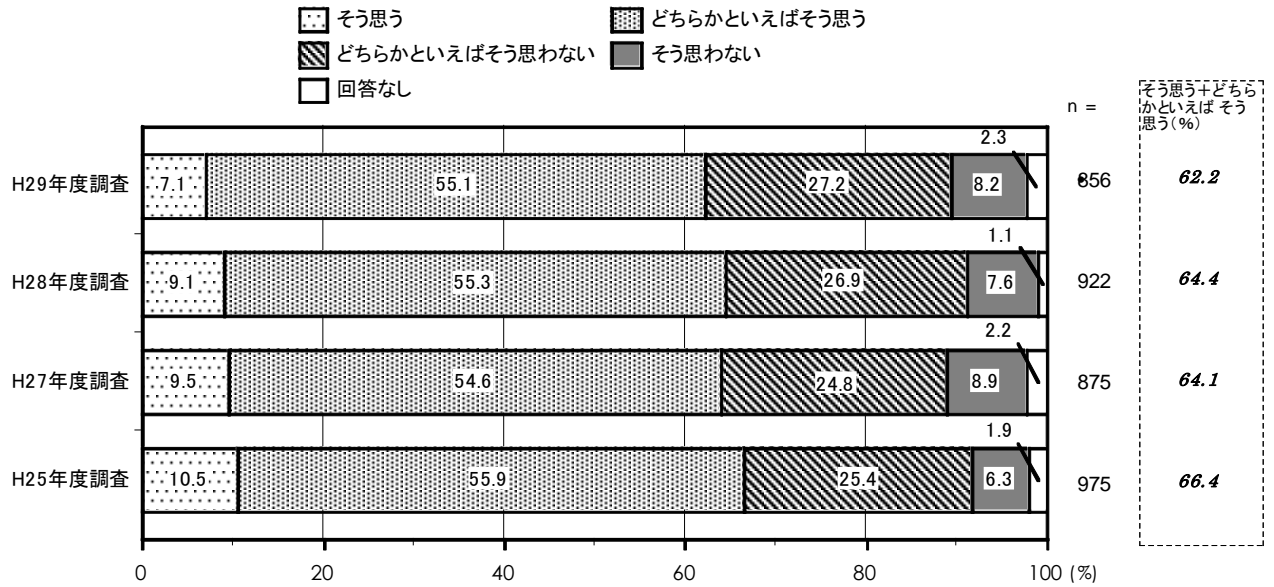
「通勤・通学していない」の割合が40.4%と最も高く、次いで「周辺市町（安城・刈谷・碧南・半田・東浦）」の割合が25.4%、「高浜市内」の割合が21.7%となっています。



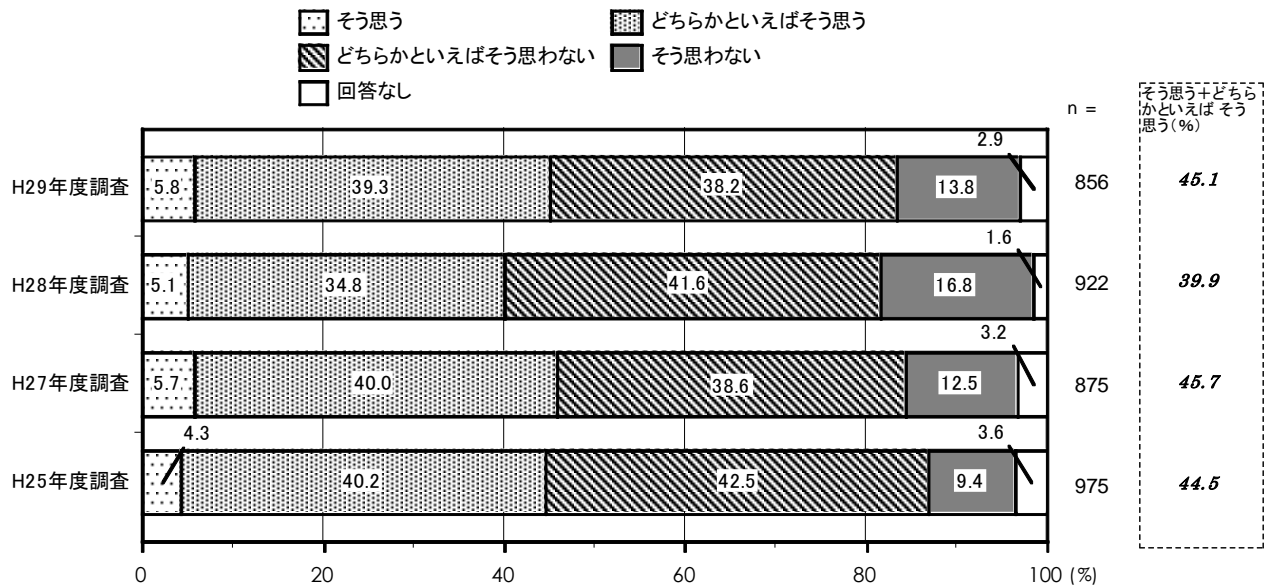
Ⅲ アンケート結果概要

1 高浜市のまちの状況について

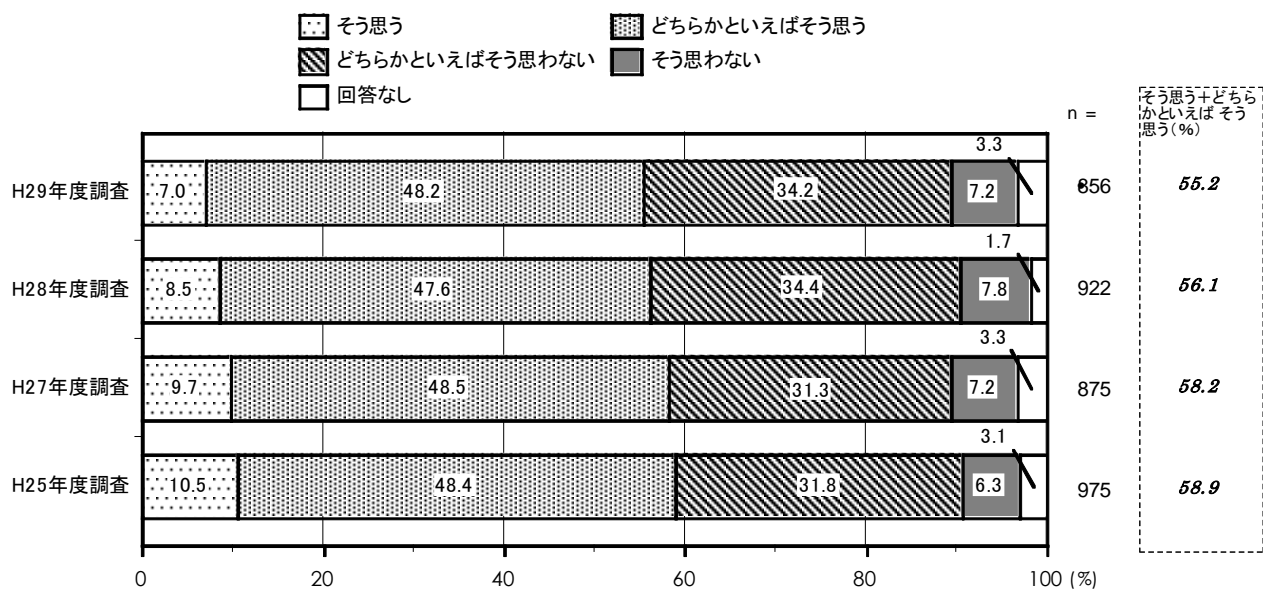
設問1 まちを愛する想いが生まれ、市民みんなが連携・協力して、まちづくりを行っているまちだと思う。



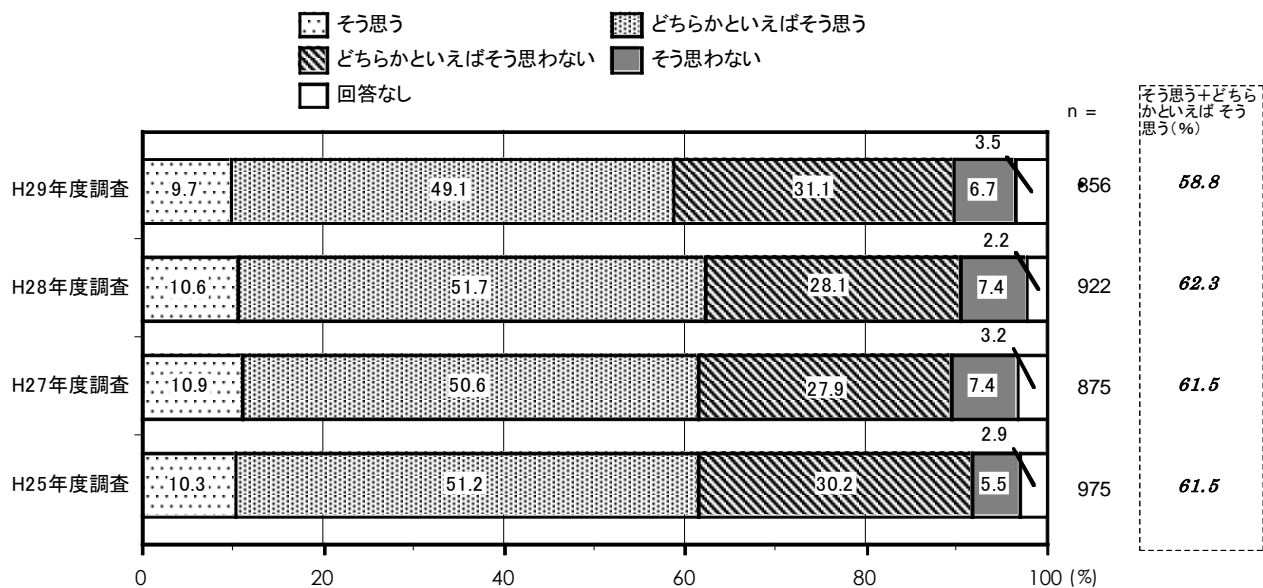
設問2 将来を見据え、計画的で効果的な財政運営が行われているまちだと思う。



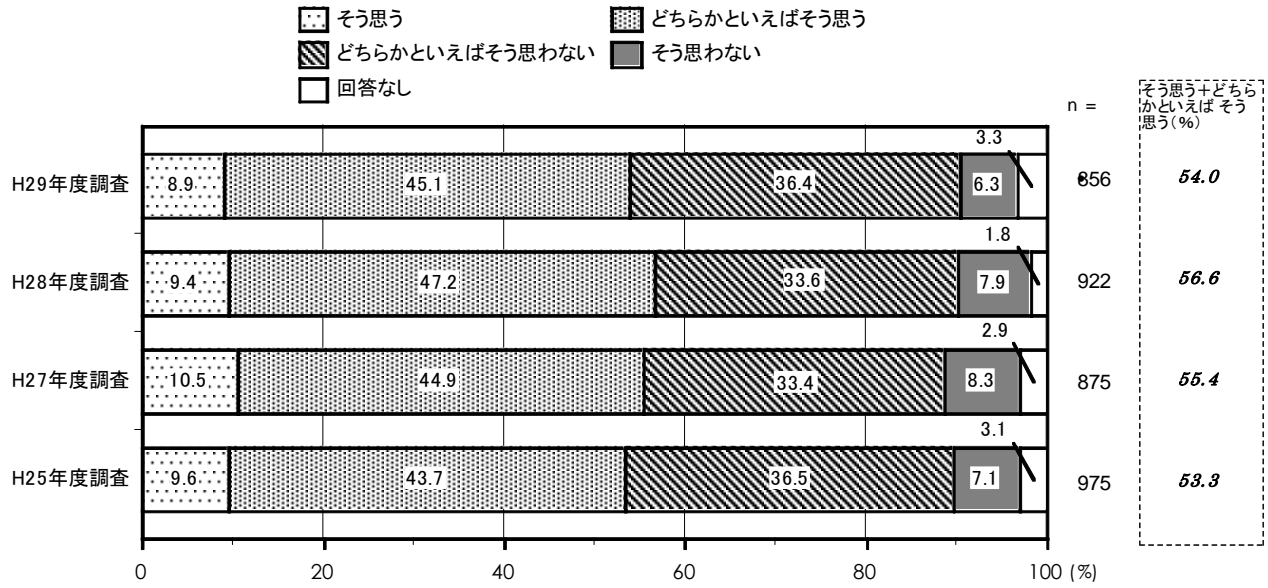
設問3 学び（生涯学習やスポーツなど）を通して、人と人がつながり、まちづくりを担う人が育っているまちだと思う。



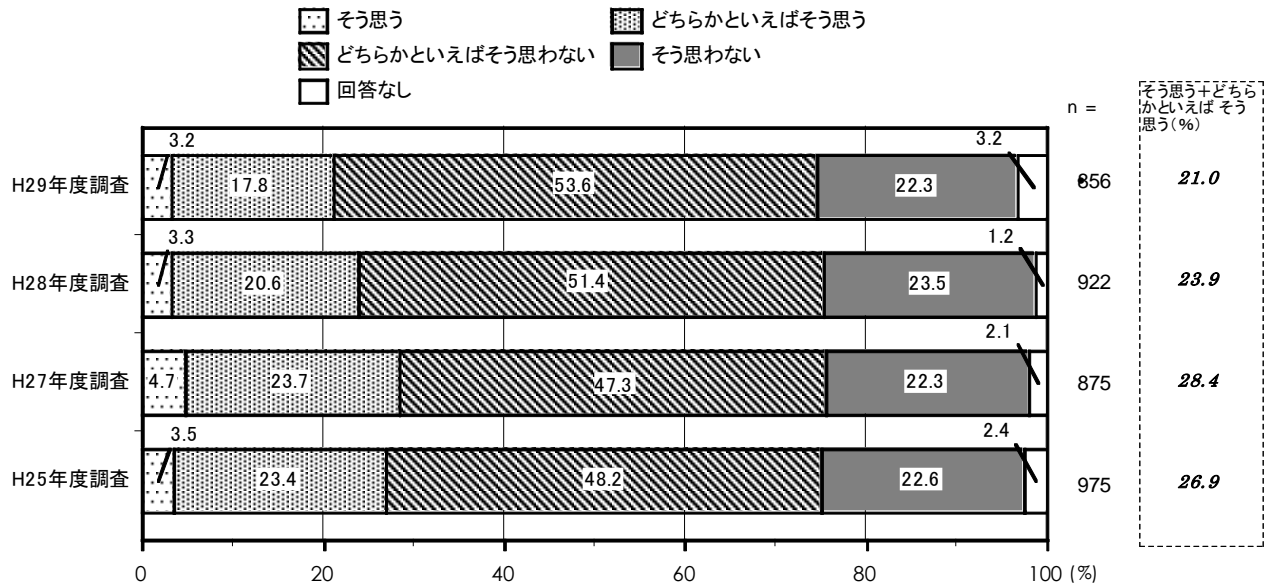
設問4 学校・家庭・地域が連携し、子どもの12年間（4歳～15歳）の学びや育ちを育む体制が整っているまちだと思う。



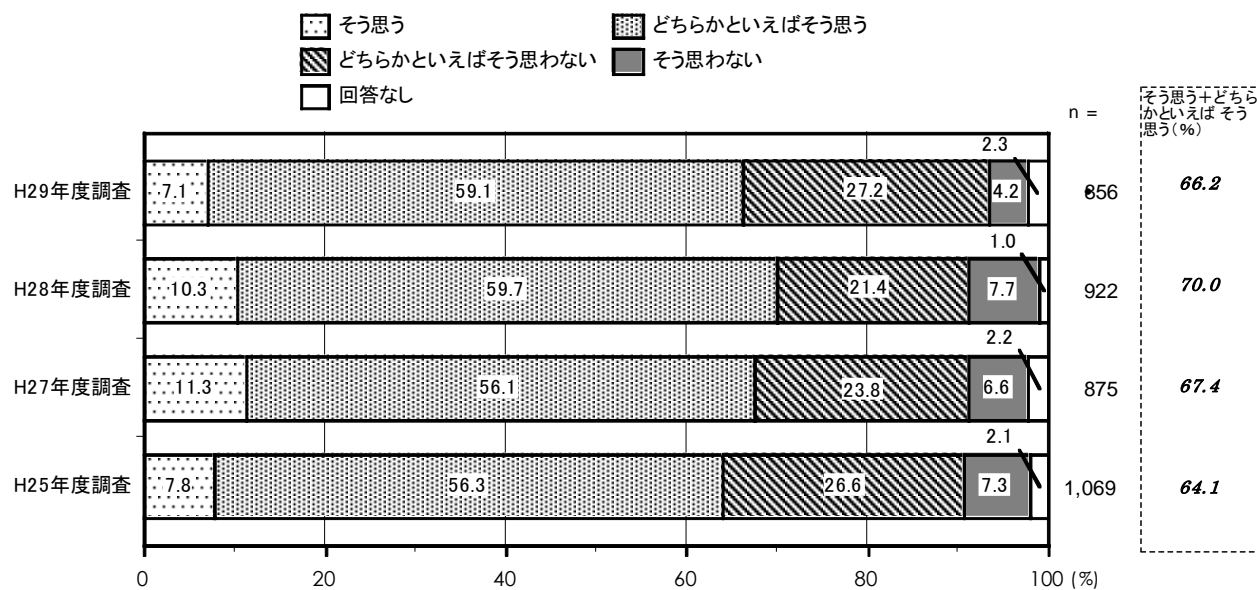
設問5 地域ぐるみで、子育てを支えているまちだと思う。



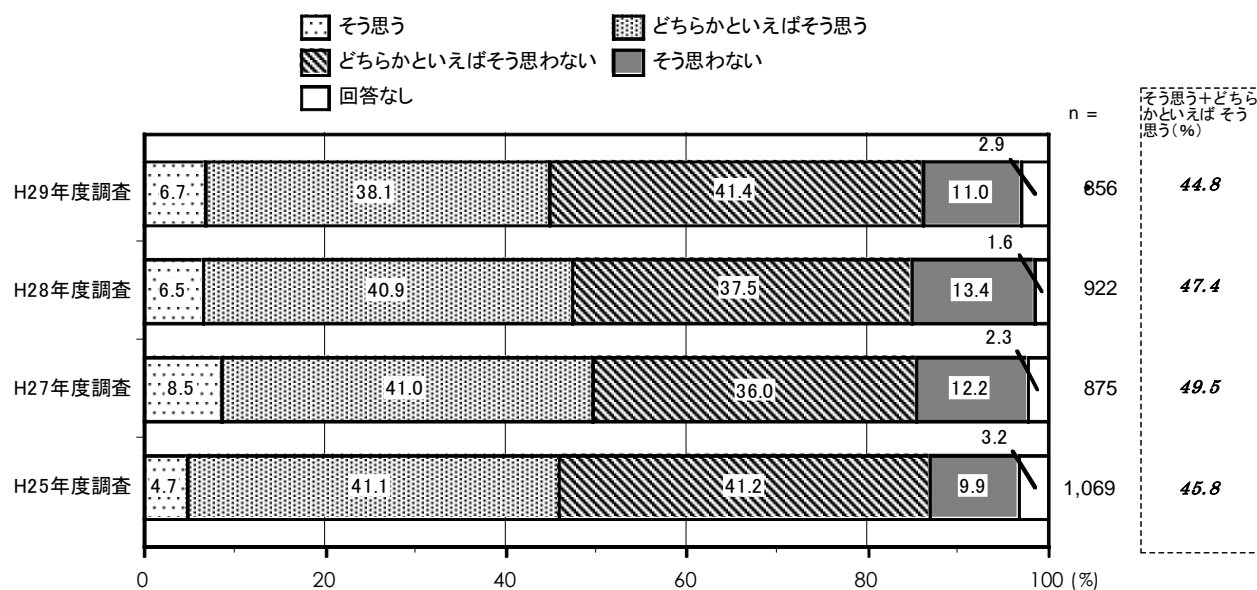
設問6 産業が活性化して、まちが元気になっていると思う。



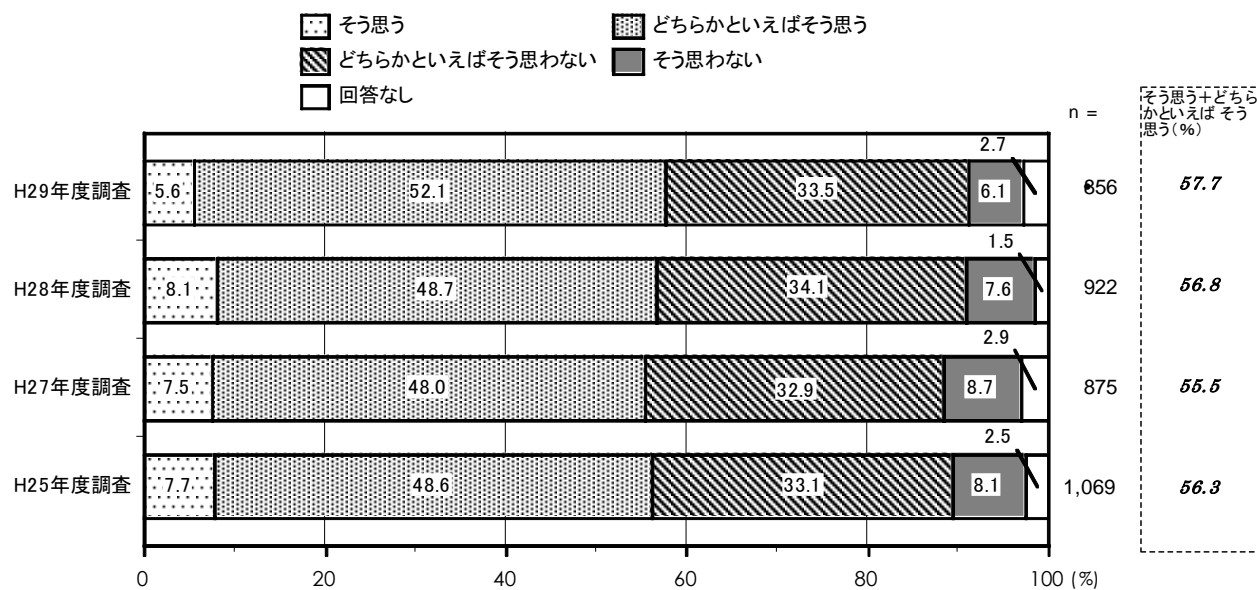
設問7 みんなで環境美化・保安全に取り組んでおり、きれいなまちだと思う。



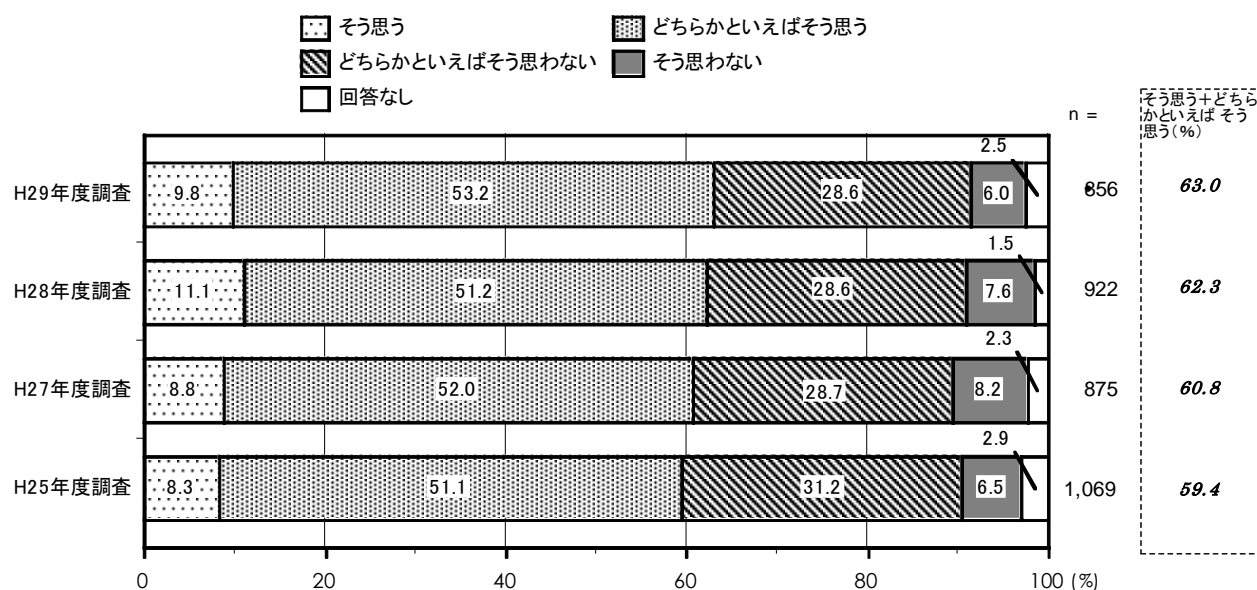
設問8 調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思う。



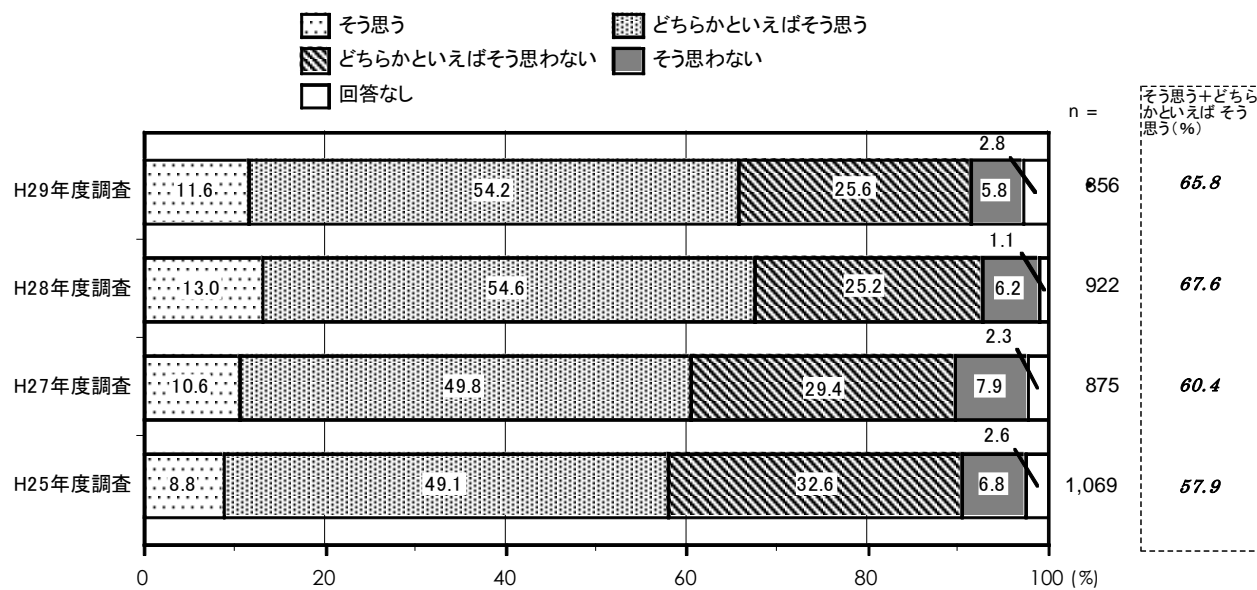
設問9 安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思う。



設問10 一人ひとりが認め合い、高齢者や障がい者などがいきいき暮らすことができるまちだと思う。

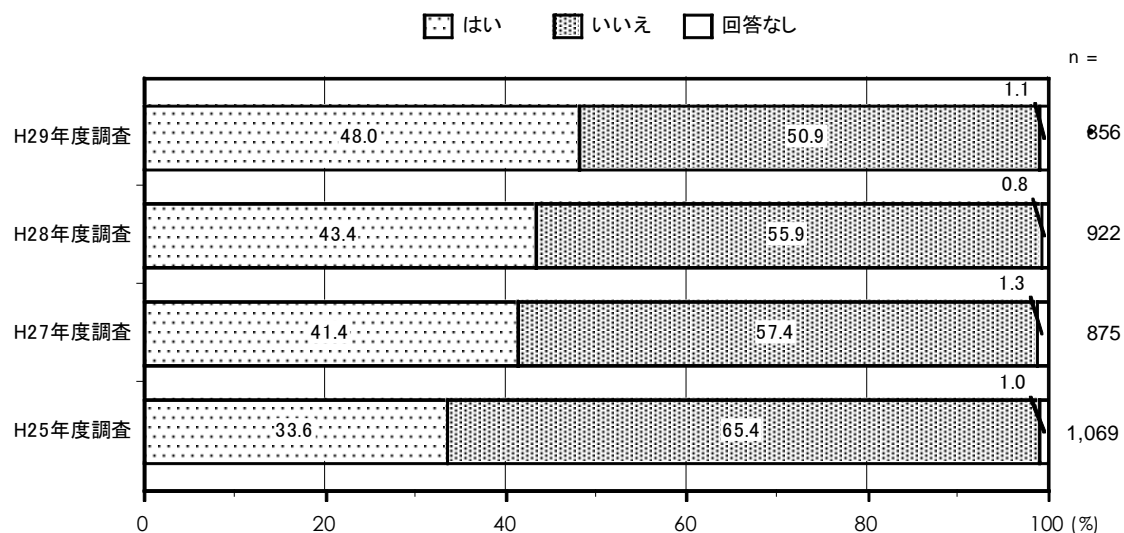


設問 11 一人ひとりの元気と健康づくりを応援しているまちだと思う。

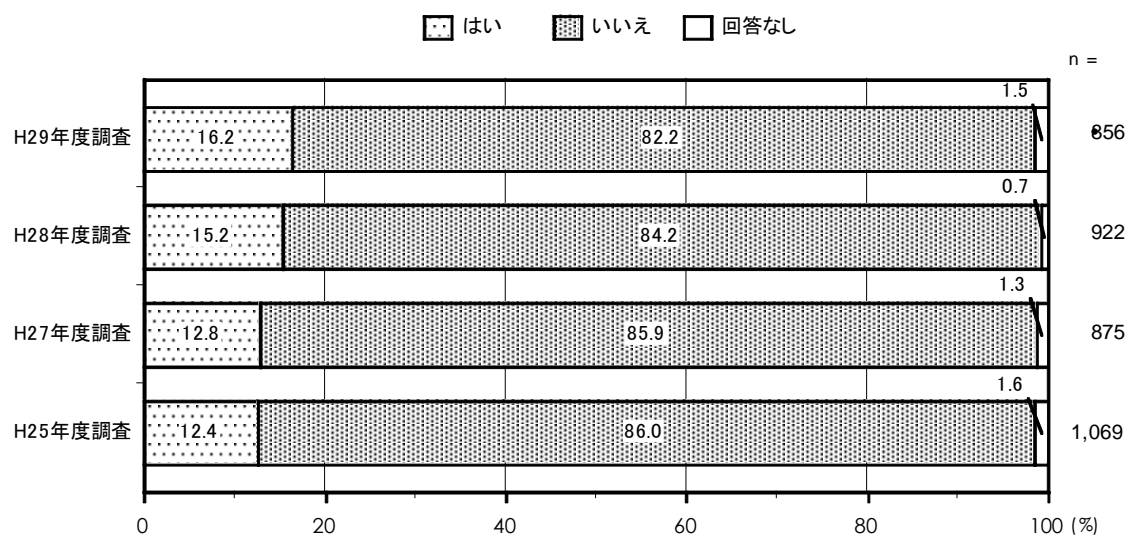


2 高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について

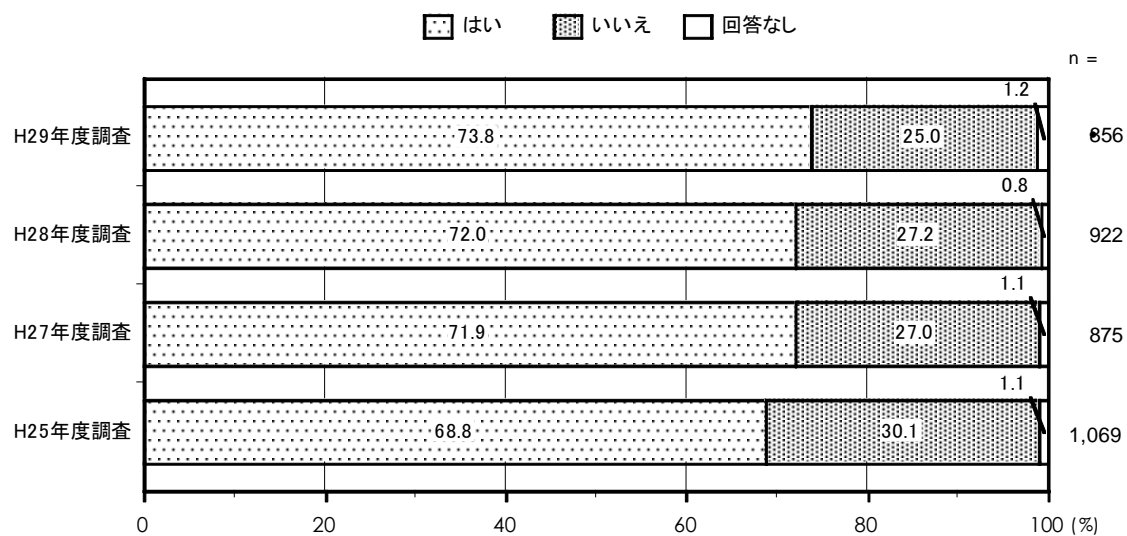
設問 12 あなたは、高浜市のまちづくりのキャッチフレーズ「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかハマ」を知っていますか？



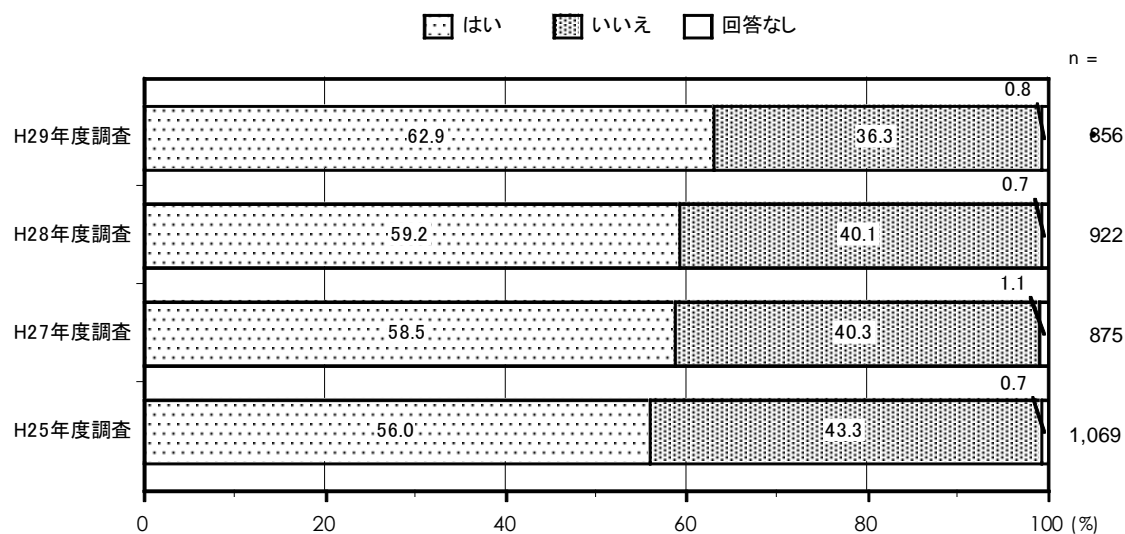
設問 13 あなたは、「私たちの愛するまち高浜市を未来へとつなげていくために」を前文とする「高浜市自治基本条例」を知っていますか？



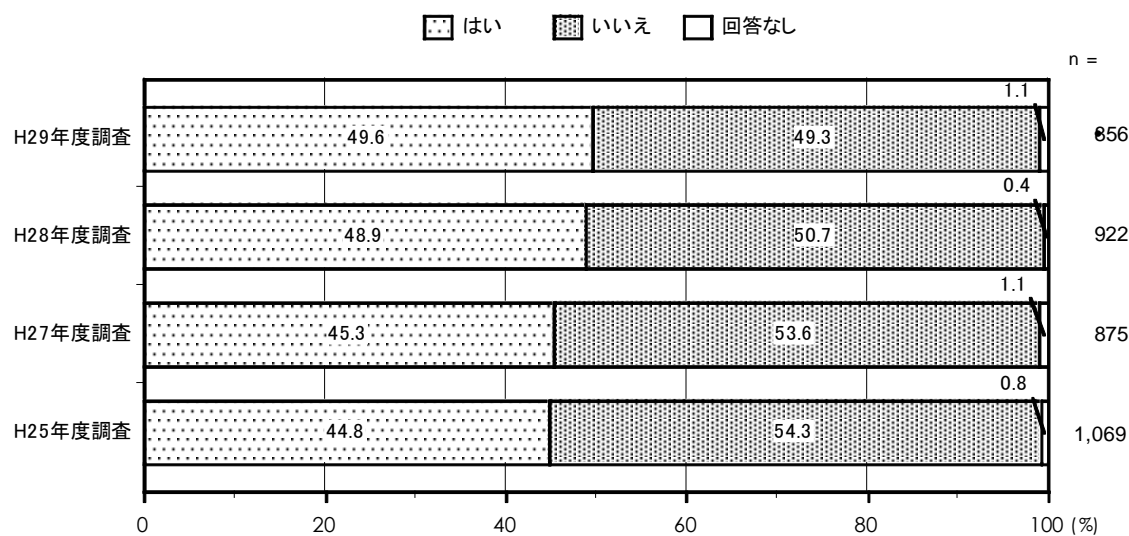
設問 14 あなたは、高浜市の財政状況に関心がありますか？



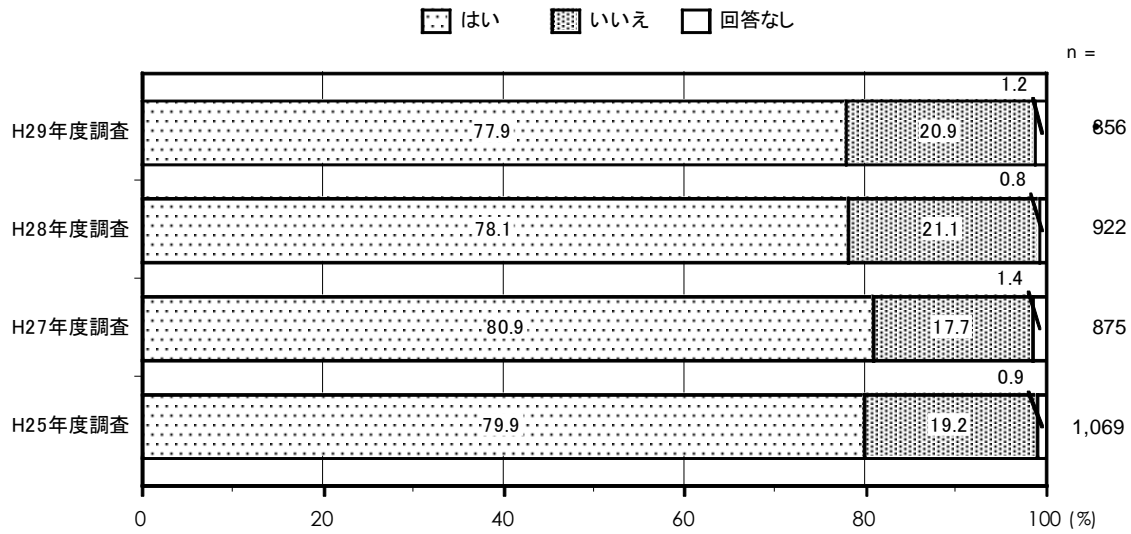
設問 15 あなたは、地域活動に参加したことがありますか？



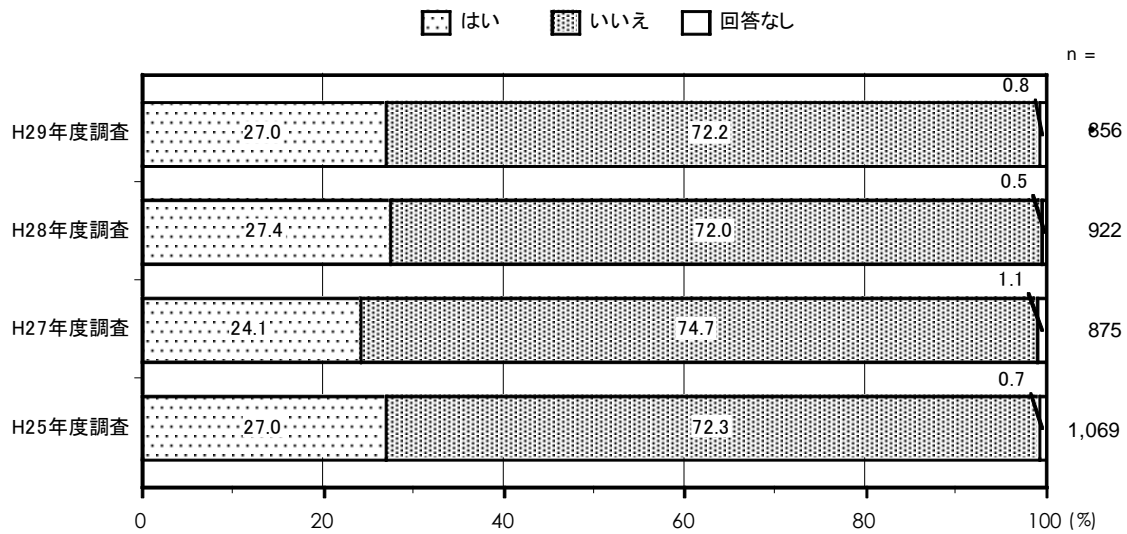
設問 16 あなたは、子どもとふれあう行事に参加したことがありますか？



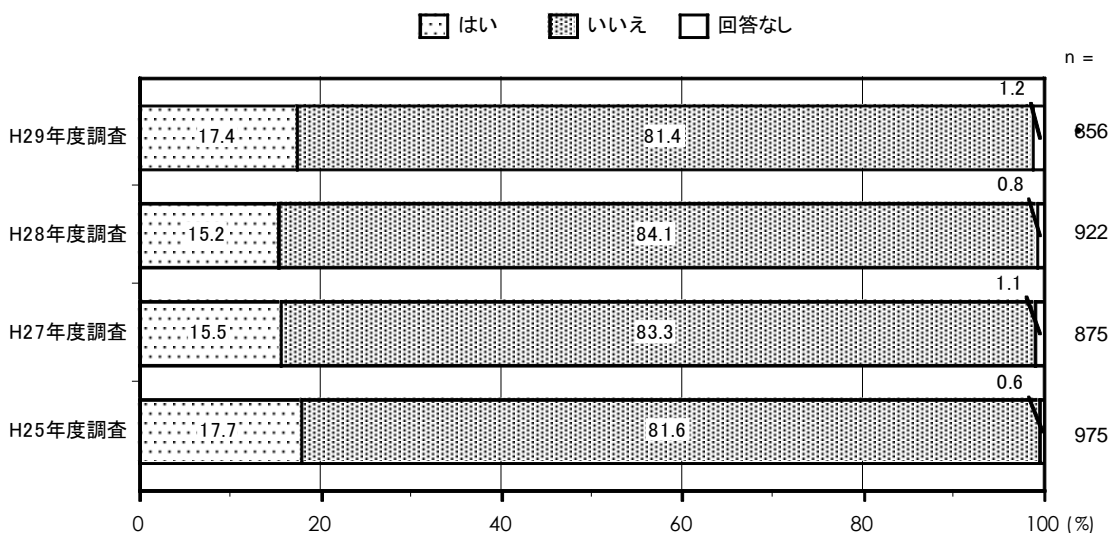
設問 17 あなたは、日ごろから省エネや省資源など環境に配慮した生活をしていますか？



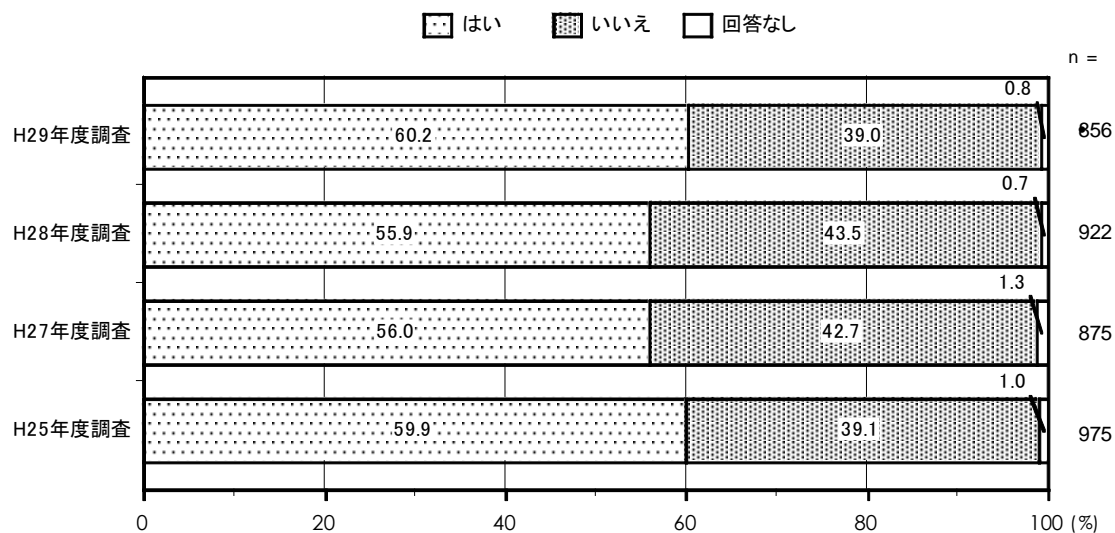
設問 18 あなたは、公園・緑地づくりや、街路樹の手入れ、憩いの場となる川づくり海辺づくりに参加したことがありますか？



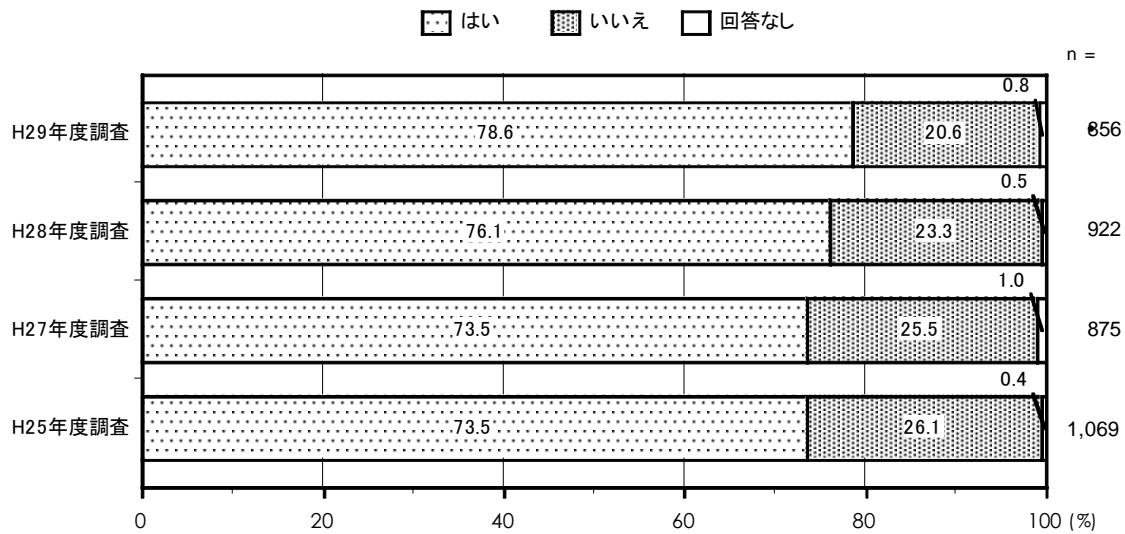
設問 19 あなたは、地域福祉に関するボランティア活動（困りごとを抱える人への見守りや生活の手助け、災害時要援護者支援など）に参加したことがありますか？



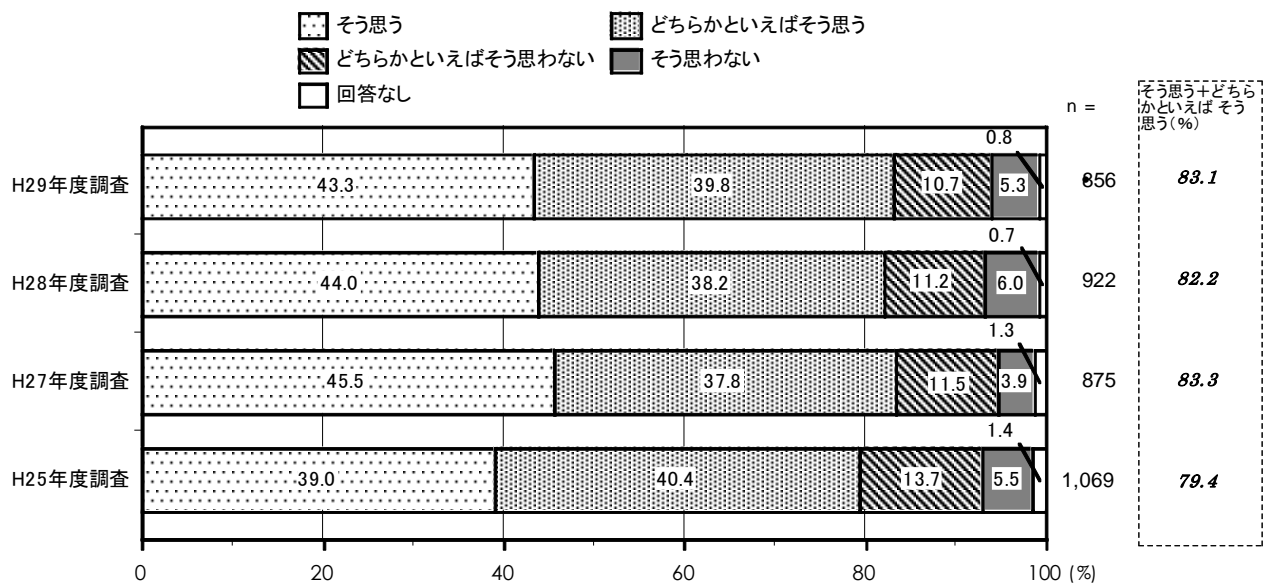
設問 20 あなたは、高浜市いきいき広場にある、育児・介護・健康・生活困窮などの不安を抱えた人が相談できる福祉の総合窓口「地域包括支援センター」を知っていますか？



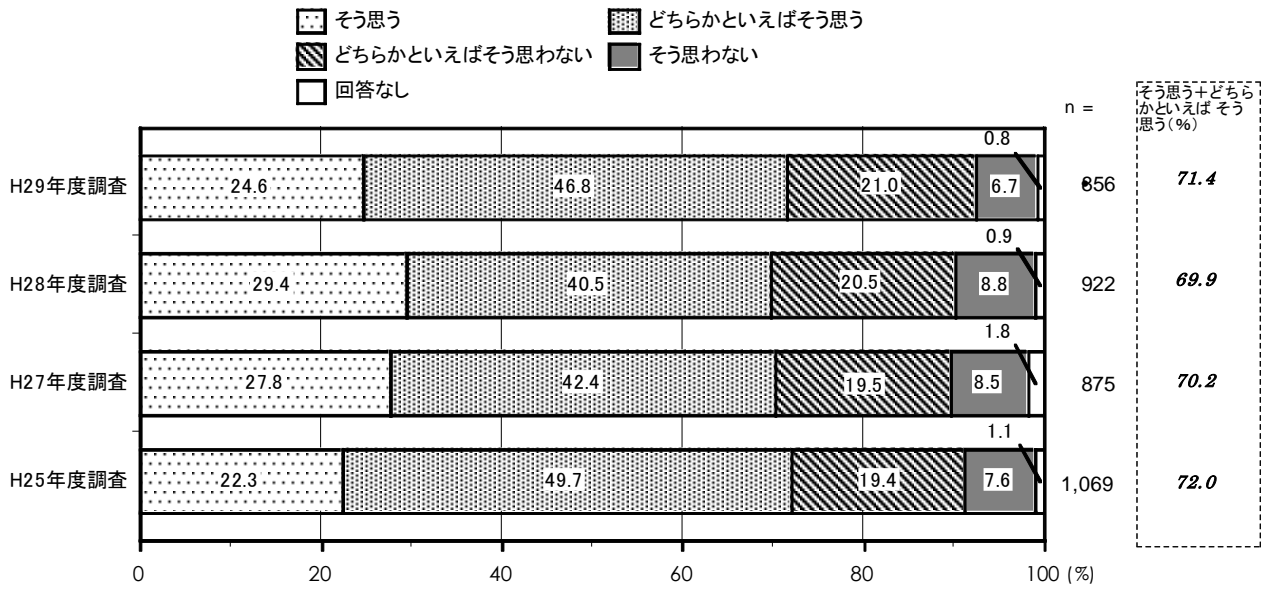
設問 21 あなたは、かかりつけ医を持っていますか？



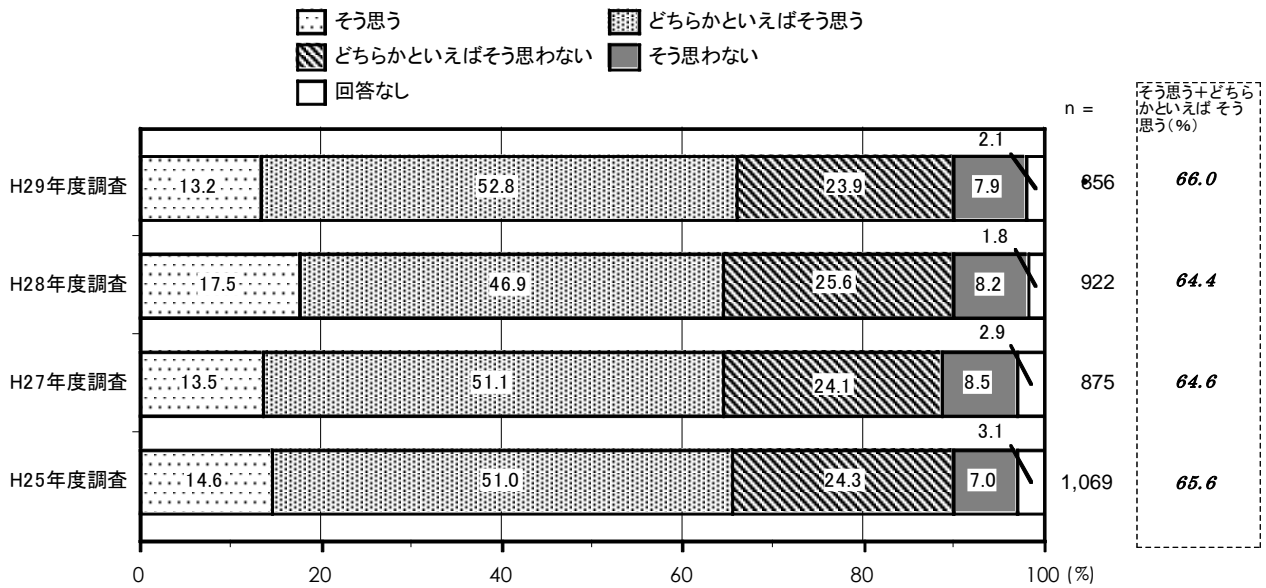
設問 22 今後も高浜市に長く住み続けたいと思う。



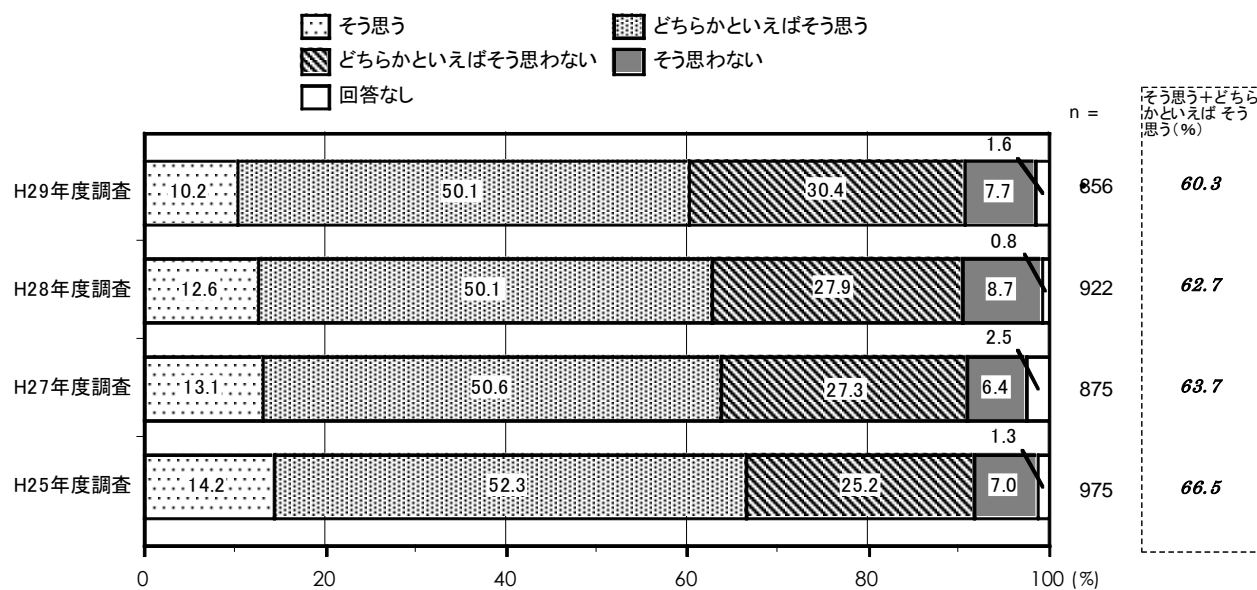
設問 23 高浜市に愛着や誇りを感じる。



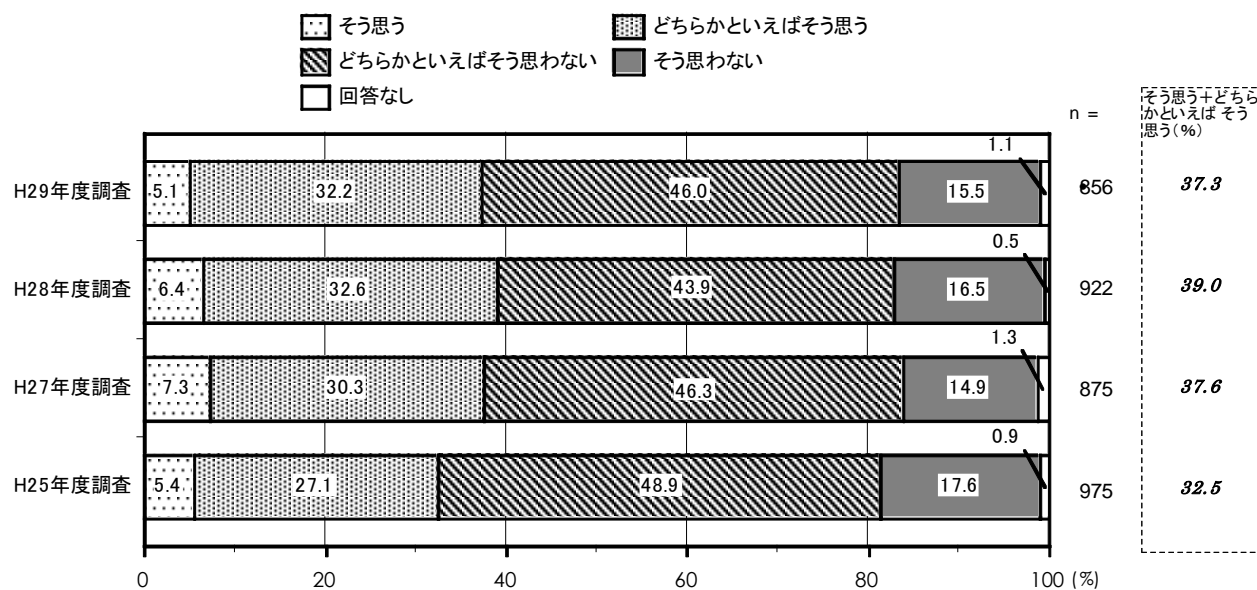
設問 24 高浜市は、子どもを産み、育てやすいまちだと思う。



設問 25 高浜市は、暮らしやすい環境が形成されているまちだと思う。

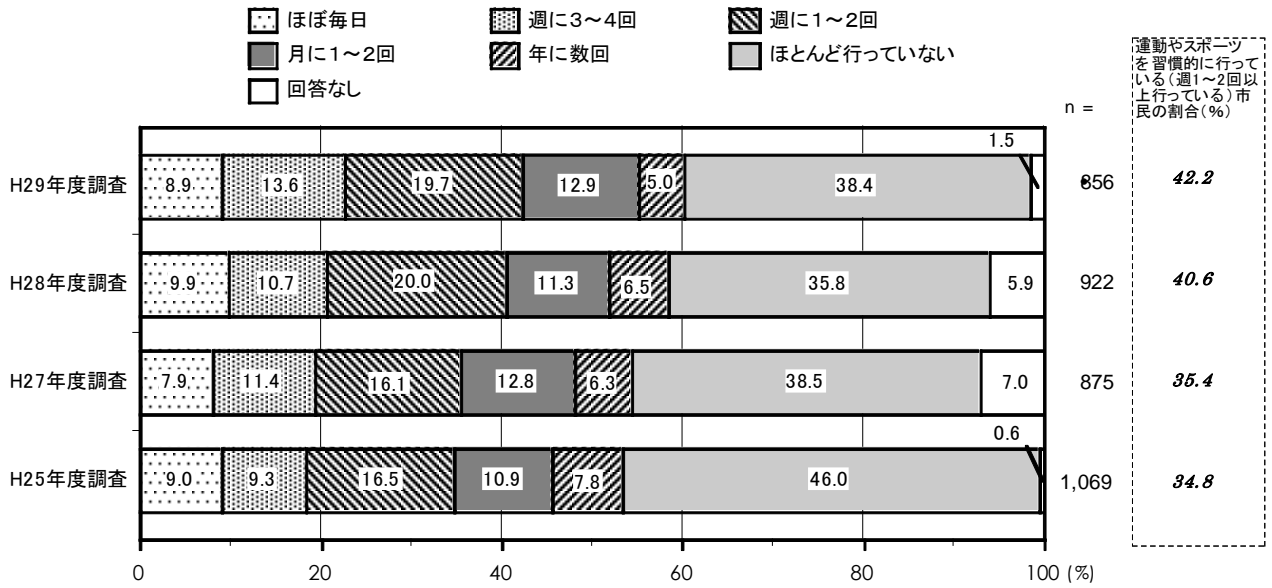


設問 26 あなた自身、災害（地震や風水害など）への備えができていると思う。



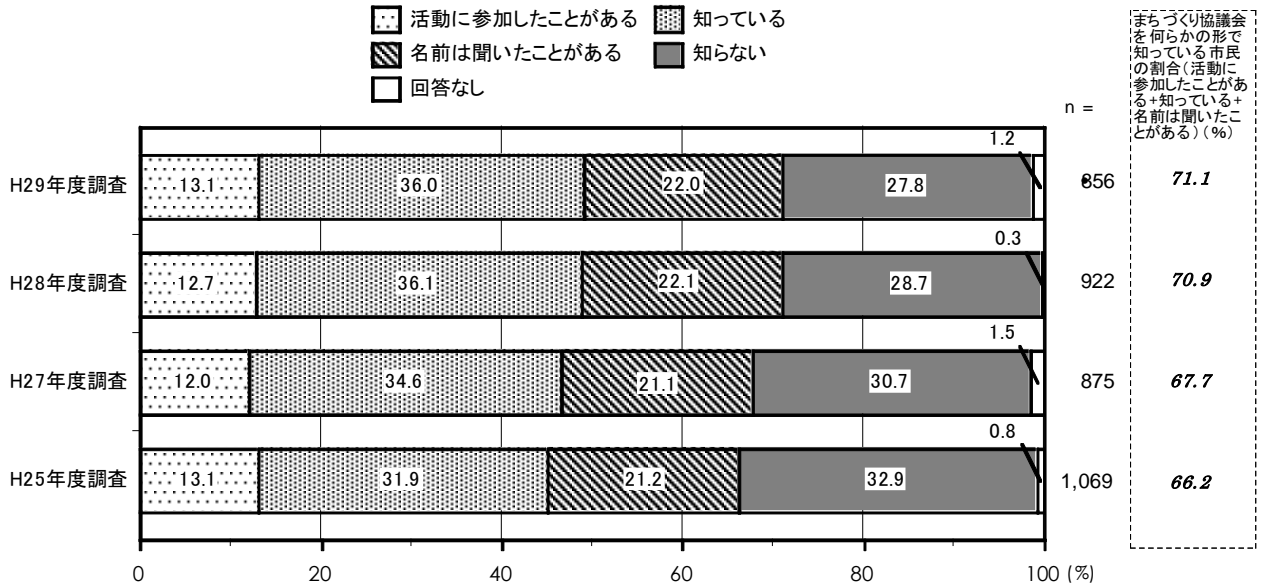
設問 27 あなたは、運動やスポーツをどのくらいの頻度で行っていますか？

<1つに○印>



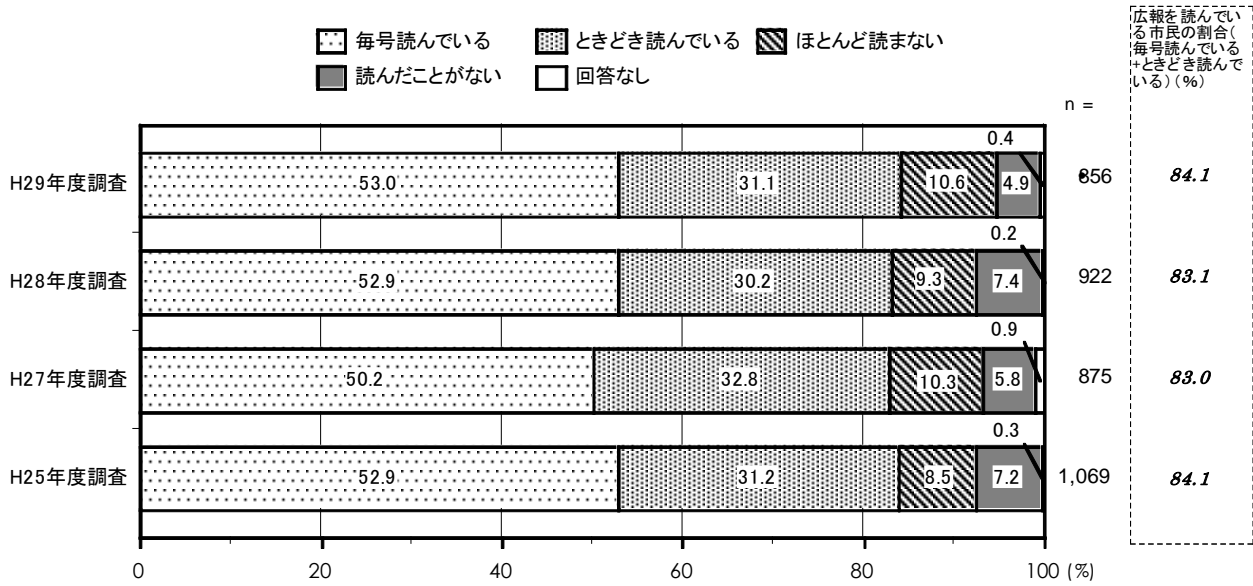
設問 28 あなたは、小学校区を単位としてまちづくり活動を行っている「まちづくり協議会」を知っていますか？ <1つに○印>

<1つに○印>



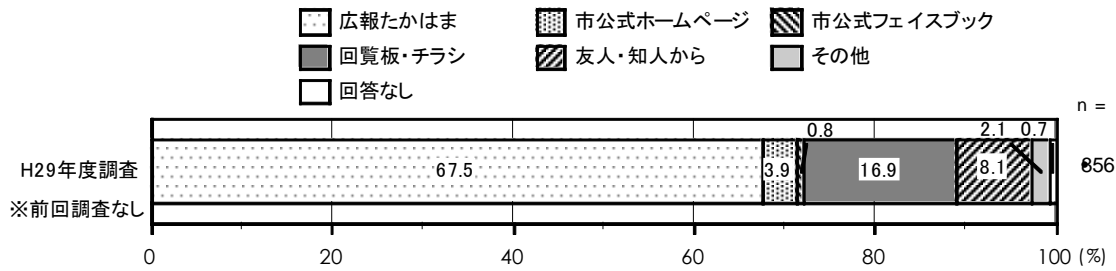
設問 29 あなたは、「広報たかはま」（毎月1日号・15日号発行）を読んでいますか？

<1つに○印>



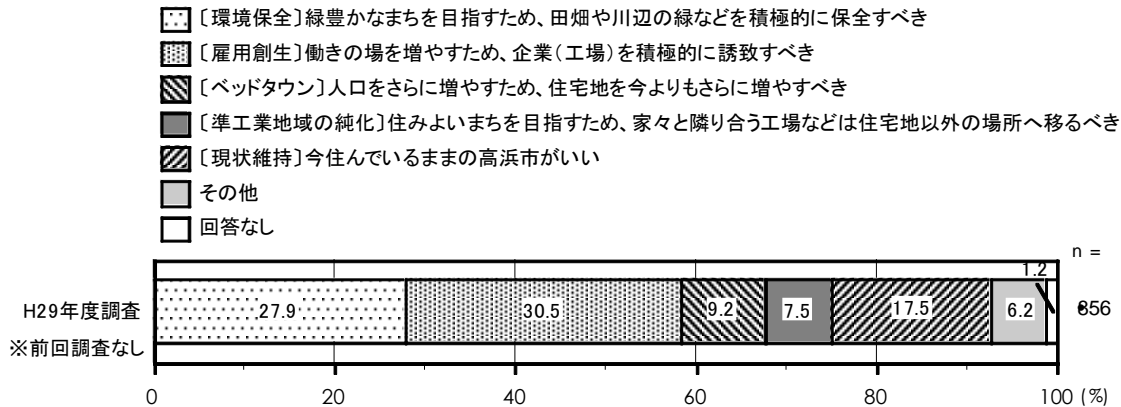
設問 30 あなたは、市の情報を主に何から得ていますか？

<1つに○印>

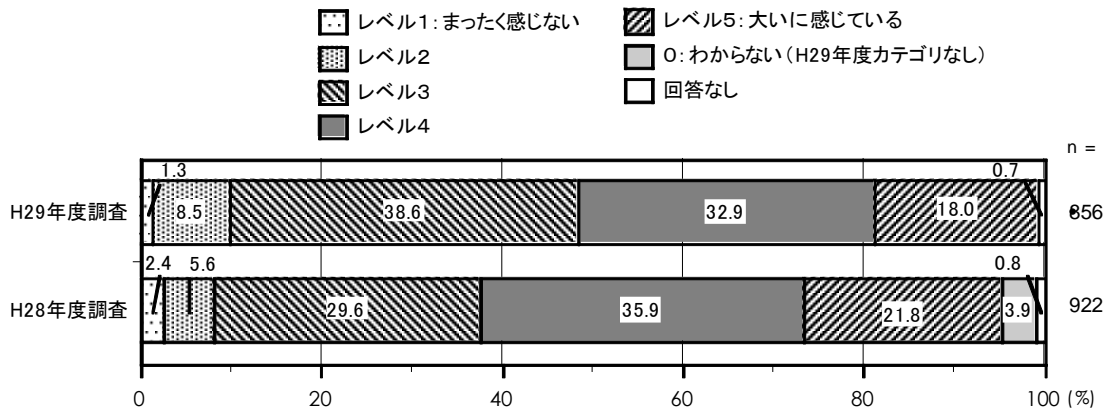


設問 31 これからの高浜市の目指すべき都市基盤整備について、あなたが最も望ましいと思うものは何ですか？ <1つに○印>

<1つに○印>

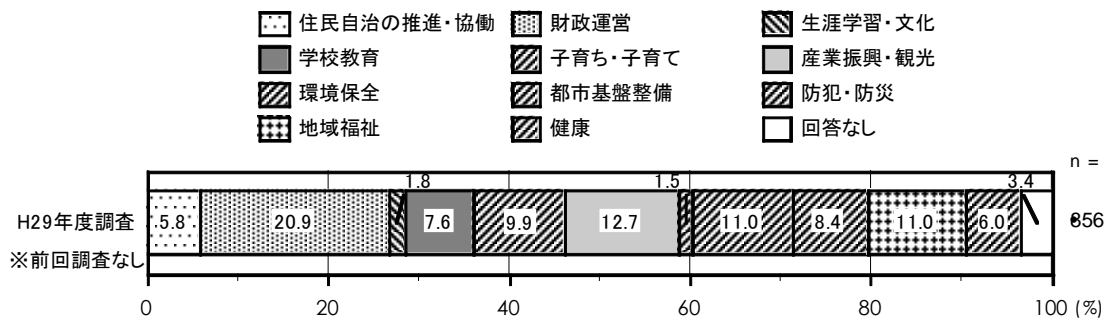


設問 32 あなたは、幸せだと感じていますか？ <あなたの実感に最も近いもの（数値）1つに○印を付けてください>



3 今後の高浜市における重要施策について

設問 33 後期基本計画期間中の高浜市において、あなたが最も重要と考える施策（キーワード）は何ですか。あなたのお考えに近い番号を1つだけ選んで○印をつけてください。



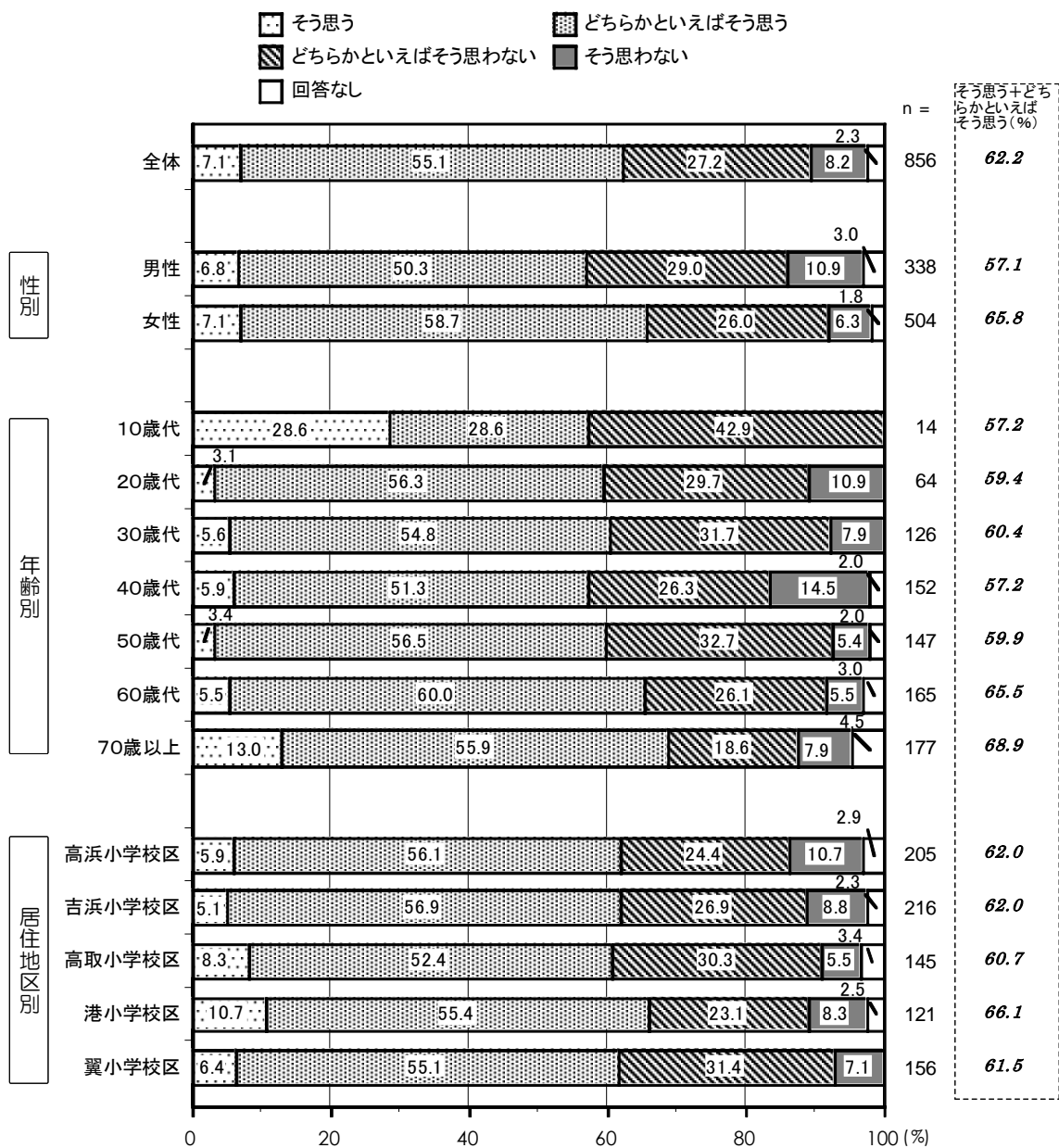
IV 高浜市のまちの状況について（設問 1～11）

問 1 まちを愛する想いが生まれ、市民みんなが連携・協力して、まちづくりを行っているまちだと思う。

「まちを愛する想いが生まれ、市民みんなが連携・協力して、まちづくりを行っているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が 7.1%、「どちらかといえばそう思う」が 55.1%であり、合わせて 62.2%となっています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、女性（65.8%）の方が男性（57.1%）よりも 8.7 ポイント高くなっています。

年齢別では、「そう思う」の割合は、70 歳以上（68.9%）で全体よりやや高くなっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、40 歳代（57.2%）で全体よりやや低くなっています。



【前回調査との比較】

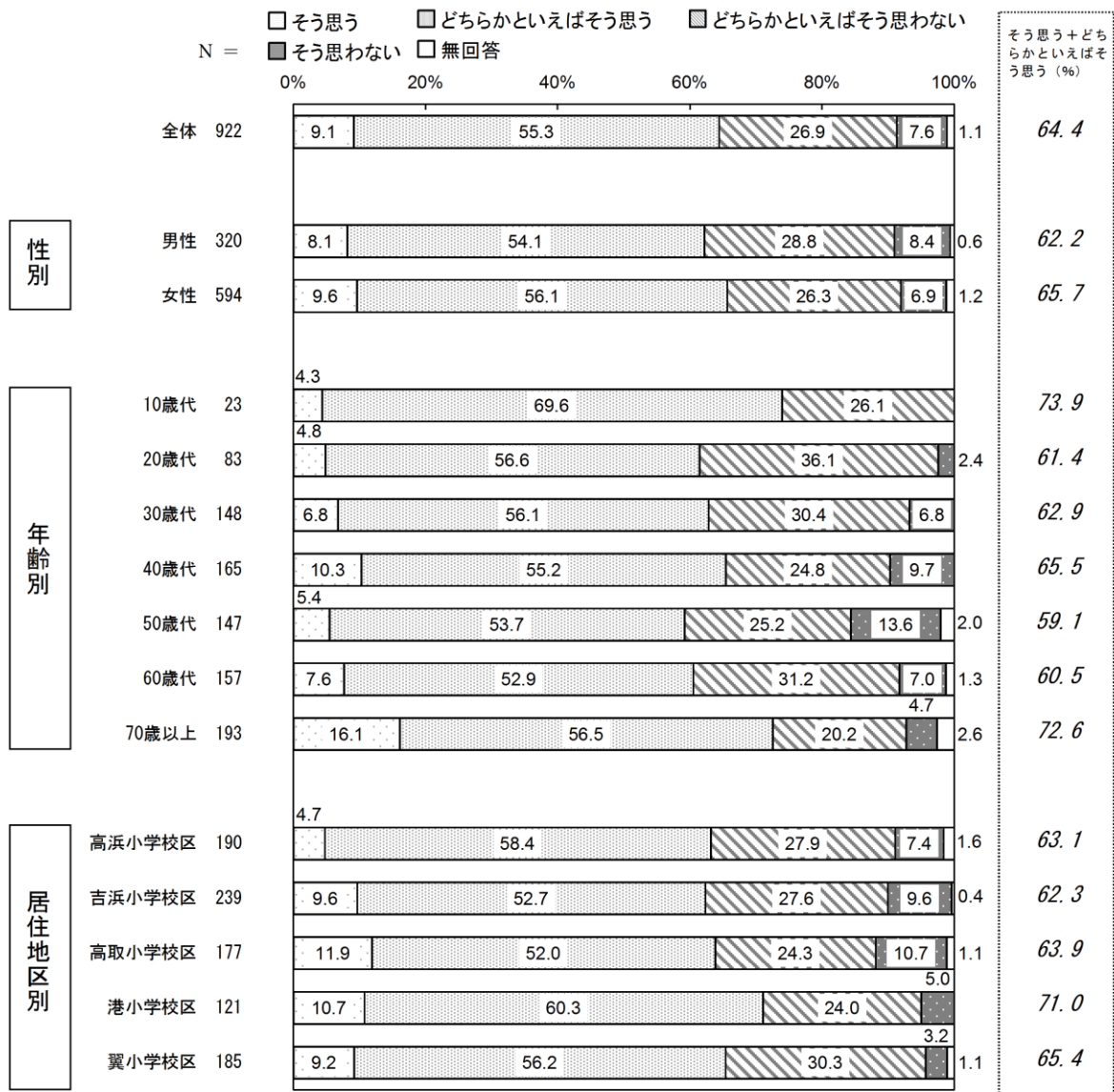
前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（62.2%⇒57.1%）で5.1ポイント減少しています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、60歳代（60.5%⇒65.5%）で5.0ポイント増加する一方で、40歳代（65.5%⇒57.2%）は8.3ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区（71.0%⇒66.1%）で4.9ポイント減少していますが、全般的に大きな変化は見られません。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》



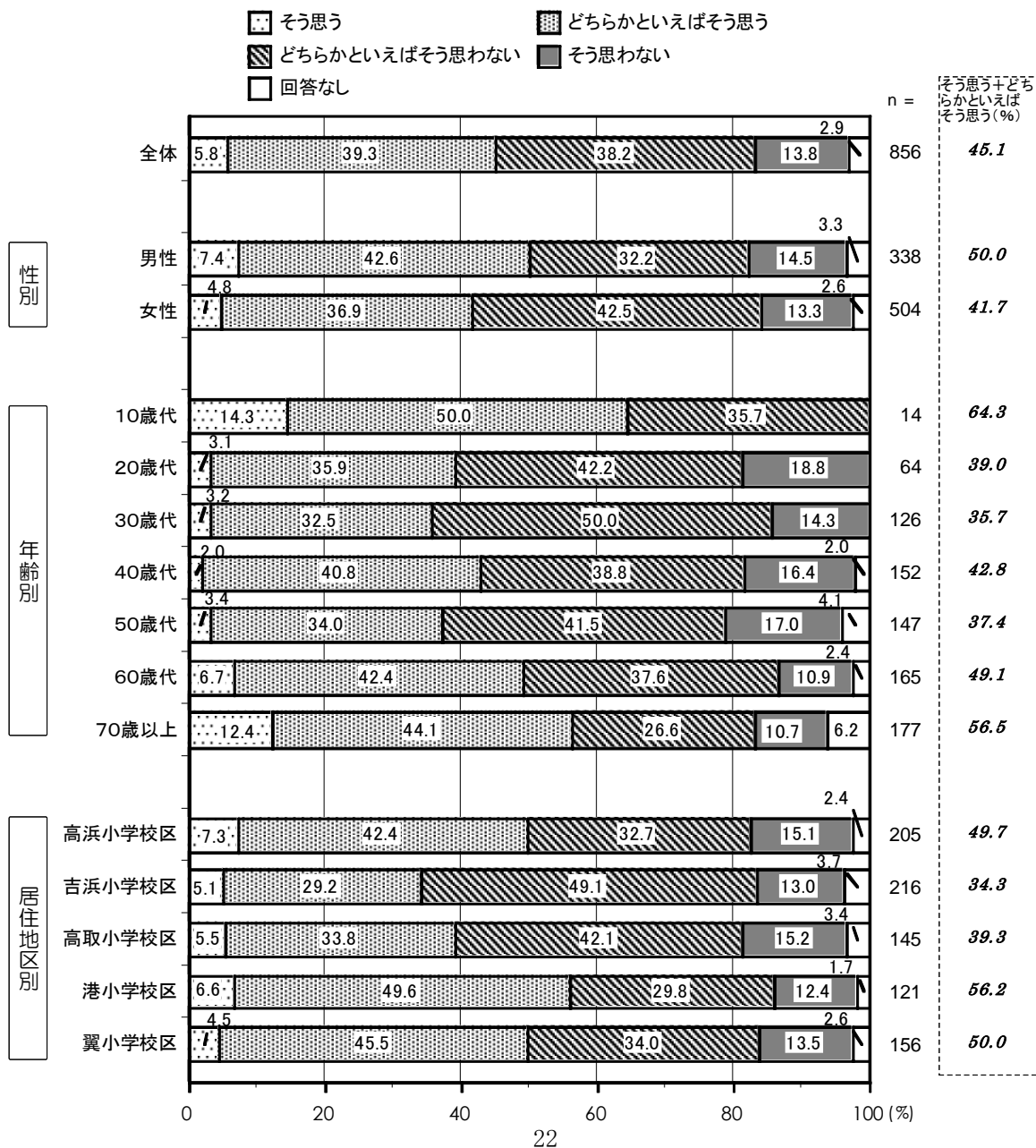
問2 将来を見据え、計画的で効果的な財政運営が行われているまちだと思ふ。

「将来を見据え、計画的で効果的な財政運営が行われているまちだと思ふ」市民の割合は、「そう思ふ」が5.8%、「どちらかといえばそう思ふ」が39.3%であり、合わせて45.1%となっています。

性別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」を合わせた割合は、男性（50.0%）の方が女性（41.7%）よりも8.3ポイント高くなっています。

年齢別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」を合わせた割合は、70歳以上（56.5%）で全体より11.4ポイント高くなっている一方で、50歳代（37.4%）で7.7ポイント低く、30歳代（35.7%）で全体より9.4ポイント低くなっています。

居住地区別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」を合わせた割合は、港小学校区（56.2%）で全体より11.1ポイント高くなっている一方で、吉浜小学校区（34.3%）で全体より10.8ポイント低く、高取小学校区（39.3%）で全体よりやや低くなっています。



【前回調査との比較】

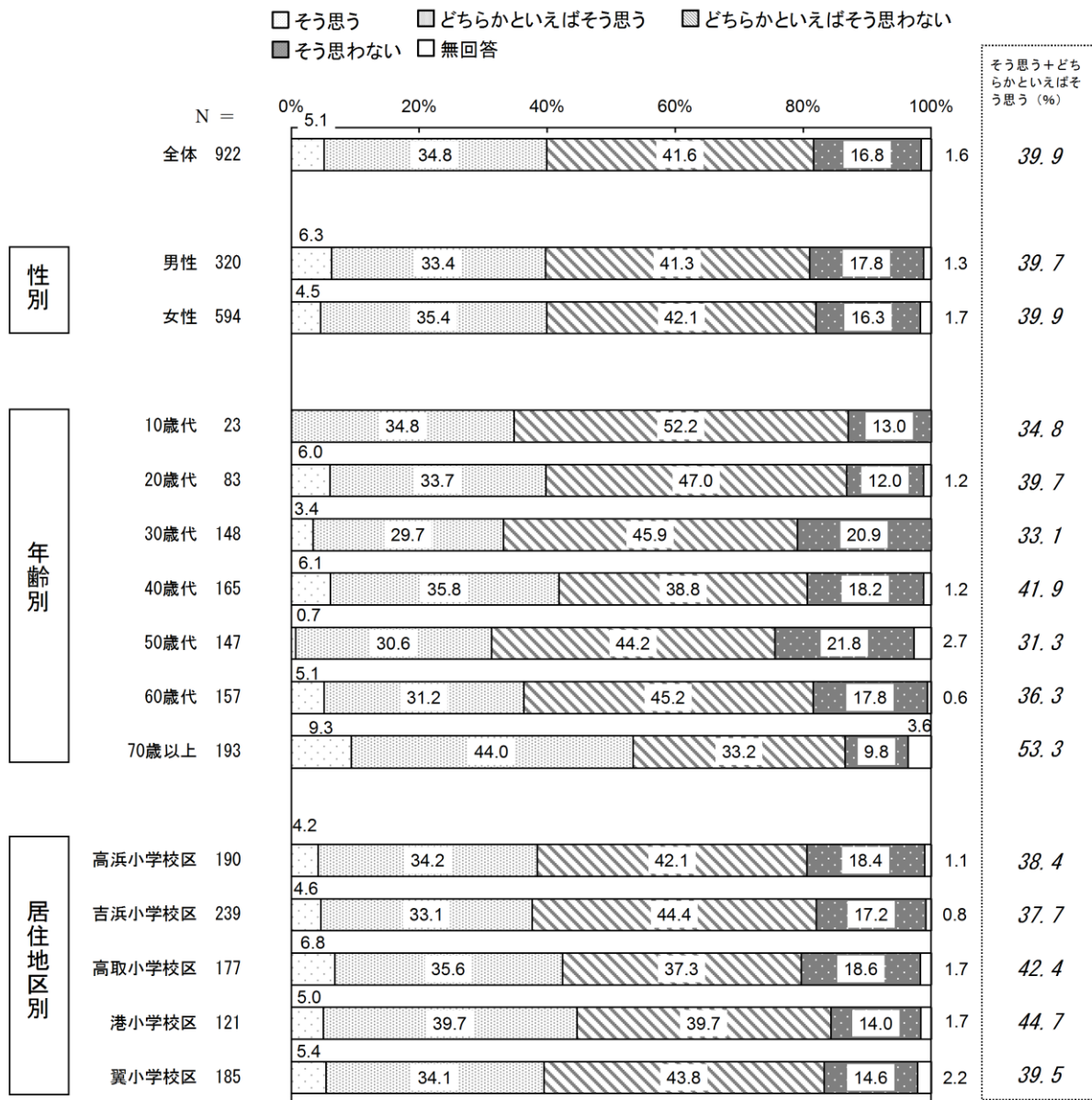
前回調査と比較すると、全体では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、(39.9%⇒45.1%)で5.2ポイント増加しています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性(39.7%⇒50.0%)で10.3ポイント増加しています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、60歳代(36.3%⇒49.1%)で12.8ポイント増加、50歳代(31.3%⇒37.4%)で6.1ポイント増加しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区(44.7%⇒56.2%)で11.5ポイント増加、高浜小学校区(38.4%⇒49.7%)で11.3ポイント増加、翼小学校区(39.5%⇒50.0%)で10.5ポイント増加しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》



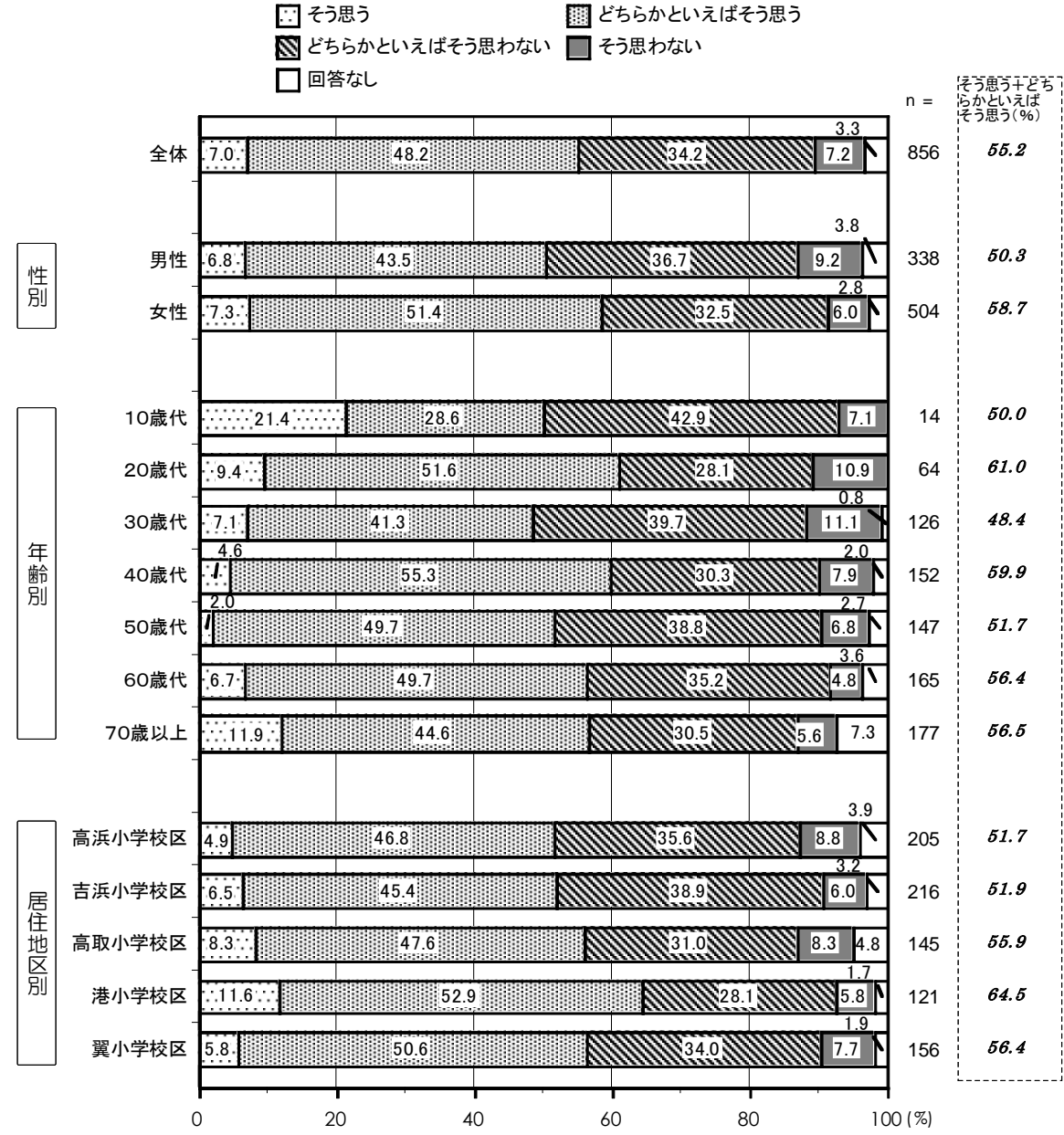
問3 学び（生涯学習やスポーツなど）を通して、人と人がつながり、まちづくりを担う人が育っているまちだと思う。

「学び（生涯学習やスポーツなど）を通して、人と人がつながり、まちづくりを担う人が育っているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が7.0%、「どちらかといえばそう思う」が48.2%であり、合わせて55.2%となっています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、女性（58.7%）の方が男性（50.3%）よりも8.4ポイント高くなっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代（61.0%）で全体より5.8ポイント高くなっている一方で、30歳代（48.4%）で全体より6.8ポイント低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区（64.5%）で全体より9.3ポイント高くなっています。



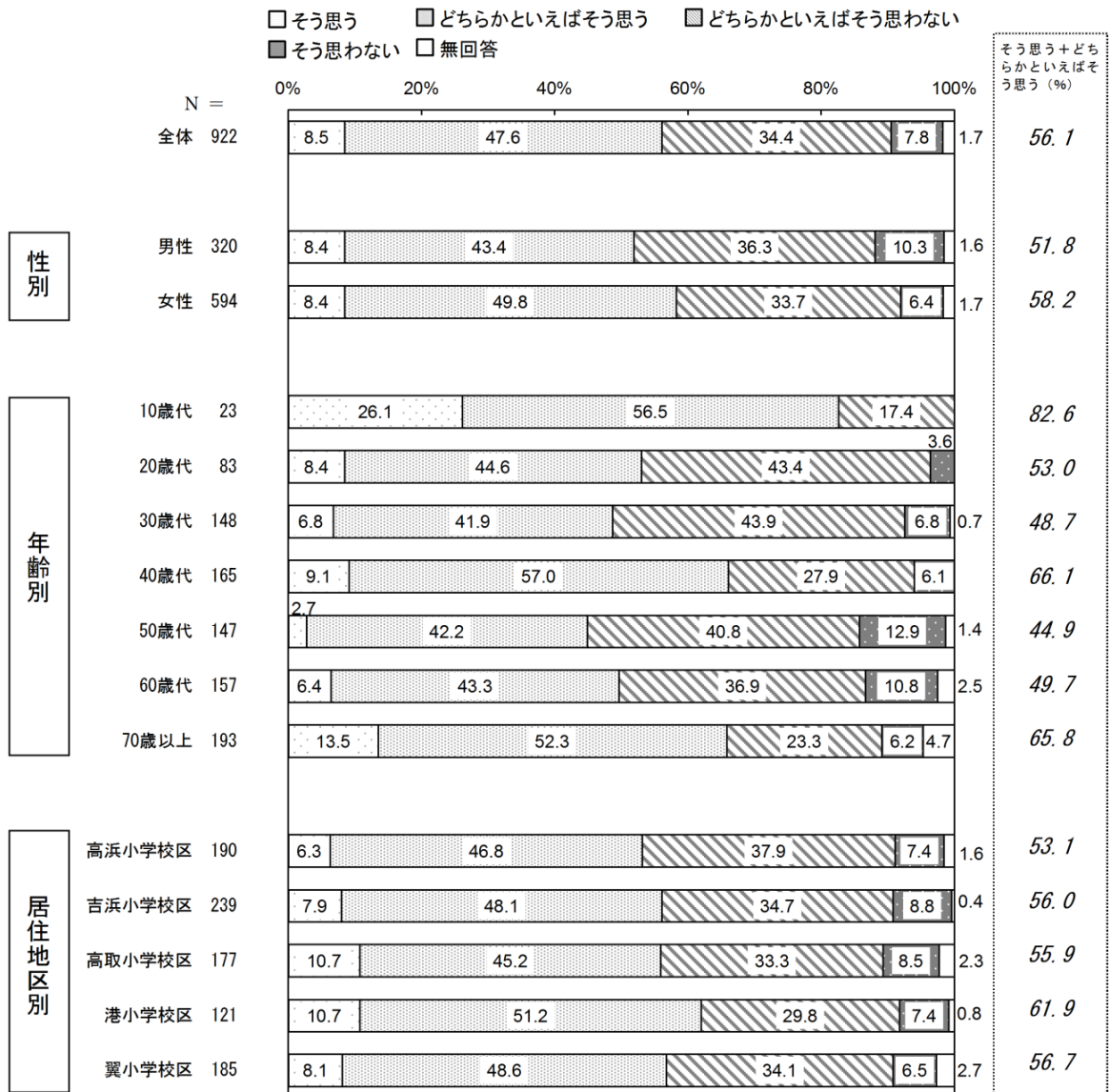
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代（53.0%⇒61.0%）で8.0ポイント増加、50歳代（44.9%⇒51.7%）で6.8ポイント増加、60歳代（49.7%⇒56.4%）で6.7ポイント増加する一方で、70歳以上（65.8%⇒56.5%）で9.3ポイント減少、40歳代（66.1%⇒59.9%）で6.2ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、吉浜小学校区（56.0%⇒51.9%）で4.1ポイント減少していますが、一般的に大きな変化は見られません。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

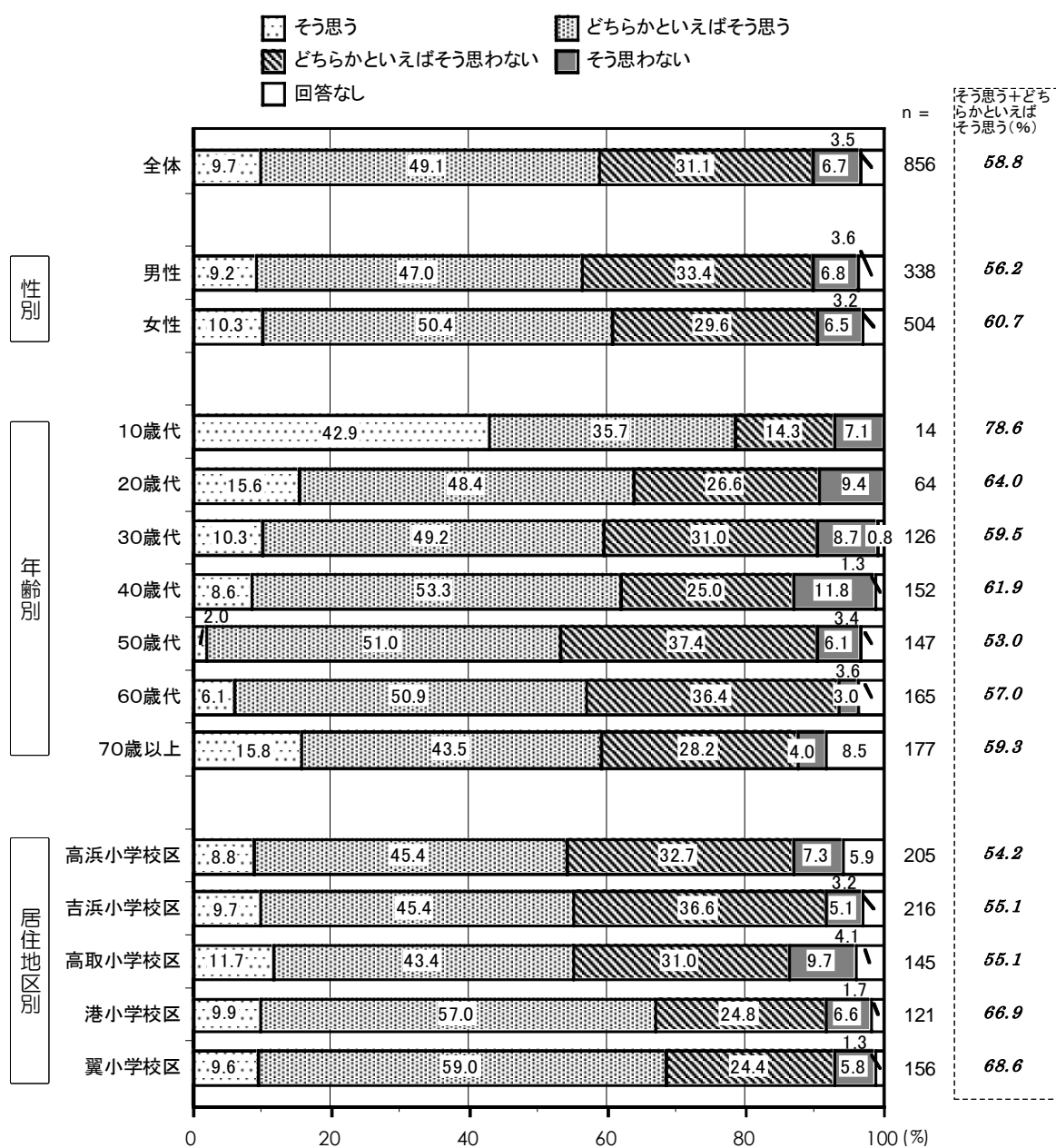


問4 学校・家庭・地域が連携し、子どもの12年間（4歳～15歳）の学びや育ちを育む体制が整っているまちだと思う。

「学校・家庭・地域が連携し、子どもの12年間（4歳～15歳）の学びや育ちを育む体制が整っているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が9.7%、「どちらかといえばそう思う」が49.1%であり、合わせて58.8%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代（64.0%）で全体より5.2ポイント高くなっている一方で、50歳代（53.0%）で5.8ポイント全体より低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、翼小学校校区（68.6%）で全体より9.8ポイント高く、港小学校校区（66.9%）で全体より8.1ポイント高くなっています。



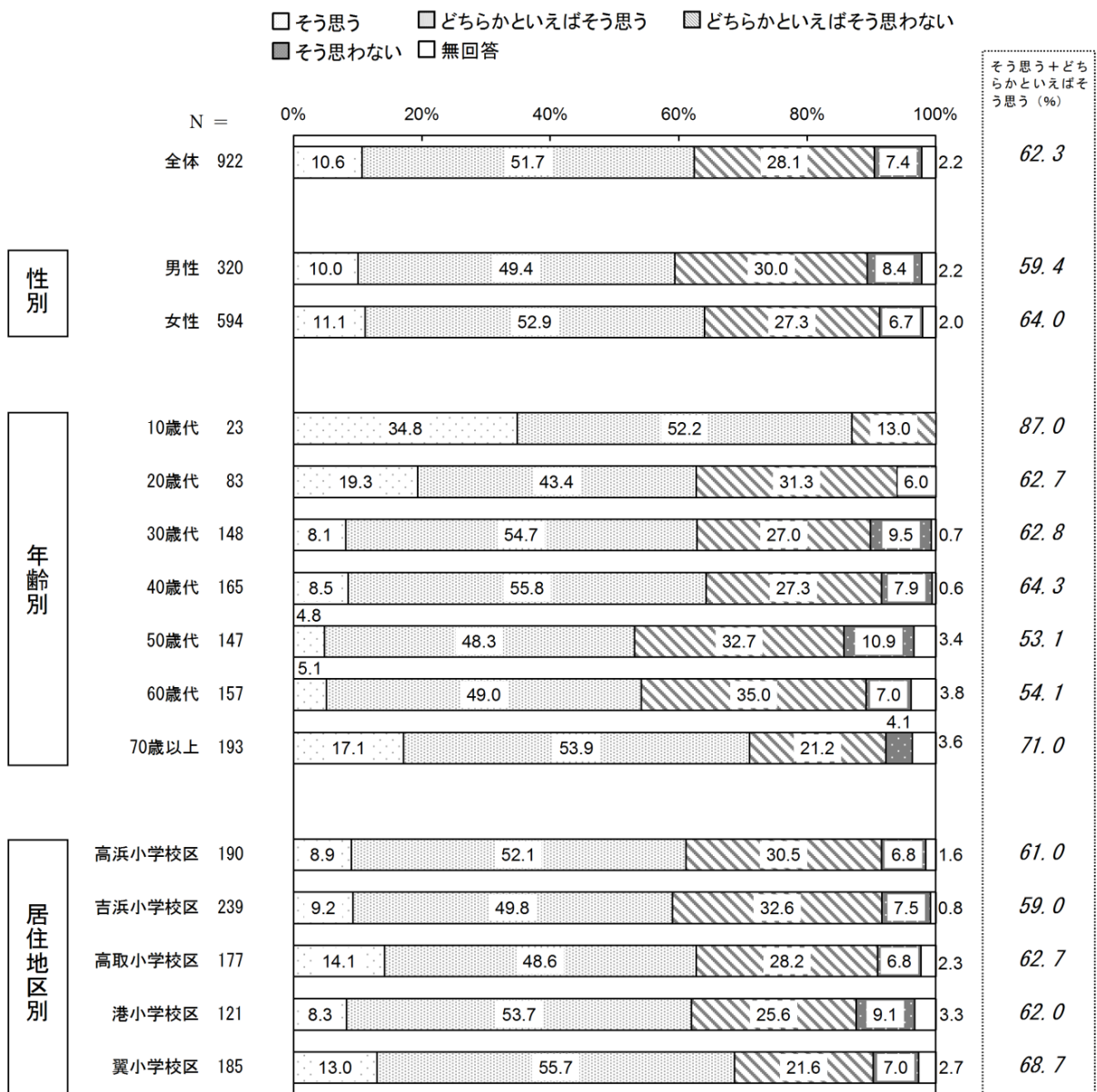
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、70歳以上（71.0%⇒59.3%）で11.7ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区（62.0%⇒66.9%）で僅かに増加している一方で、高取小学校区（62.7%⇒55.1%）で7.6ポイント減少、高浜小学校区（61.0%⇒54.2%）で6.8ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

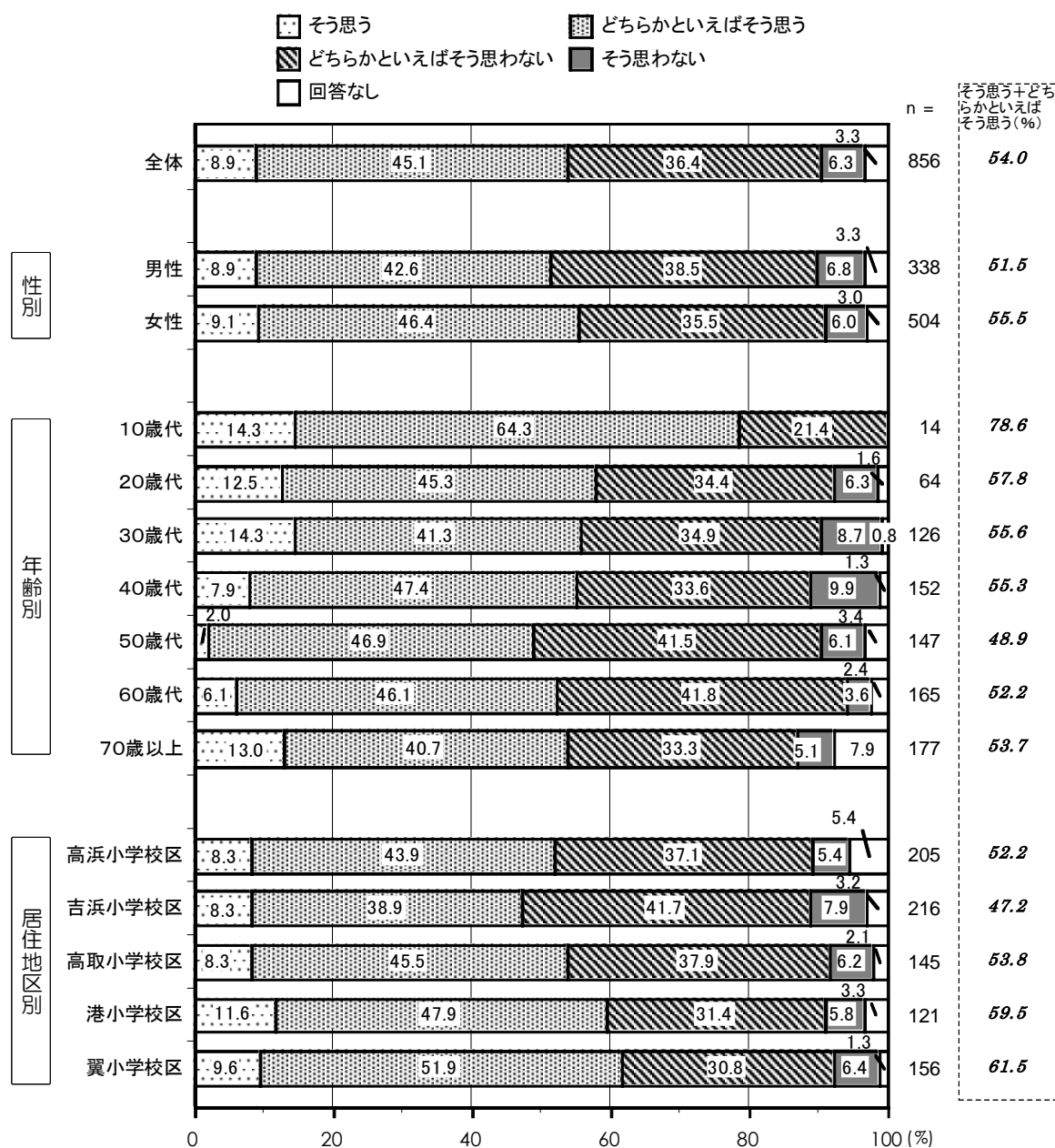


問5 地域ぐるみで、子育て・子育てを支えているまちだと思う。

「地域ぐるみで、子育て・子育てを支えているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が8.9%、「どちらかといえばそう思う」が45.1%であり、合わせて54.0%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、50歳代(48.9%)で全体より5.1ポイント低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、翼小学校区(61.5%)で全体より7.5ポイント高く、港小学校区(59.5%)で5.5ポイント高くなっている一方で、吉浜小学校区(47.2%)で全体より6.8ポイント低くなっています。



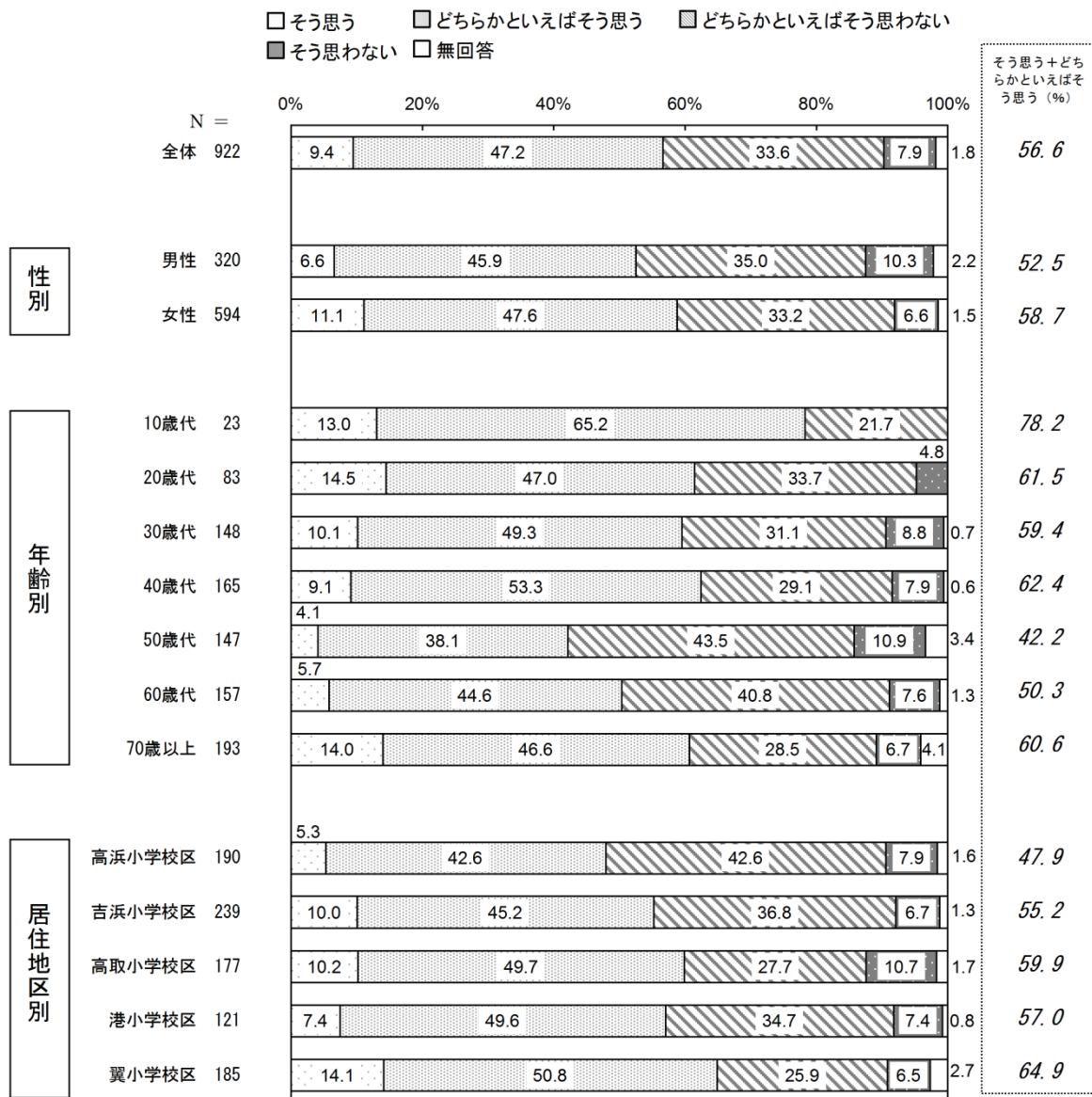
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、50歳代（42.2%⇒48.9%）で6.7ポイント増加している一方で、40歳代（62.4%⇒55.3%）で7.1ポイント減少、70歳以上（60.6%⇒53.7%）で6.9ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、吉浜小学校区（55.2%⇒47.2%）で8.0ポイント減少、高取小学校区（59.9%⇒53.8%）で6.1ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

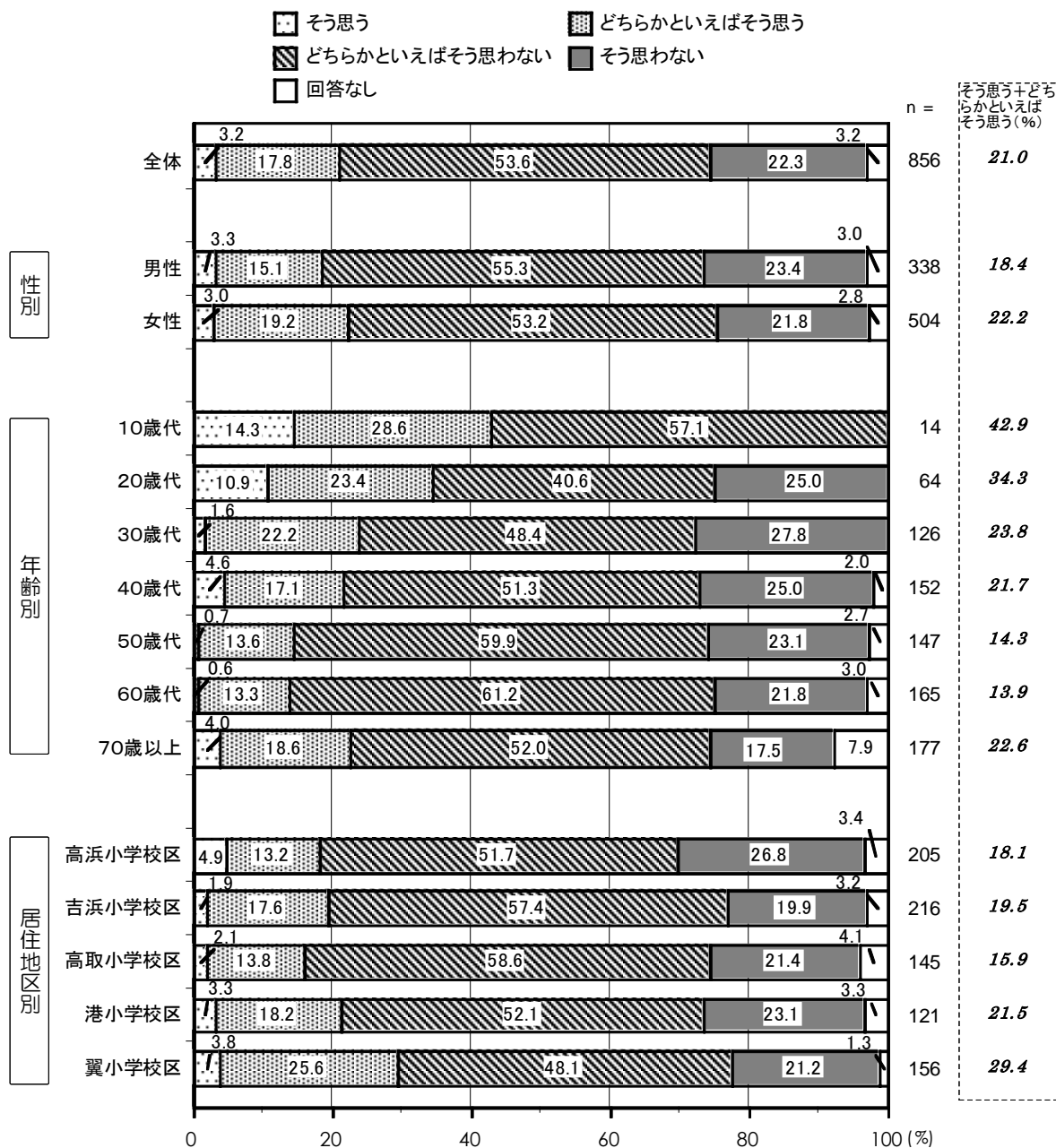


問6 産業が活性化して、まちが元気になっていると思う。

「産業が活性化して、まちが元気になっていると思う」市民の割合は、「そう思う」が3.2%、「どちらかといえばそう思う」が17.8%であり、合わせて21.0%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代(34.3%)で全体より13.3ポイント高くなっている一方で、60歳代(13.9%)で全体より7.1ポイント低く、50歳代(14.3%)で6.7ポイント全体より低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、翼小学校区(29.4%)で全体より8.4ポイント高くなっている一方で、高取小学校区(15.9%)で全体よりやや低くなっています。



【前回調査との比較】

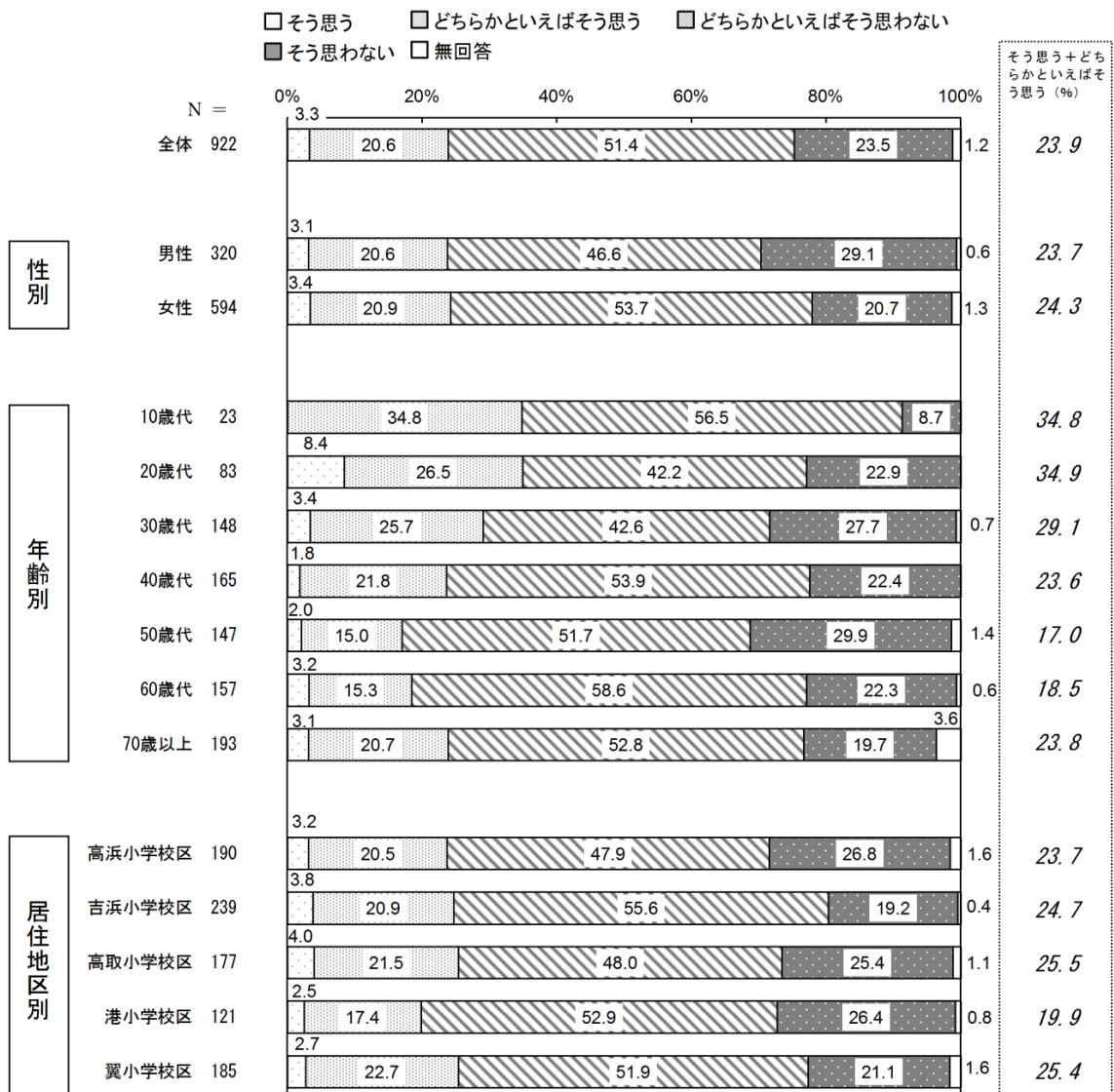
前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（23.7%⇒18.4%）で5.3ポイント減少しています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、30歳代（29.1%⇒23.8%）で5.3ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高取小学校区（25.5%⇒15.9%）で9.6ポイント減少、高浜小学校区（23.7%⇒18.1%）で5.6ポイント減少、吉浜小学校区（24.7%⇒19.5%）で5.2ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》



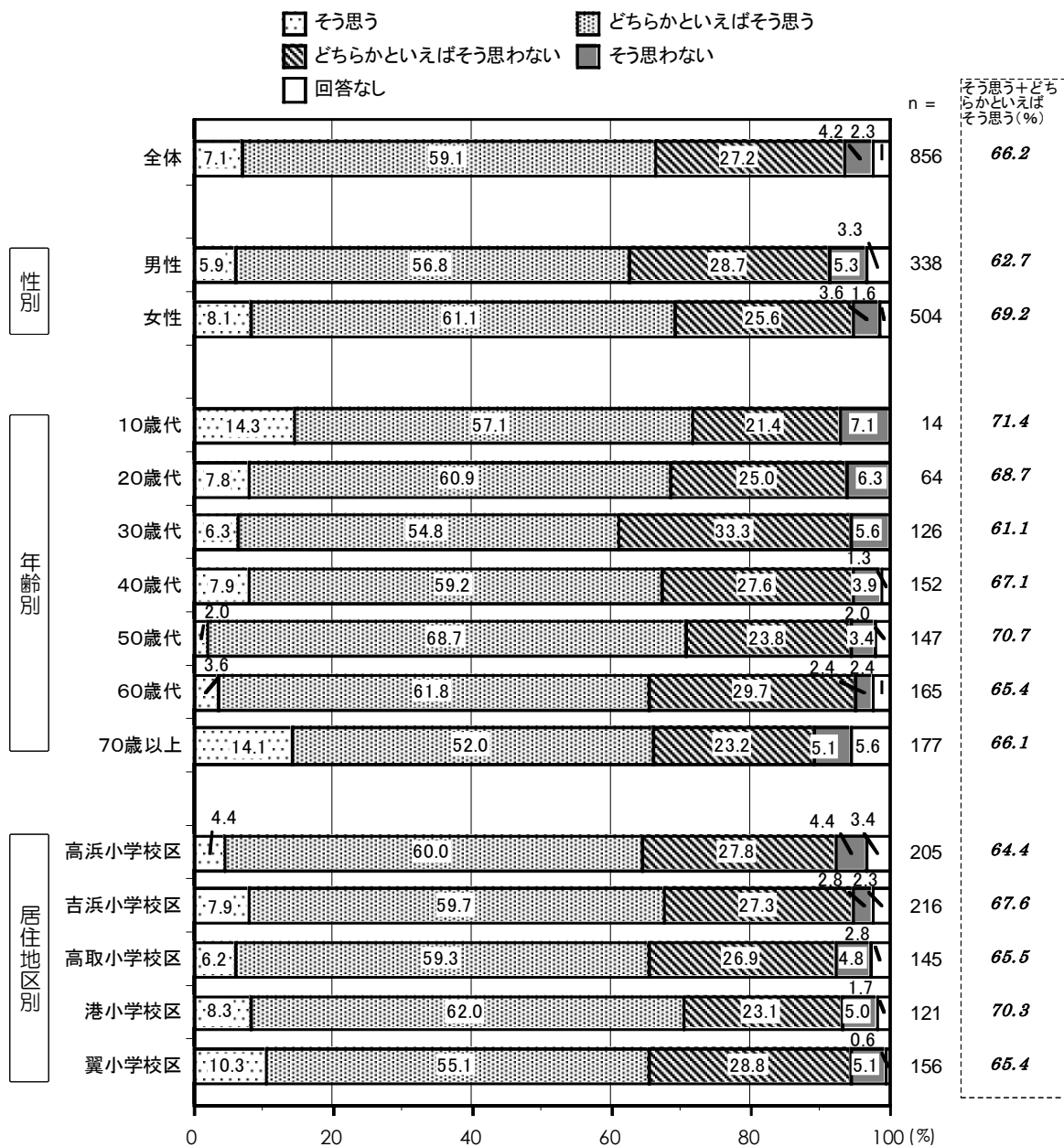
問7 みんなで環境美化・保全に取り組んでおり、きれいなまちだと思う。

「みんなで環境美化・保全に取り組んでおり、きれいなまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が7.1%、「どちらかといえばそう思う」が59.1%であり、合わせて66.2%となっています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、女性（69.2%）の方が男性（62.7%）よりも6.5ポイント高くなっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、30歳代（61.1%）で全体よりやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、全体と比べて大きな差異は見られません。



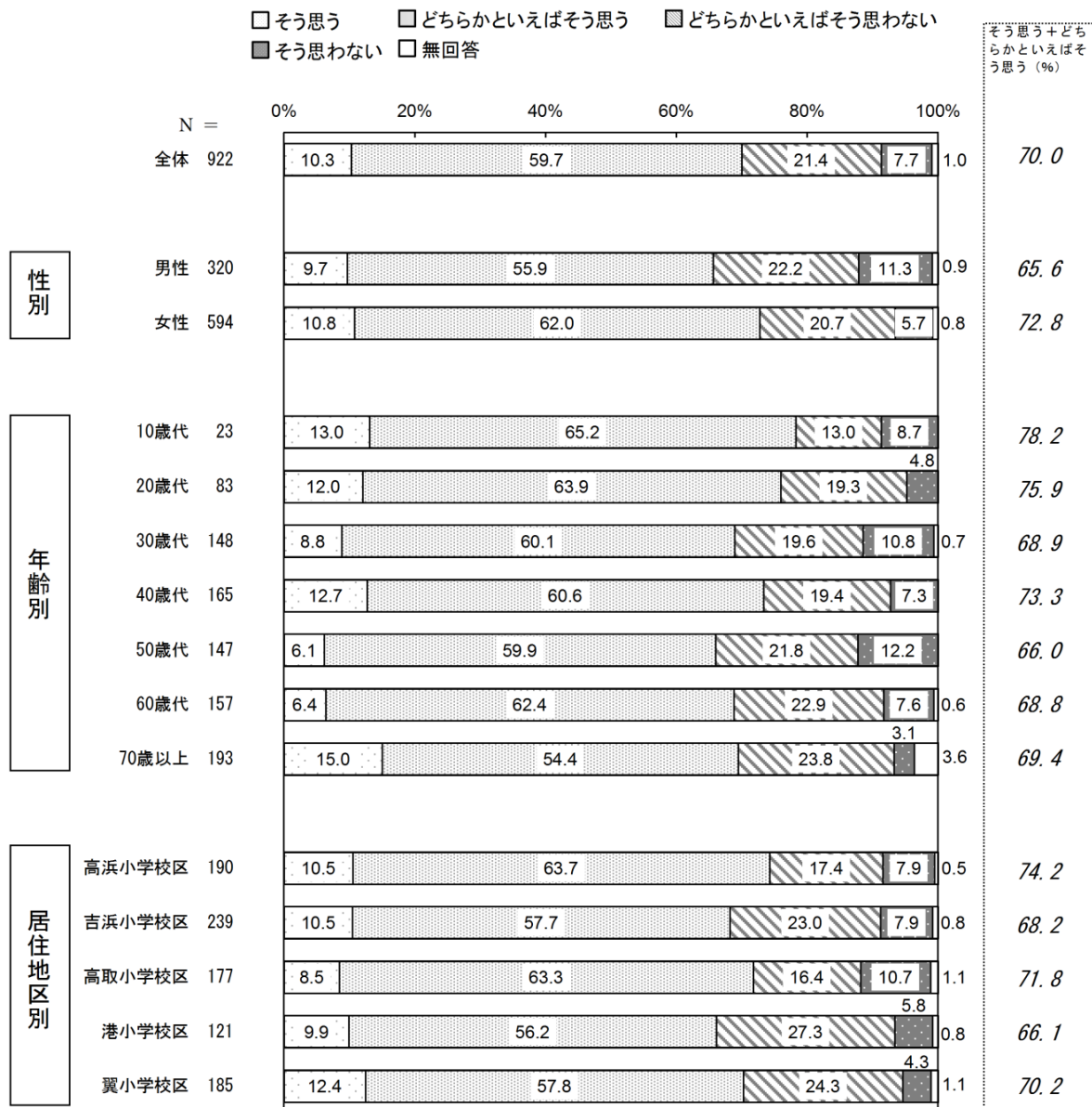
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、30歳代（68.9%⇒61.1%）で7.8ポイント減少、20歳代（75.9%⇒68.7%）で7.2ポイント減少、40歳代（73.3%⇒67.1%）で6.2ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高浜小学校区（74.2%⇒64.4%）で9.8ポイント減少、高取小学校区（71.8%⇒65.5%）で6.3ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》



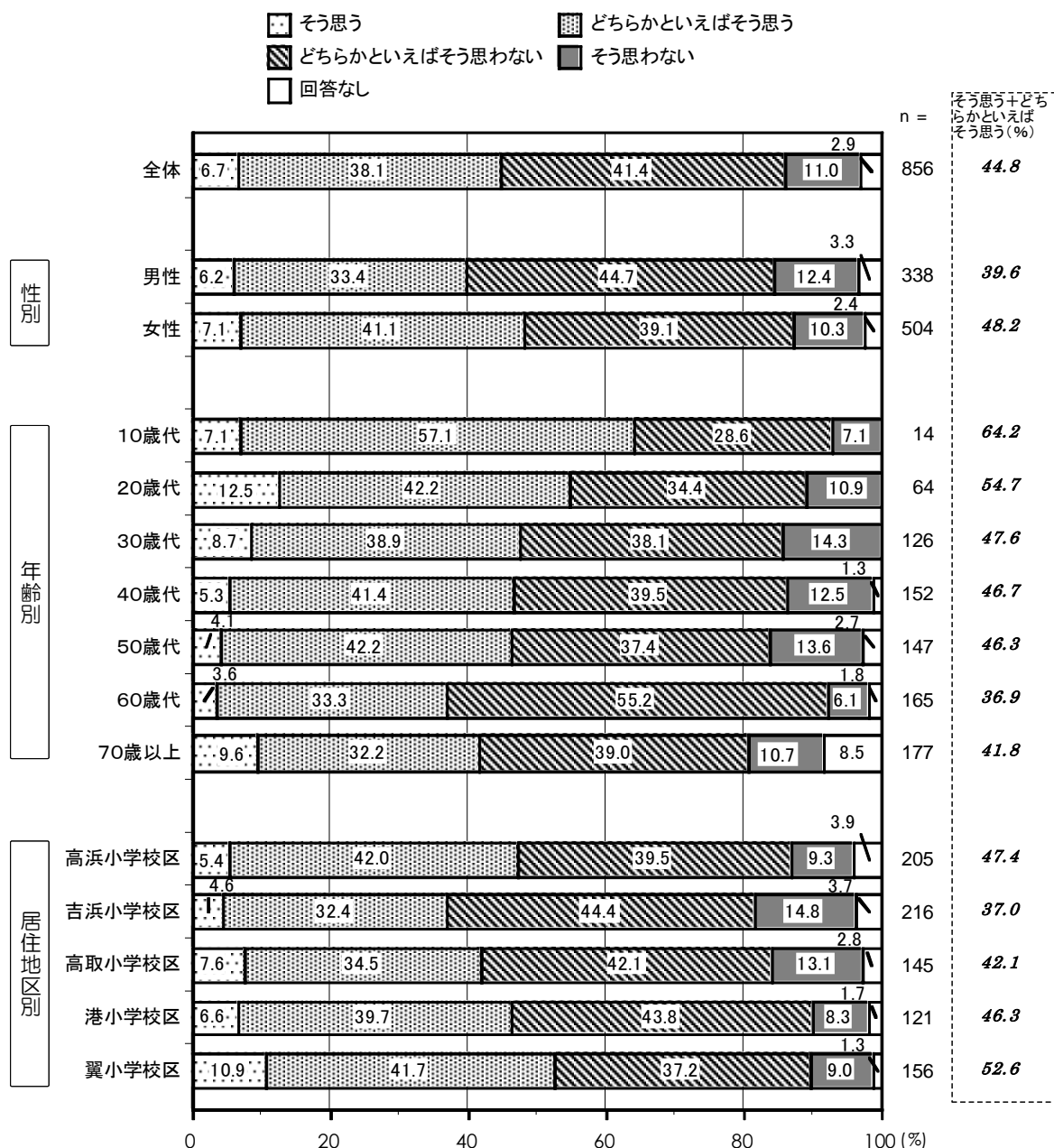
問8 調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思ふ。

「調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思ふ」市民の割合は、「そう思ふ」が6.7%、「どちらかといえばそう思ふ」が38.1%であり、合わせて44.8%となっています。

性別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」を合わせた割合は、女性（48.2%）の方が男性（39.6%）よりも8.6ポイント高くなっています。

年齢別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」を合わせた割合は、70歳以上を除き、年齢層が上がるにつれて、「調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思ふ」市民の割合が概ね低くなる傾向が見られます。

居住地区別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」を合わせた割合は、翼小学校区（52.6%）で全体より7.8ポイント高くなっている一方で、吉浜小学校区（37.0%）で全体より7.8ポイント低くなっています。



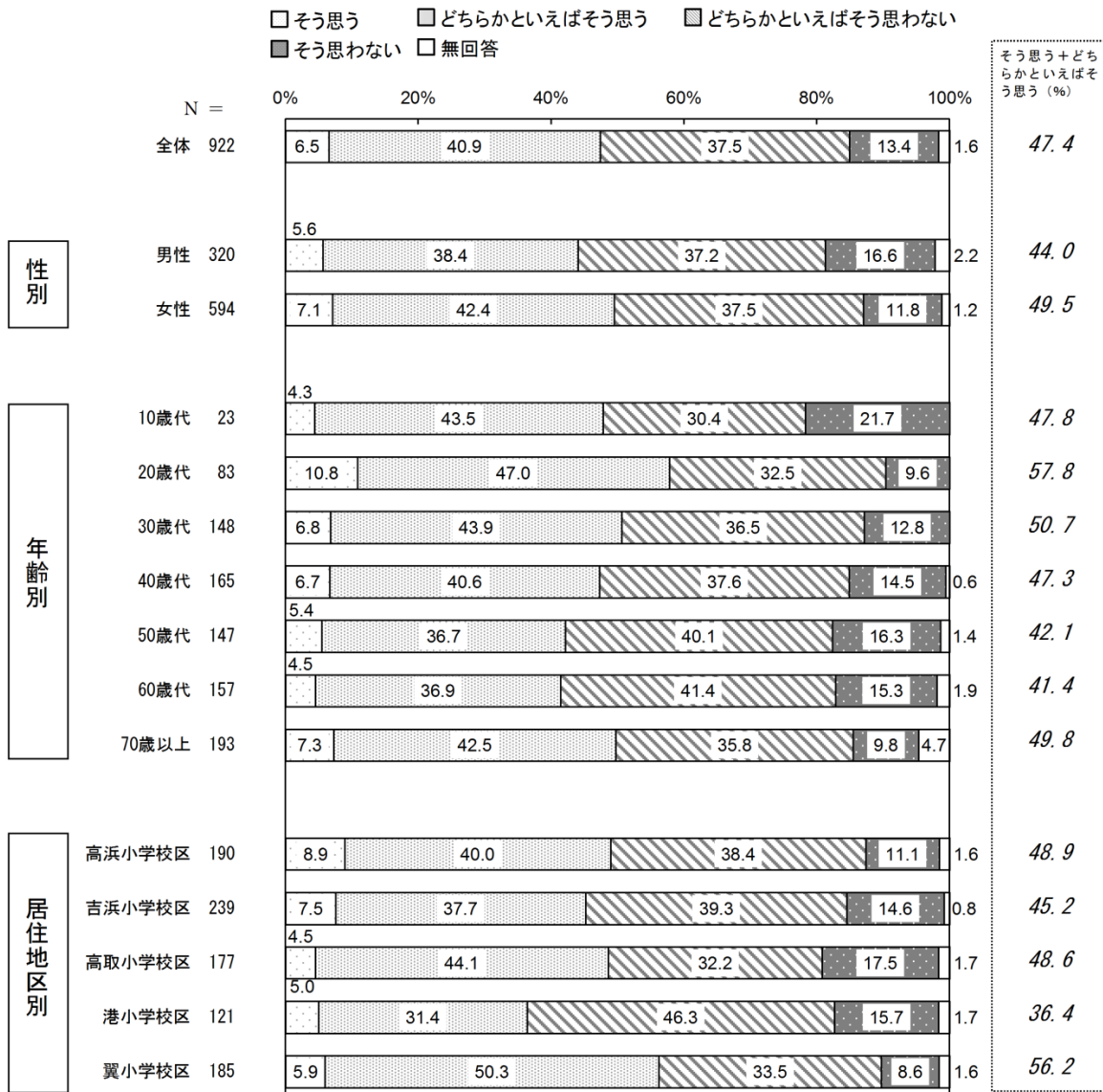
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、70歳以上（49.8%⇒41.8%）で8.0ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区（36.4%⇒46.3%）で9.9ポイント増加している一方で、吉浜小学校区（45.2%⇒37.0%）で8.2ポイント減少、高取小学校区（48.6%⇒42.1%）で6.5ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》



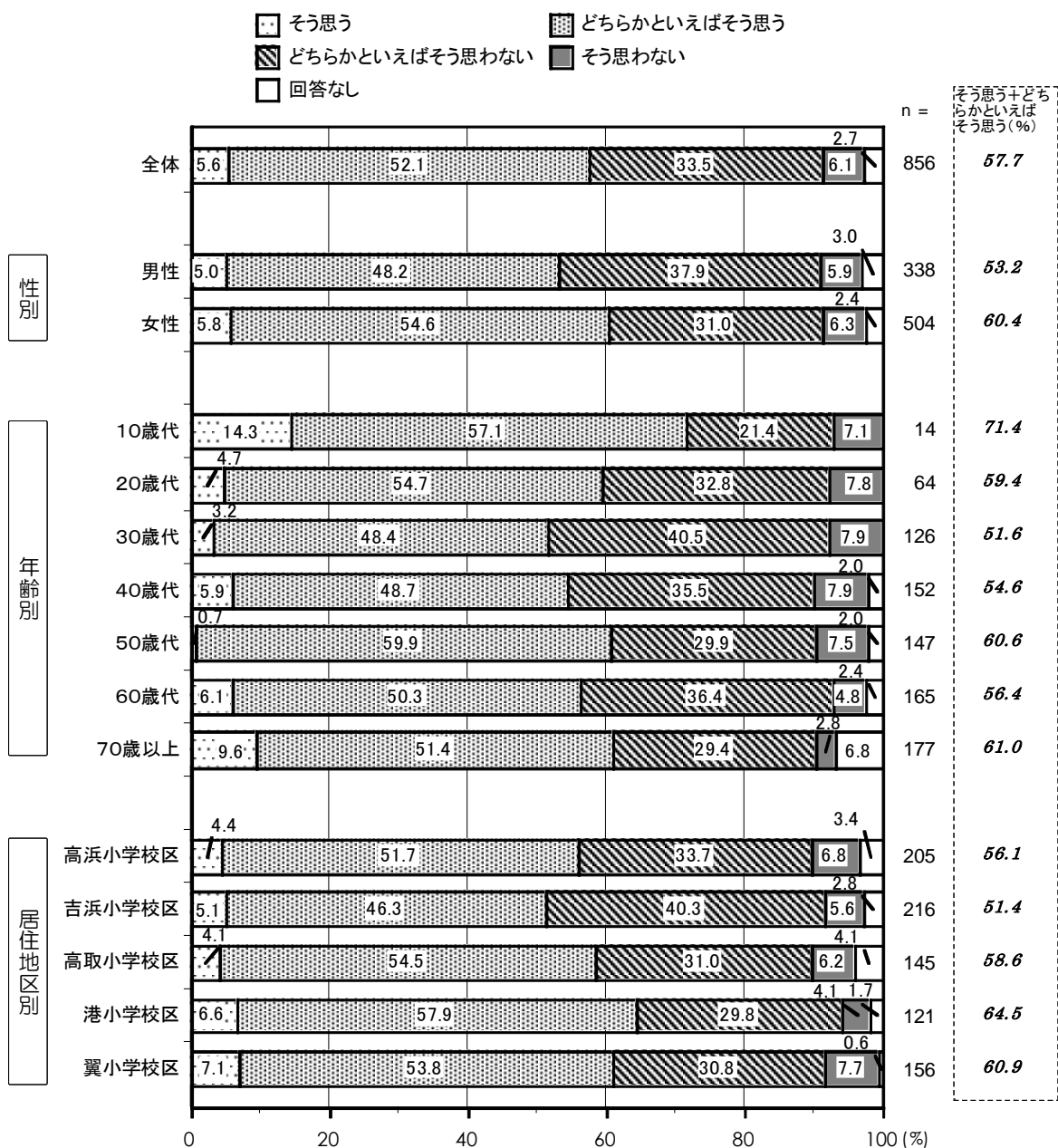
問9 安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思ふ。

「安全・安心が実感できる防災・防犯対策が進められているまちだと思ふ」市民の割合は、「そう思ふ」が5.6%、「どちらかといえばそう思ふ」が52.1%であり、合わせて57.7%となっています。

性別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」を合わせた割合は、女性（60.4%）の方が男性（53.2%）よりも7.2ポイント高くなっています。

年齢別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」を合わせた割合は、30歳代（51.6%）、で全体よりやや低くなっています。

居住地区別では、「そう思ふ」と「どちらかといえばそう思ふ」を合わせた割合は、港小学校区（64.5%）で全体より6.8ポイント高くなっている一方で、吉浜小学校区（51.4%）で全体より6.3ポイント低くなっています。



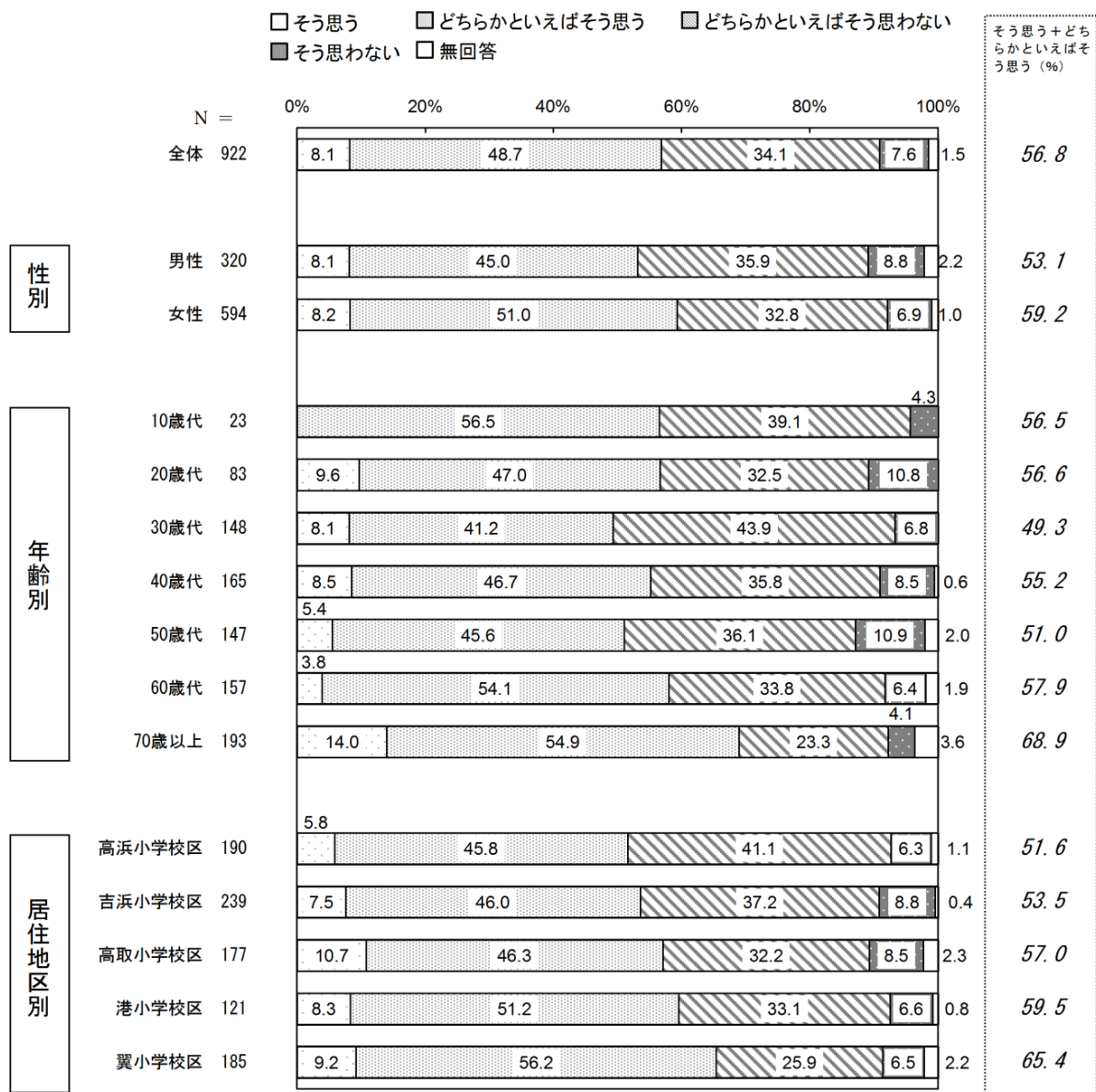
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、50歳以上（51.0%⇒60.6%）で9.6ポイント増加している一方で、70歳以上（68.9%⇒61.0%）で7.9ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区（59.5%⇒64.5%）で5.0ポイント増加しています。

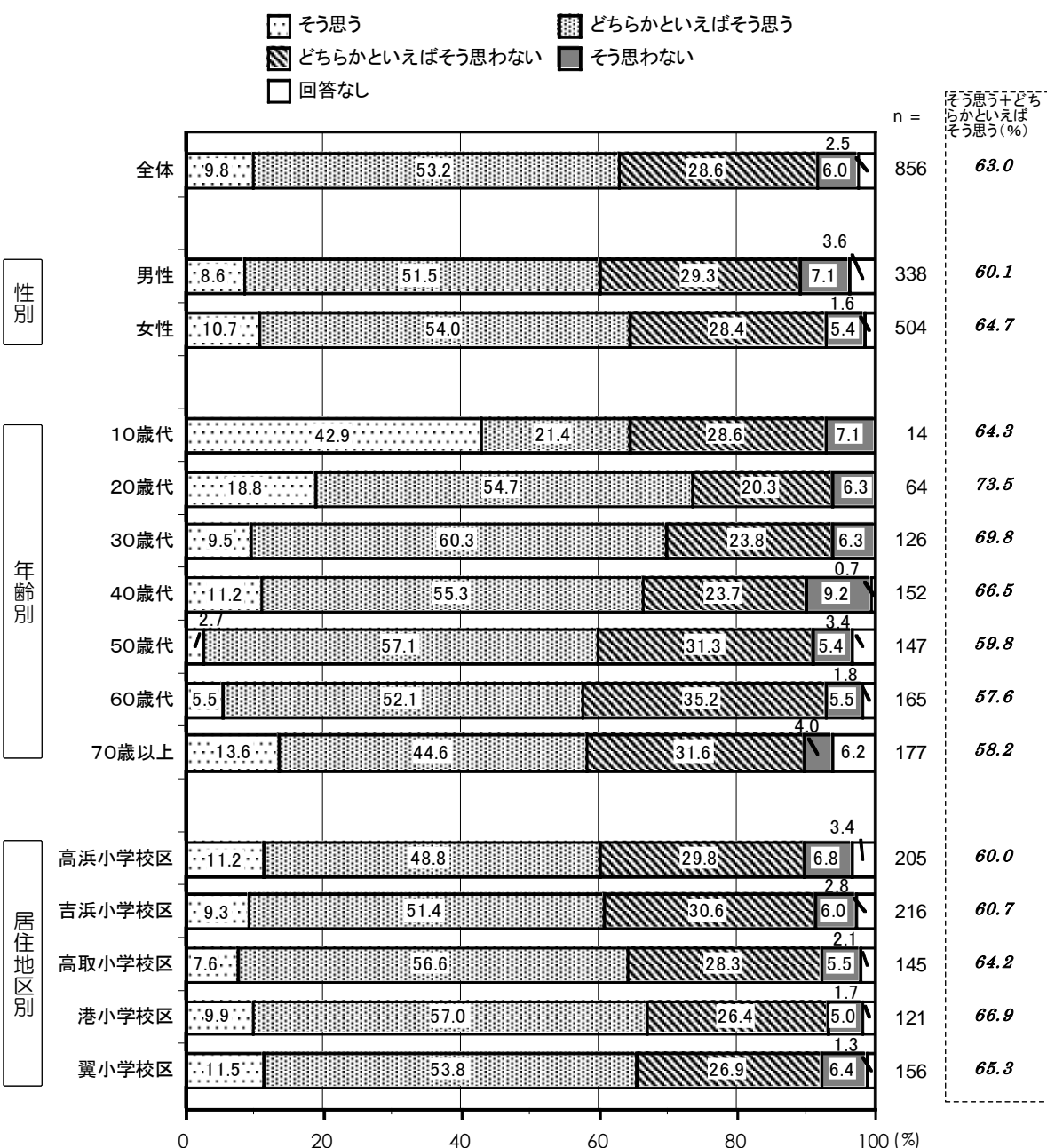
《参考：前回調査の結果（H28年度）》



問10 一人ひとりが認め合い、高齢者や障がい者などがいきいき暮らすことができるまちだと思う。

「一人ひとりが認め合い、高齢者や障がい者などがいきいき暮らすことができるまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が9.8%、「どちらかといえばそう思う」が53.2%であり、合わせて63.0%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代(73.5%)で全体よりも10.5ポイント高く、30歳代(69.8%)で全体より6.8ポイント高くなっている一方で、60歳代(57.6%)で全体よりやや低くなっています。



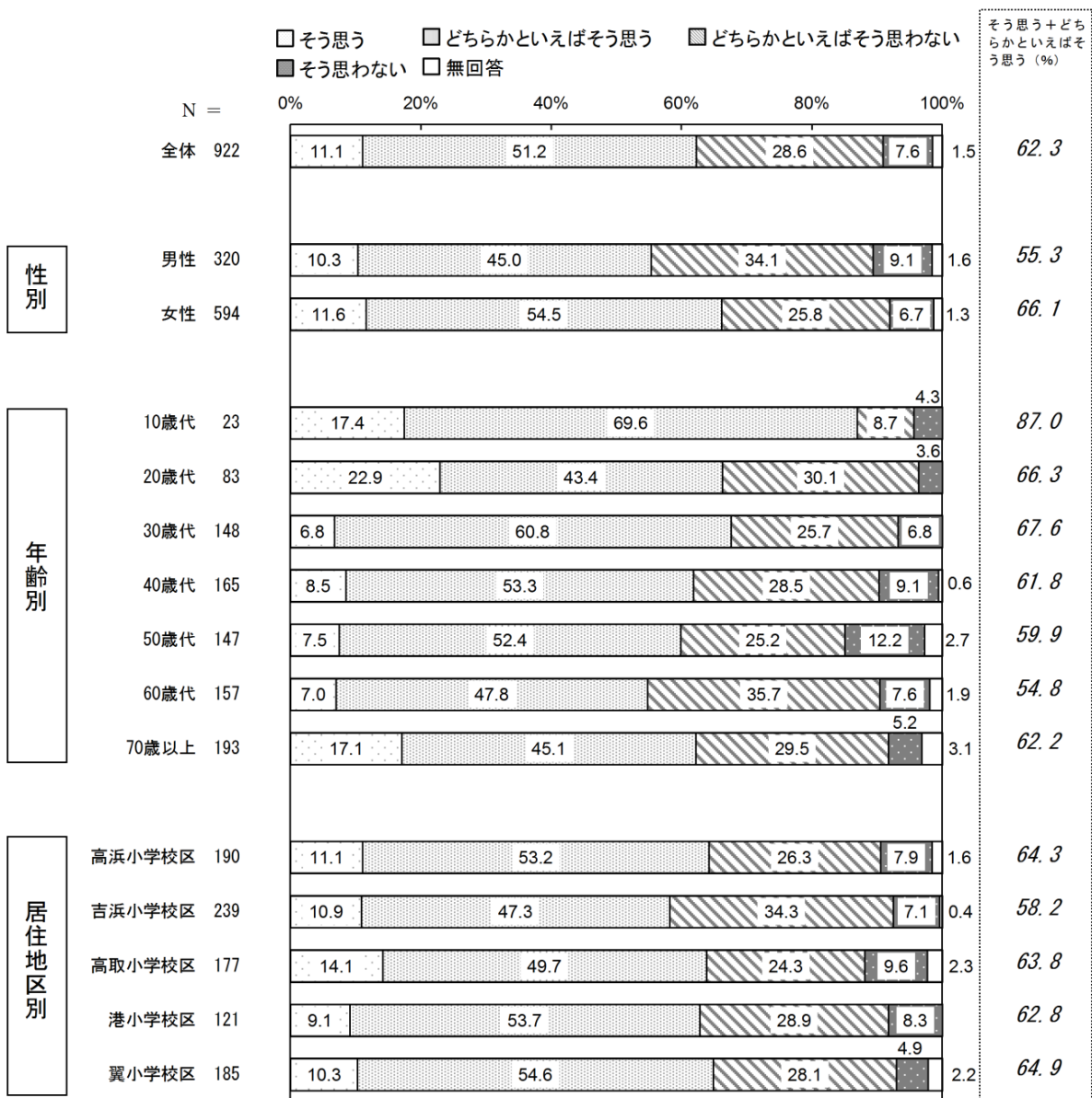
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代（66.3%⇒73.5%）で7.2ポイント増加しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区（62.8%⇒66.9%）で僅かに増加している一方で、高浜小学校区（64.3%⇒60.0%）で僅かに減少していますが、全般的に大きな変化は見られません。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》



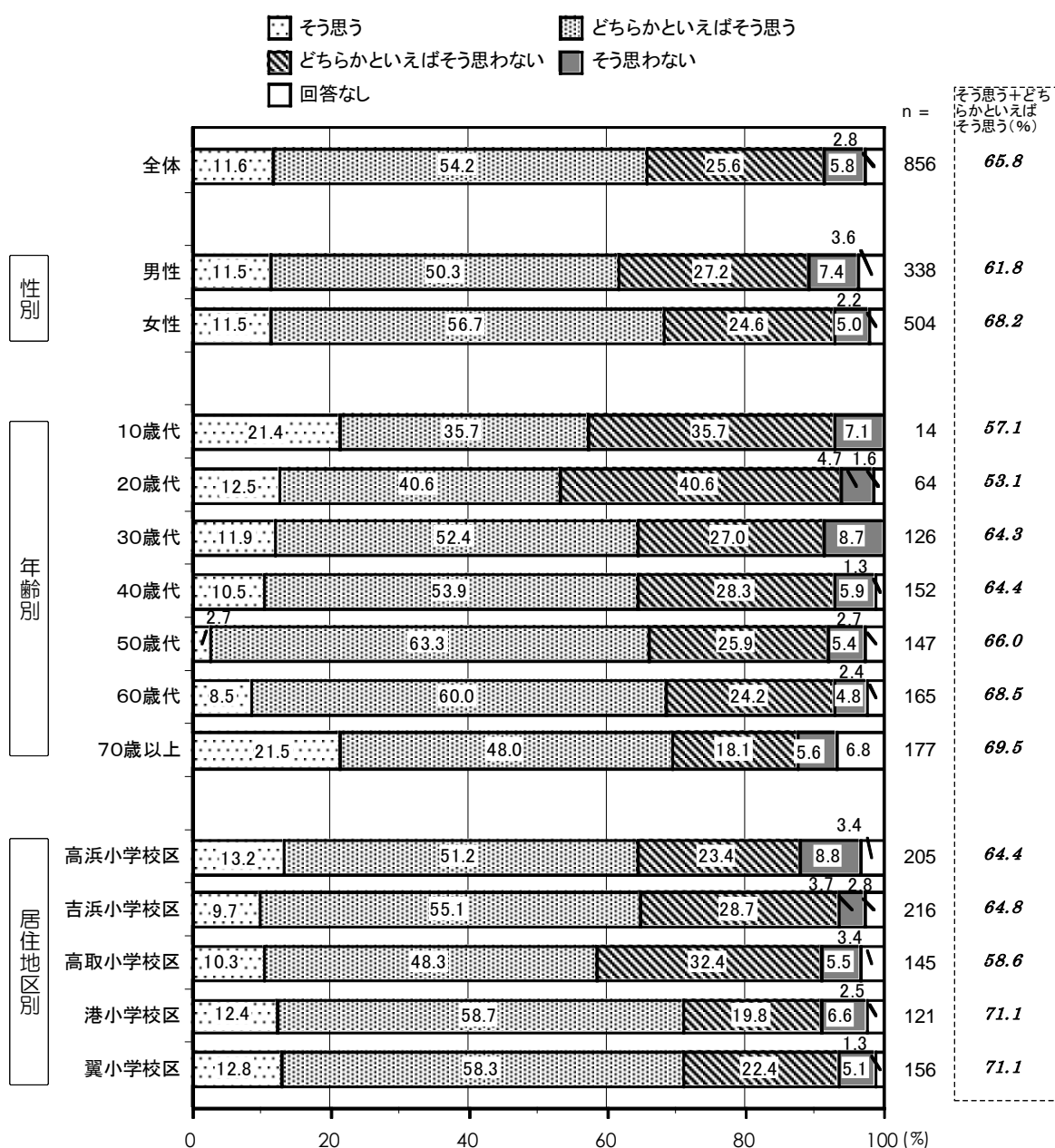
問 11 一人ひとりの元気と健康づくりを応援しているまちだと思ふ。

「一人ひとりの元気と健康づくりを応援しているまちだと思ふ」市民の割合は、「そう思う」が11.6%、「どちらかといえばそう思う」が54.2%であり、合わせて65.8%となっています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、女性(68.2%)の方が男性(61.8%)よりも6.4ポイント高くなっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代(53.1%)で全体より12.7ポイント低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区(71.1%)と翼小学校区(71.1%)で全体よりやや高くなっている一方で、高取小学校区(58.6%)で全体よりやや低くなっています。



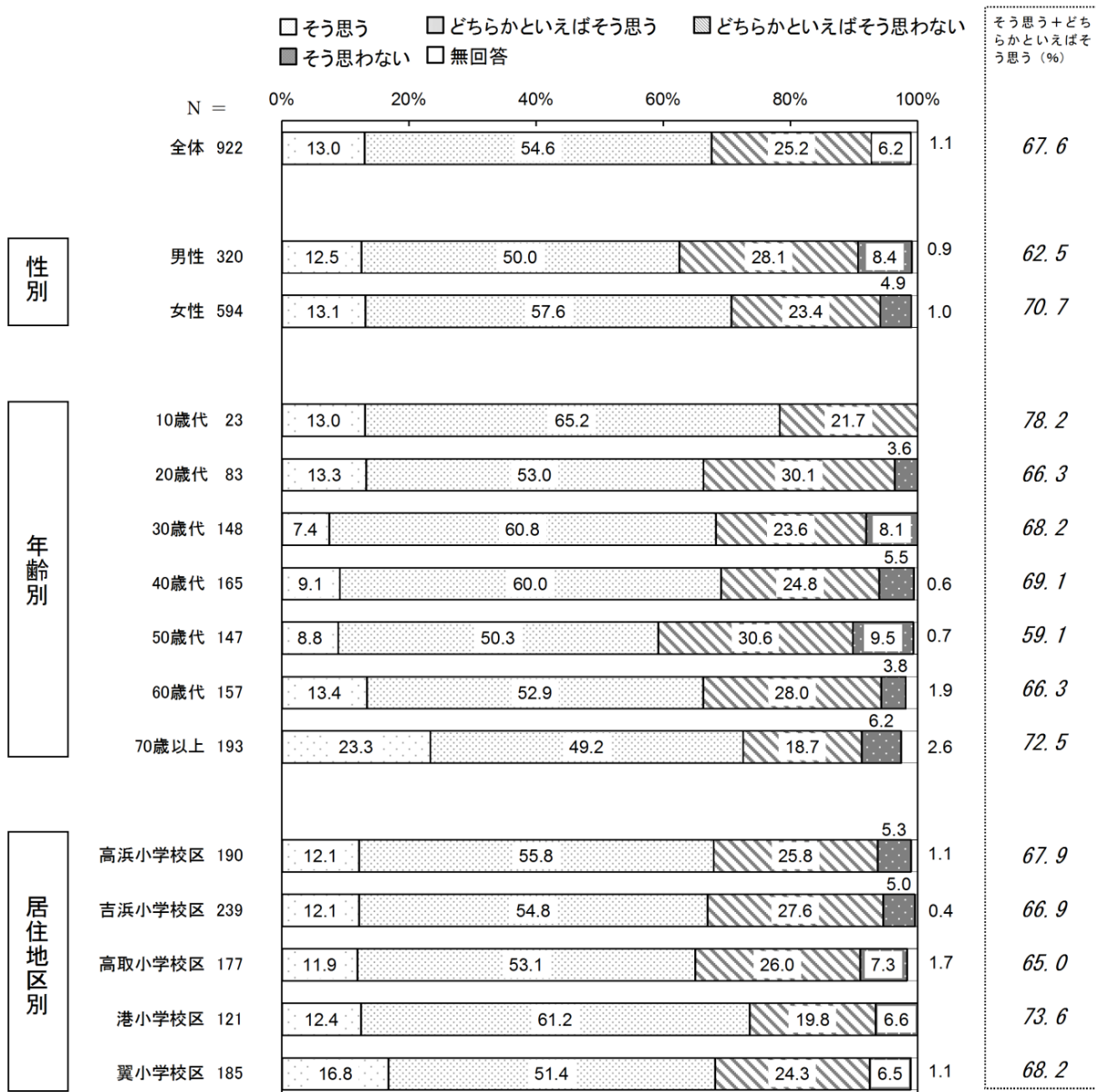
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、50歳代（59.1%⇒66.0%）で6.9ポイント増加している一方で、20歳代（66.3%⇒53.1%）で13.2ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高取小学校区（65.0%⇒58.6%）で6.4ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》



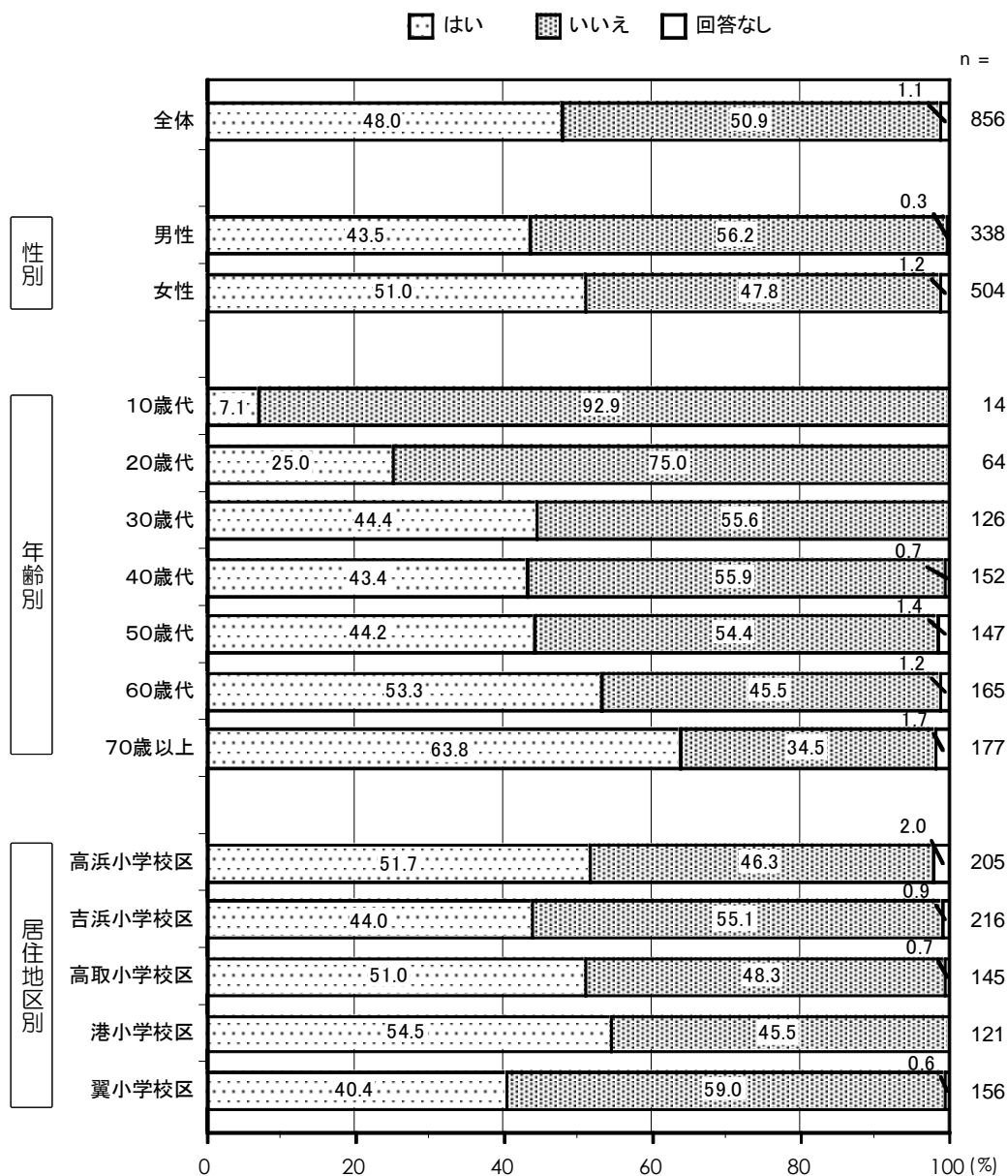
V 高浜市の市政やまちづくり活動などへの参加について (設問 12~32)

問 12 あなたは、高浜市のまちづくりのキャッチフレーズ「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を知っていますか？

「高浜市のまちづくりのキャッチフレーズ『思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま』を知っている」市民の割合は、48.0%となっています。

年齢別では、70歳以上（63.8%）が最も高く、全体と比べて15.8ポイント高くなっています。次いで60歳代（53.3%）となっており、全体より5.3ポイント高くなっています。一方、20歳代（25.0%）で、全体より23.0ポイントも低くなっています。

居住地区別では、港小学校区（54.5%）で全体より6.5ポイント高くなっている一方で、翼小学校区（40.4%）で全体より7.6ポイント低くなっています。



【前回調査との比較】

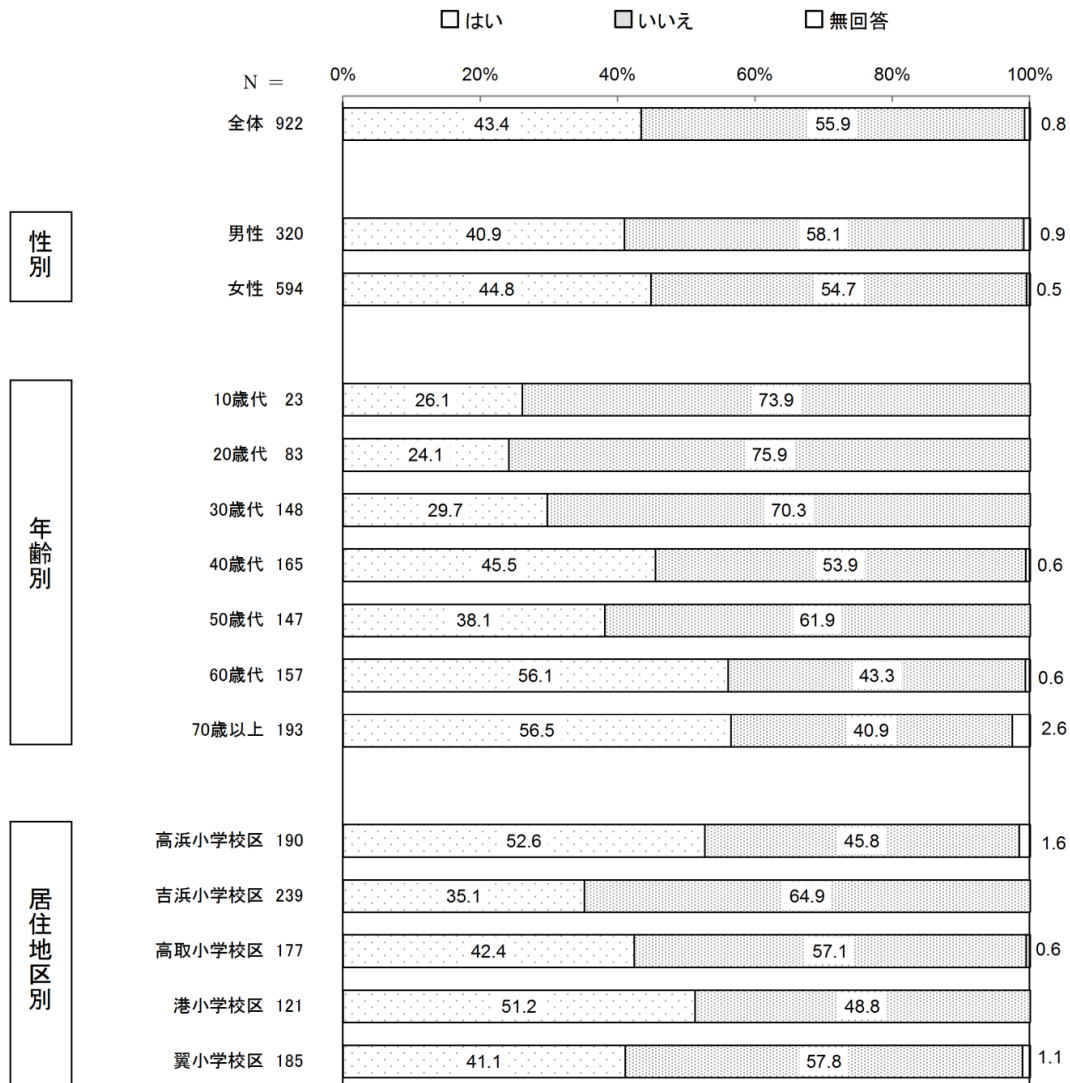
前回調査と比較すると、「高浜市のキャッチフレーズを知っている」市民の割合は（43.4%⇒48.0%）で僅かに増加しています。

性別では女性（44.8%⇒51.0%）で6.2ポイント増加しています。

年齢別では、30歳代（29.7%⇒44.4%）で14.7ポイント増加、70歳以上（56.5%⇒63.8%）で7.3ポイント増加、50歳代（38.1%⇒44.2%）で6.1ポイント増加しています。

居住地区別では、吉浜小学校区（35.1%⇒44.0%）で8.9ポイント増加、高取小学校区（42.4%⇒51.0%）、で8.6ポイント増加しています。

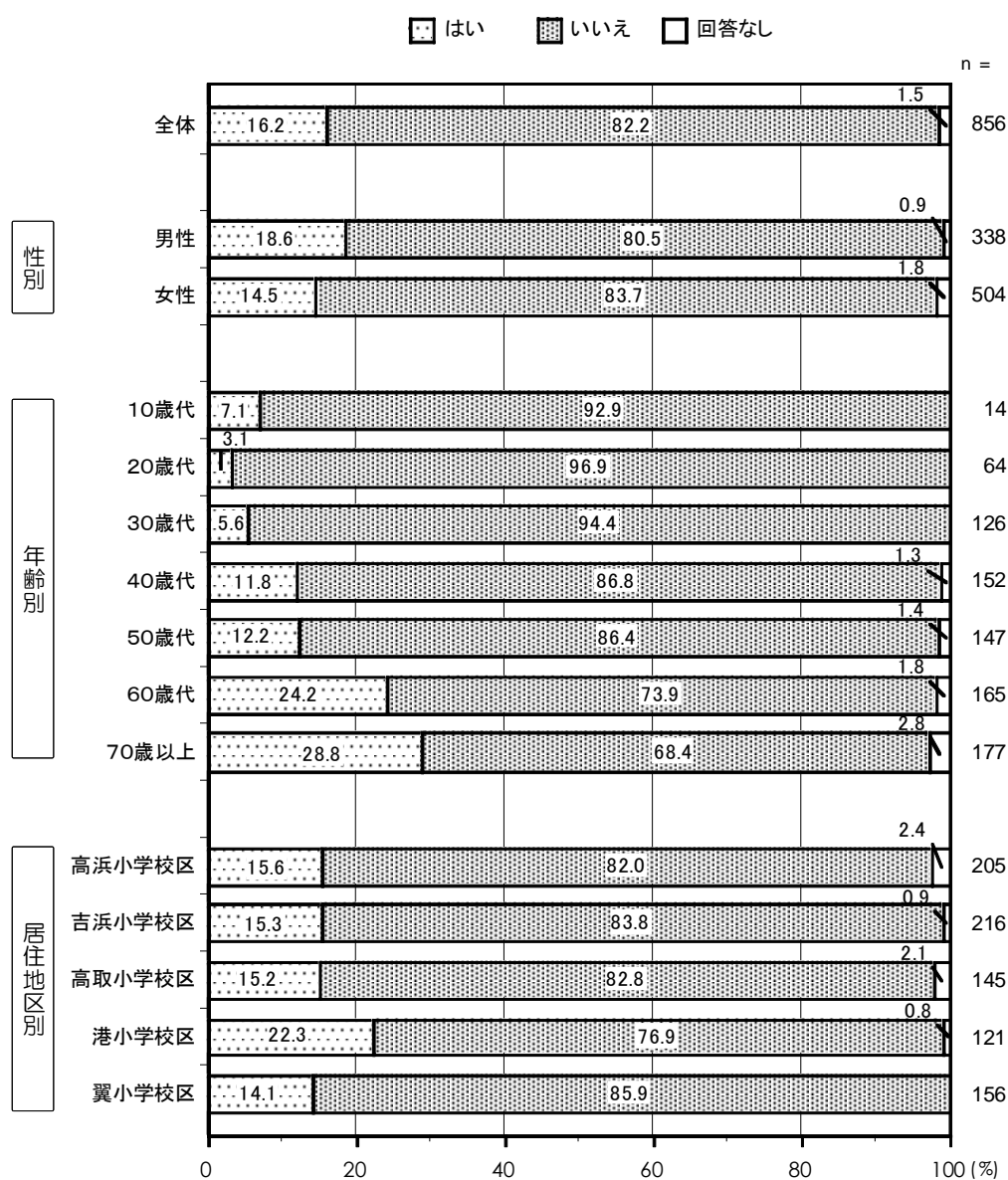
《参考：前回調査の結果（平成28年度）》



問13 あなたは、「私たちの愛するまち高浜市を未来へとつなげていくために」を前文とする「高浜市自治基本条例」を知っていますか？

『私たちの愛するまち高浜市を未来へとつなげていくために』を前文とする『高浜市自治基本条例』を知っている」市民の割合は、16.2%となっています。

年齢別では、70歳以上（28.8%）が最も高く、全体と比べて12.6ポイント高くなっています。次いで60歳代（24.2%）となっており、全体と比べて8.0ポイント高くなっています。一方、20歳代（3.1%）や30歳代（5.6%）では、全体より共に10ポイント以上低くなっています。また、20歳代以降は年齢層が上がるにつれて、『高浜市自治基本条例』を知っている」市民の割合が高くなる傾向が見られます。

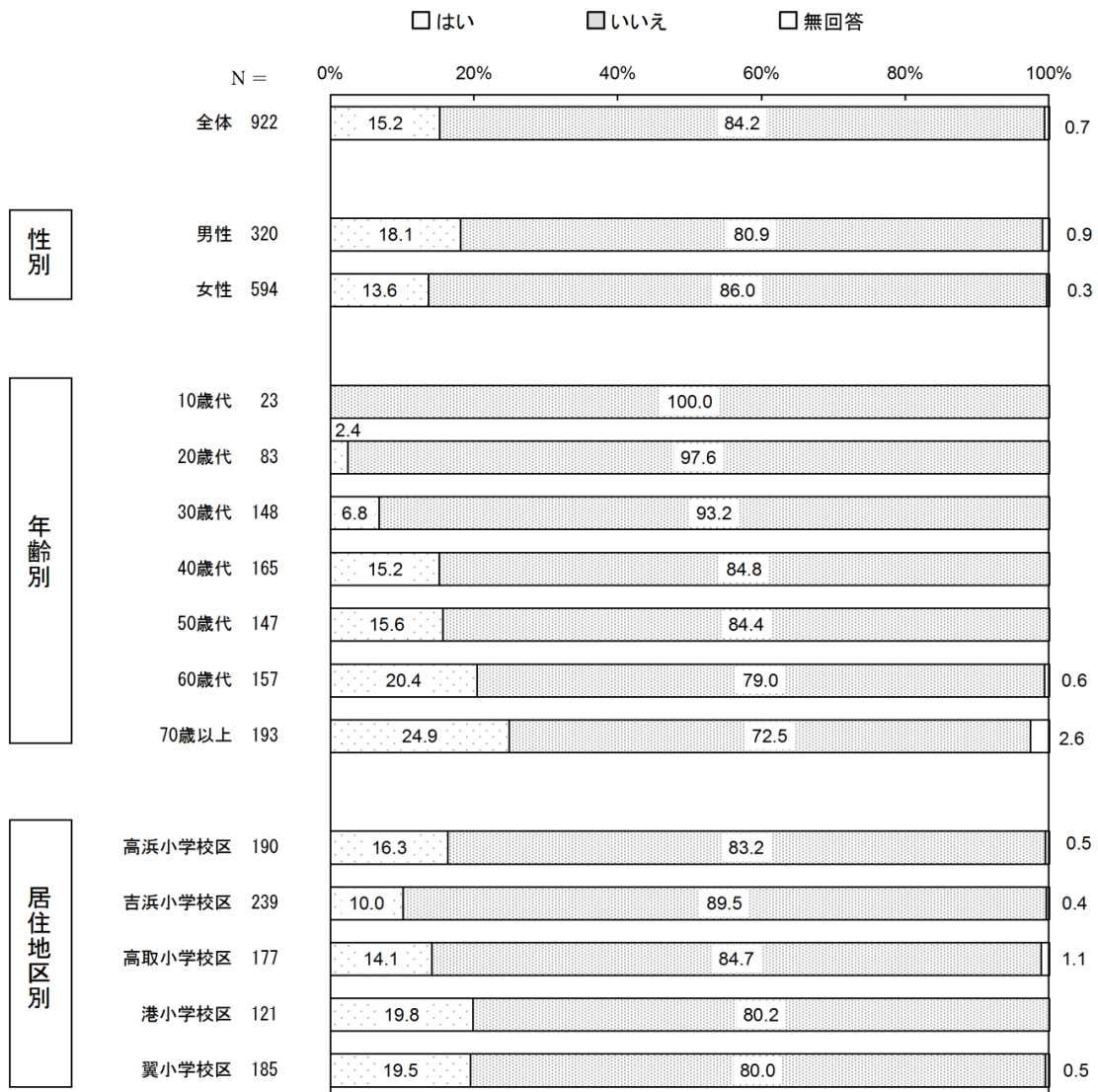


【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

居住地区別では、吉浜小学校区（10.0%⇒15.3%）で5.3ポイント増加した一方、翼小学校区（19.5%⇒14.1%）で5.4ポイント減少しています。

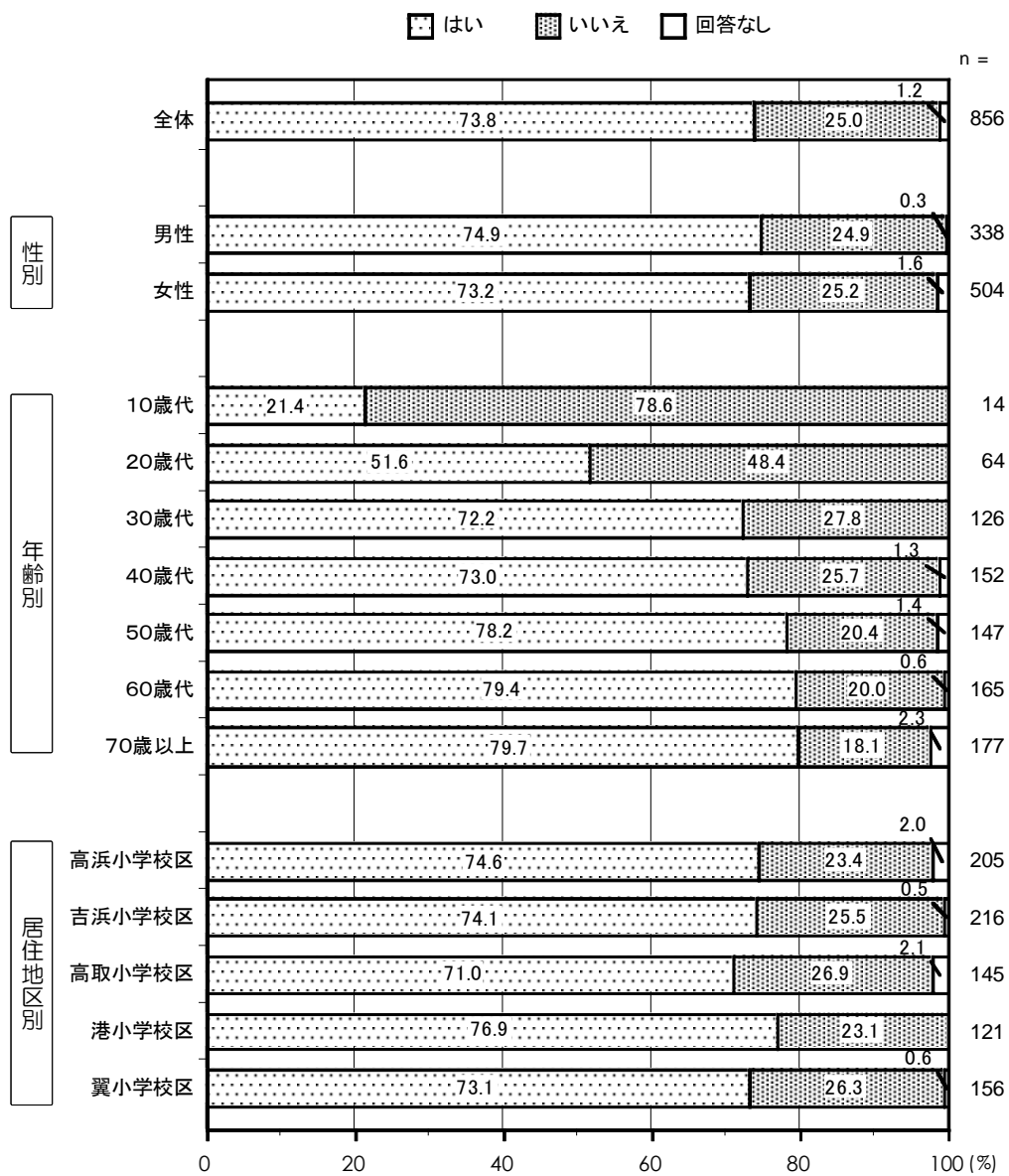
《参考：前回調査の結果（H28年度）》



問 14 あなたは、高浜市の財政状況に関心がありますか？

「高浜市の財政状況に関心がある」市民の割合は、73.8%となっています。

年齢別では、年齢層が上がるにつれて、「高浜市の財政状況に関心がある」市民の割合が高くなる傾向が見られ、70歳代（79.7%）では全体より5.9ポイント高くなっています。



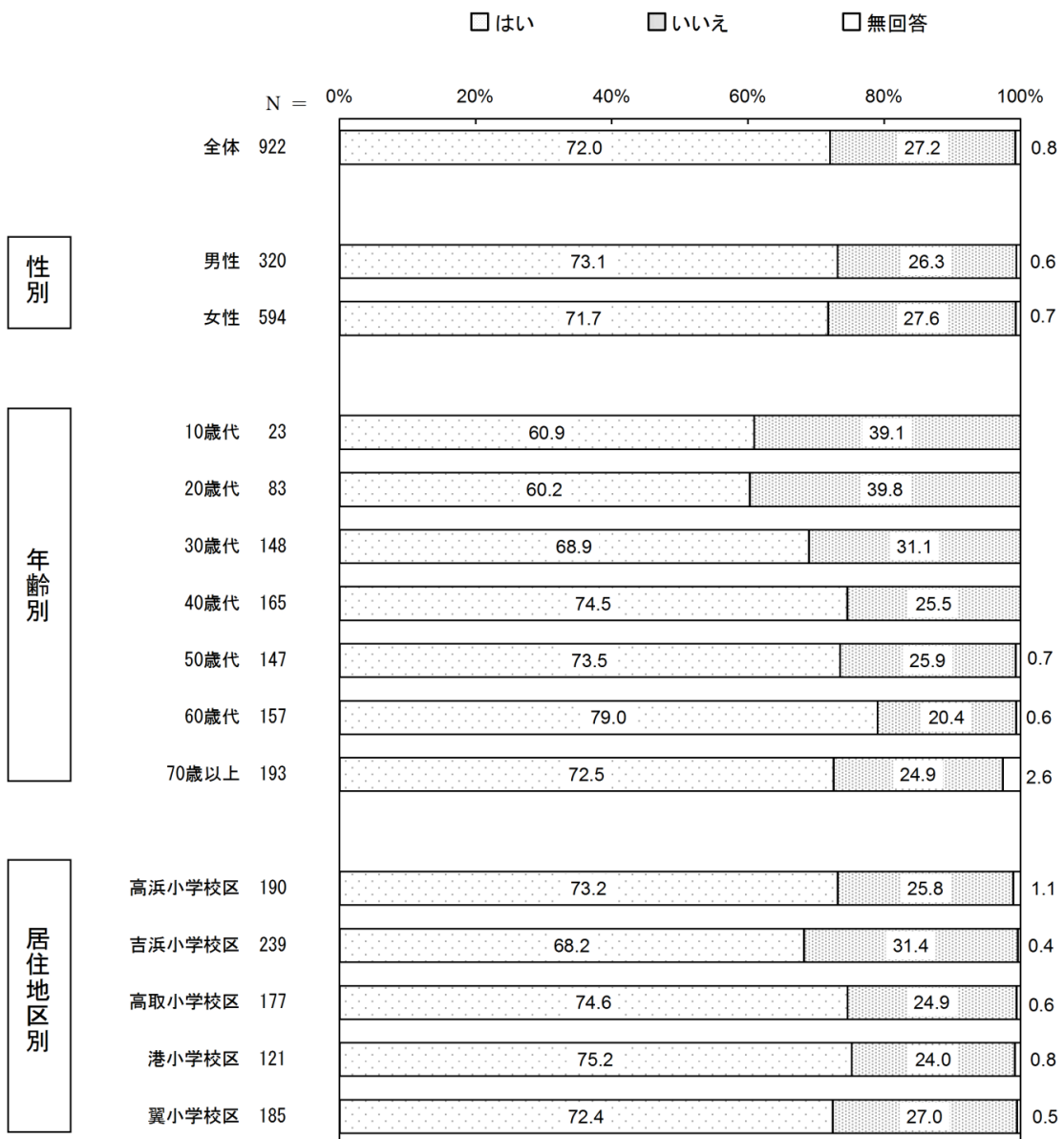
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

「高浜市の財政状況に関心がある」市民の割合は、年齢別では70歳以上（72.5%⇒79.7%）で7.2ポイント増加した一方、20歳代（60.2%⇒51.6%）で8.6ポイント減少しています。

居住地区別では、吉浜小学校区（68.2%⇒74.1%）で5.9ポイント増加しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

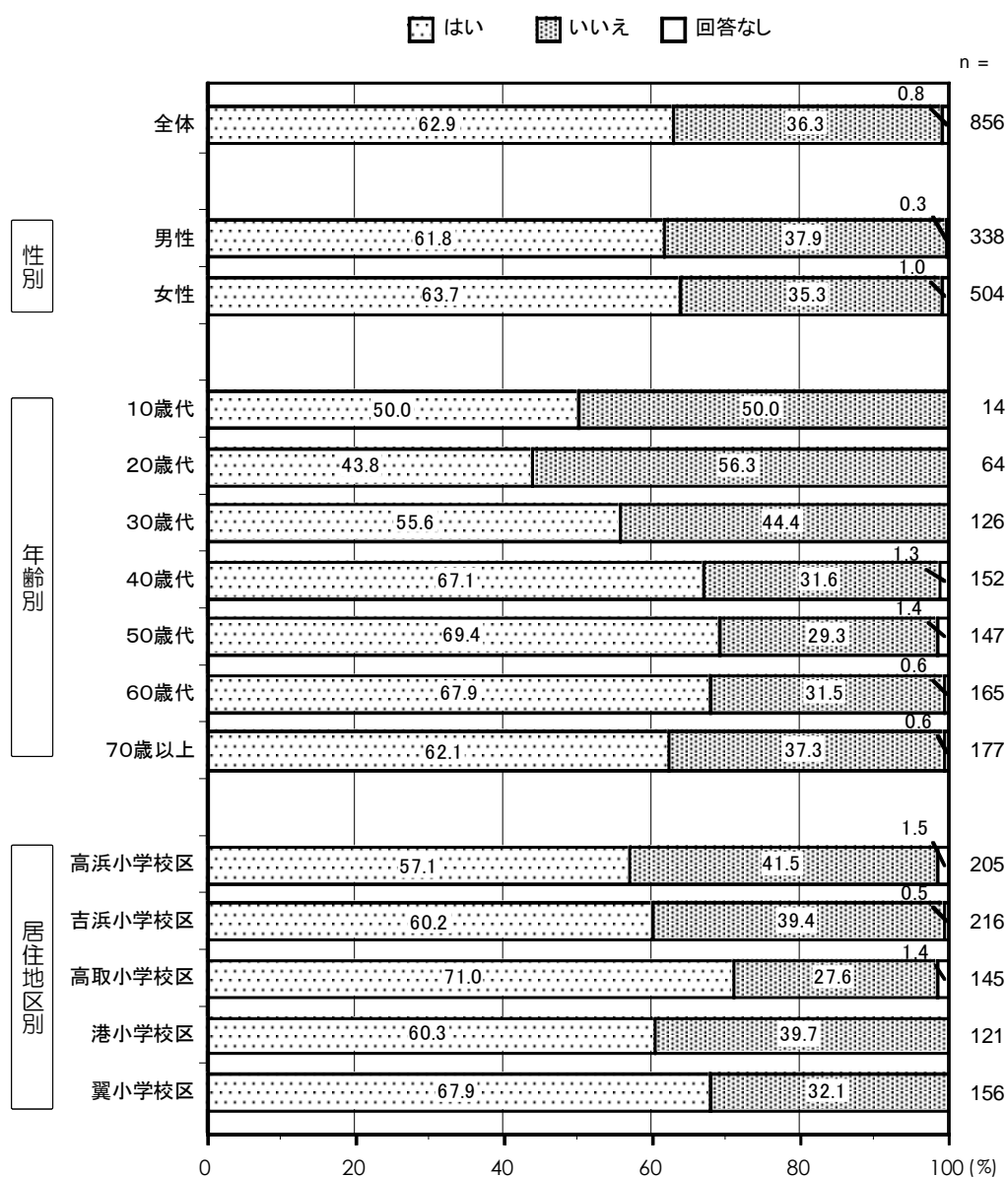


問 15 あなたは、地域活動に参加したことがありますか？

「地域活動に参加したことがある」市民の割合は、62.9%となっています。

年齢別では、50歳代（69.4%）が最も高く、全体を6.5ポイント上回っています。一方、20歳代（43.8%）で全体より19.1ポイント、30歳代（55.6%）で全体より7.3ポイント低くなっています。

居住地区別では、高浜小学校区（57.1%）で全体よりやや低くなっています。



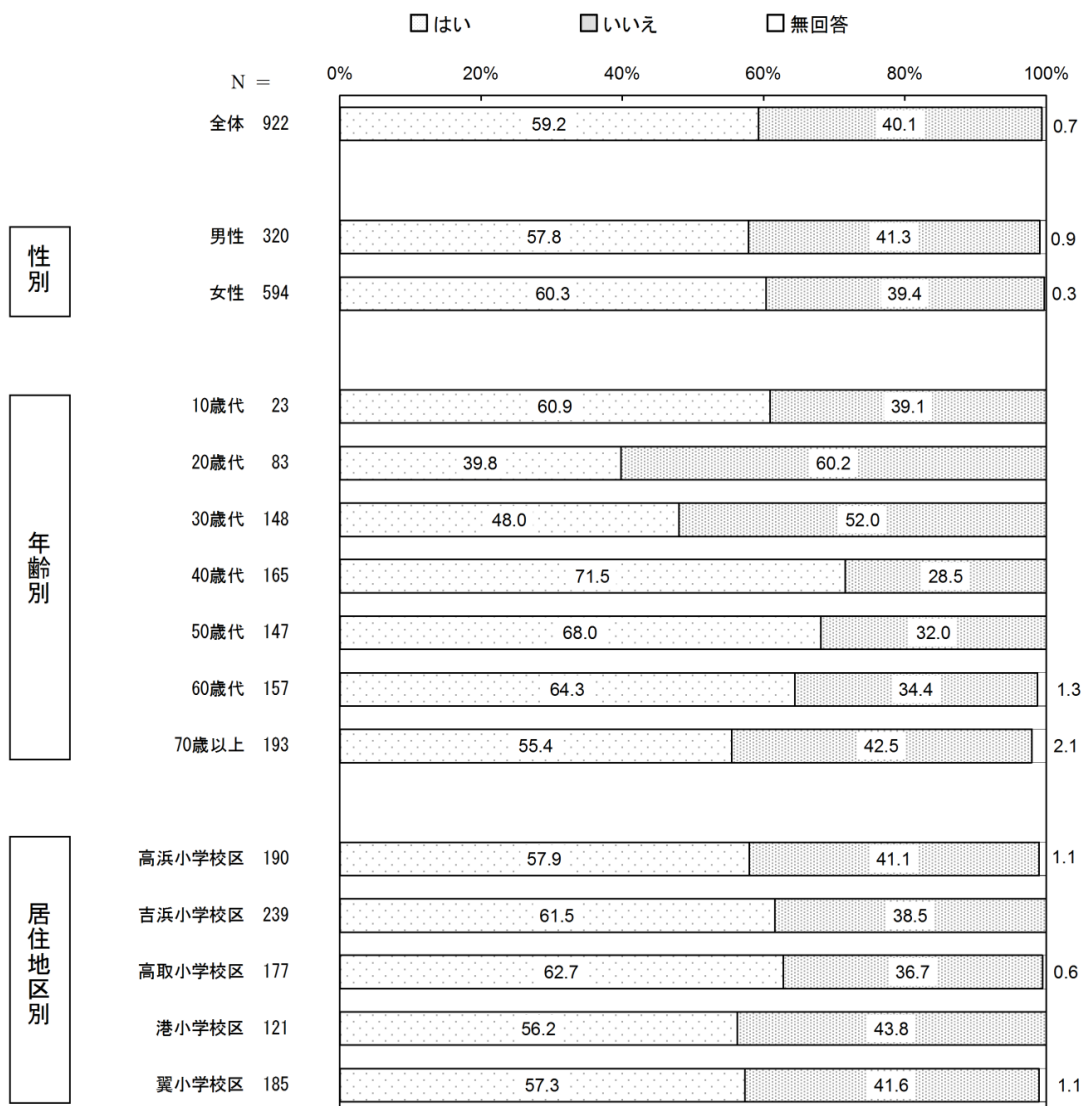
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

「地域活動に参加したことがある」市民の割合は、年齢別では30歳代（48.0%⇒55.6%）7.6ポイント増加、70歳以上（55.4%⇒62.1%）で6.7ポイント増加しています。

居住地区別では、翼小学校区（57.3%⇒67.9%）で10.6ポイント増加、高取小学校区（62.7%⇒71.0%）で8.3ポイント増加しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

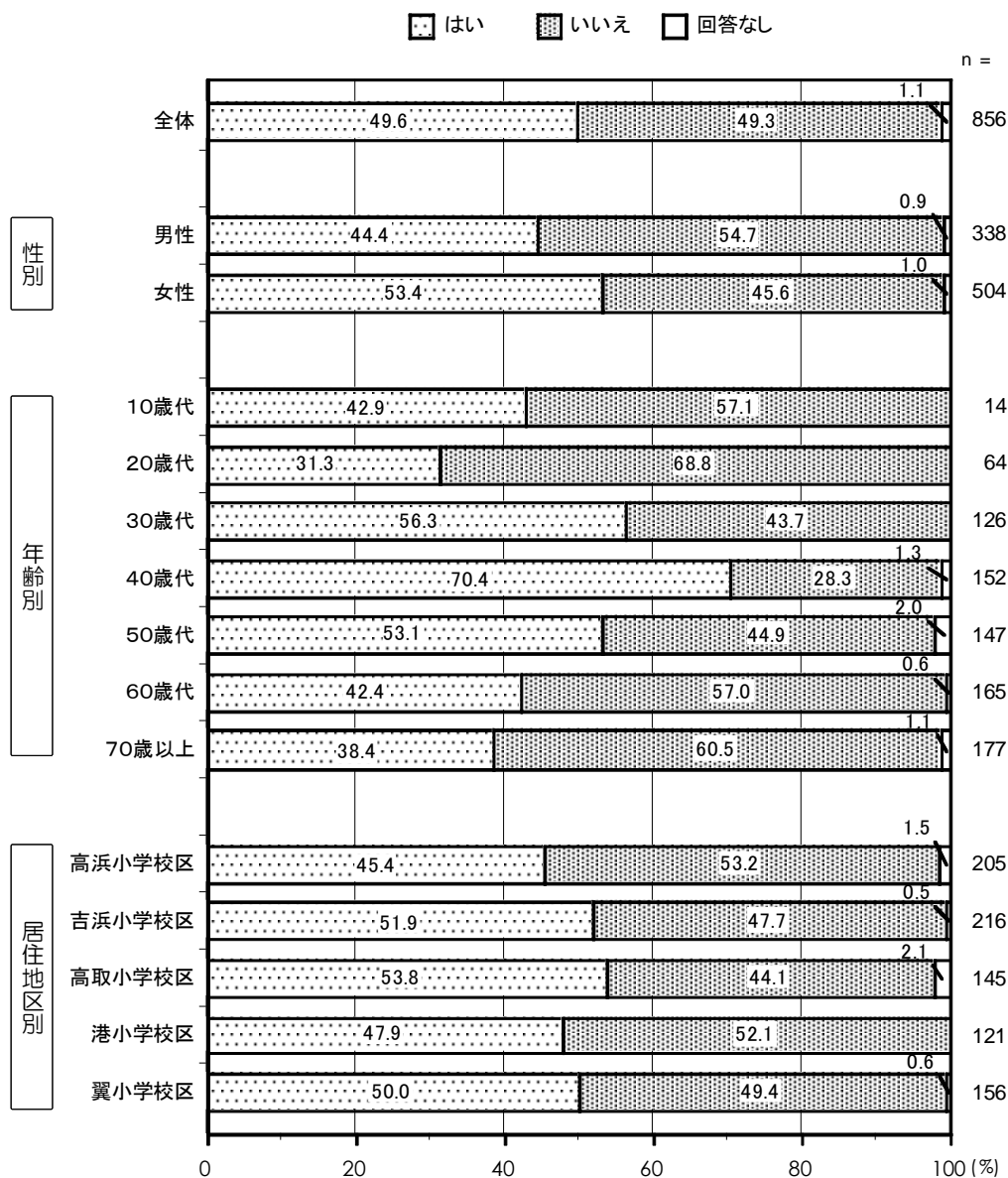


問 16 あなたは、子どもとふれあう行事に参加したことがありますか？

「子どもとふれあう行事に参加したことがある」市民の割合は、49.6%となっています。

性別では、男性（44.4%）は女性（53.4%）よりも9.0ポイント低く、全体を5.2ポイント下回っています。

年齢別では、40歳代（70.4%）が最も高く、全体と比べて20.8ポイントも高くなっています。次いで30歳代（56.3%）となっており、全体と比べて6.7ポイント高くなっています。一方、20歳代（31.3%）や70歳以上（38.4%）、60歳代（42.4%）は、全体と比べてそれぞれ、18.3ポイント、11.2ポイント、7.2ポイント低くなっています。



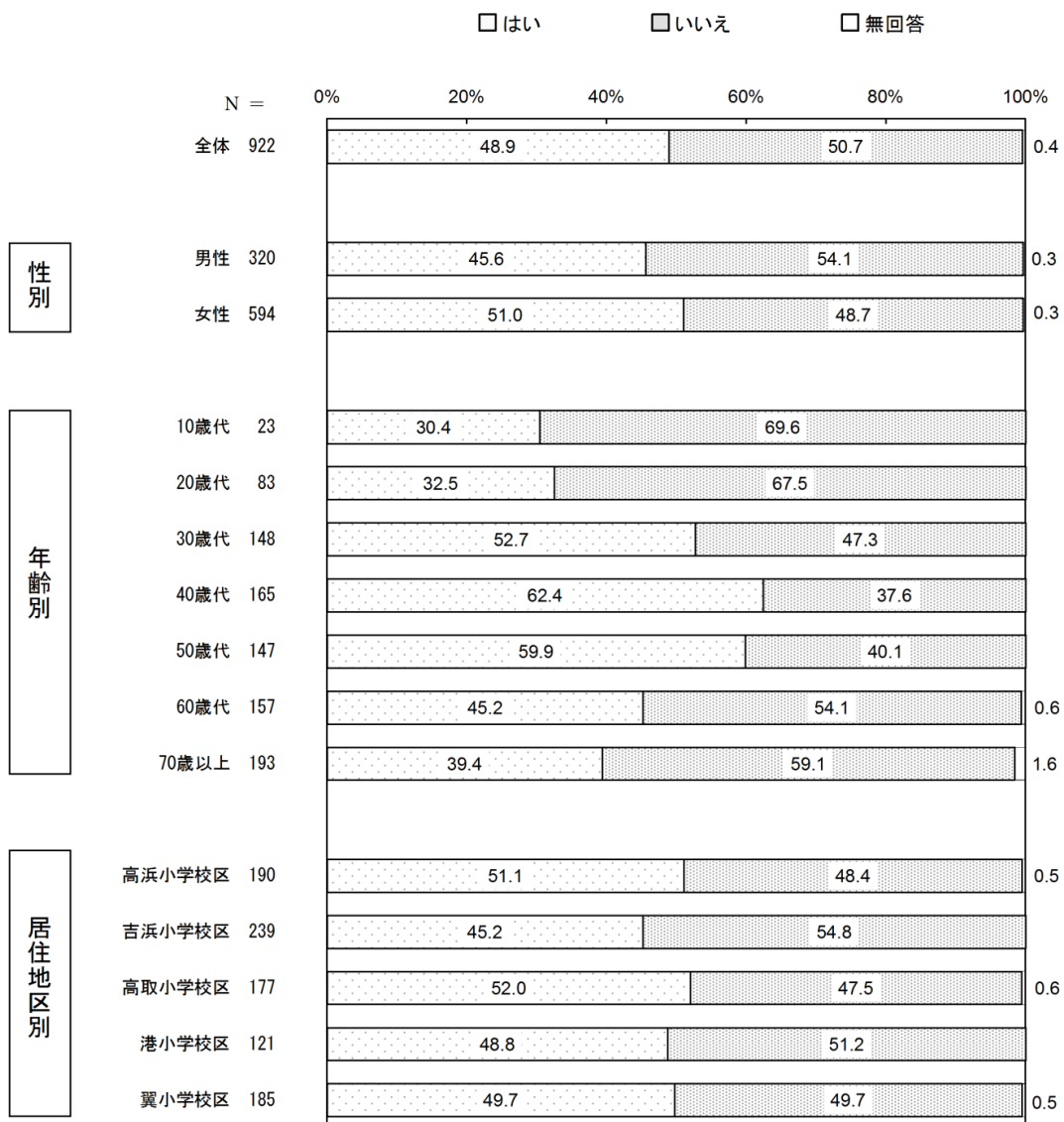
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

「子どもとふれあう行事に参加したことがある」市民の割合は、年齢別では、40歳代（62.4%⇒70.4%）で8.0ポイント増加している一方で、50歳代（59.9%⇒53.1%）で6.8ポイント減少しています。

居住地区別では、吉浜小学校区（45.2%⇒51.9%）で6.7ポイント増加している一方で、高浜小学校区（51.1%⇒45.4%）で5.7ポイント減少しています。

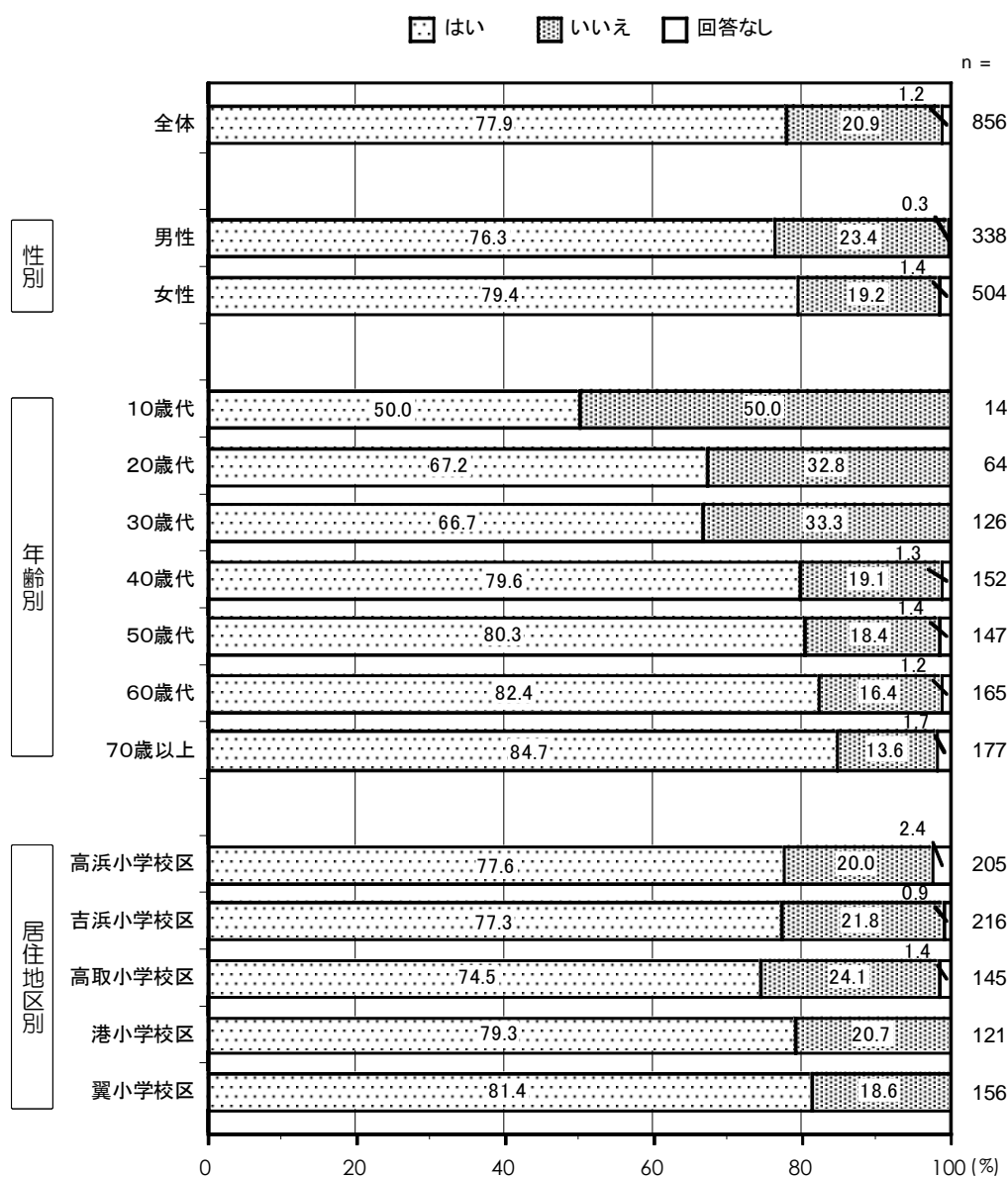
《参考：前回調査の結果（H28年度）》



問17 あなたは、日ごろから省エネや省資源など環境に配慮した生活をしていますか？

「日ごろから省エネや省資源など環境に配慮した生活をしている」市民の割合は、77.9%となっています。

年齢別では、70歳以上(84.7%)が最も高く、全体と比べて6.8ポイント高くなっています。一方、30歳代(66.7%)で全体より11.2ポイント、20歳代(67.2%)で全体より10.7ポイント低くなっています。

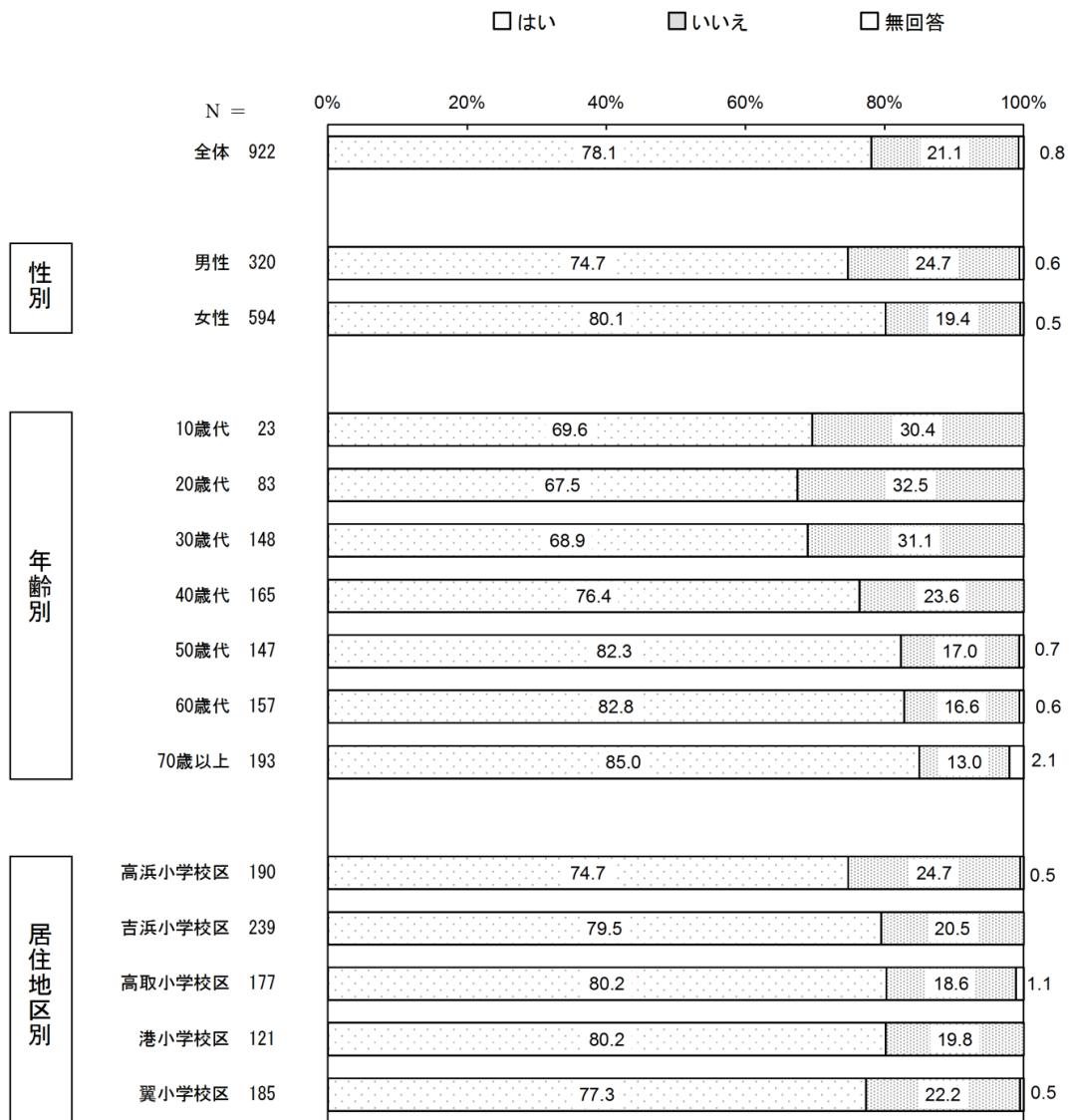


【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

「日ごろから省エネや省資源など環境に配慮した生活をしている」市民の割合は、居住地区別では、高取小学校区（80.2%⇒74.5%）で5.7ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

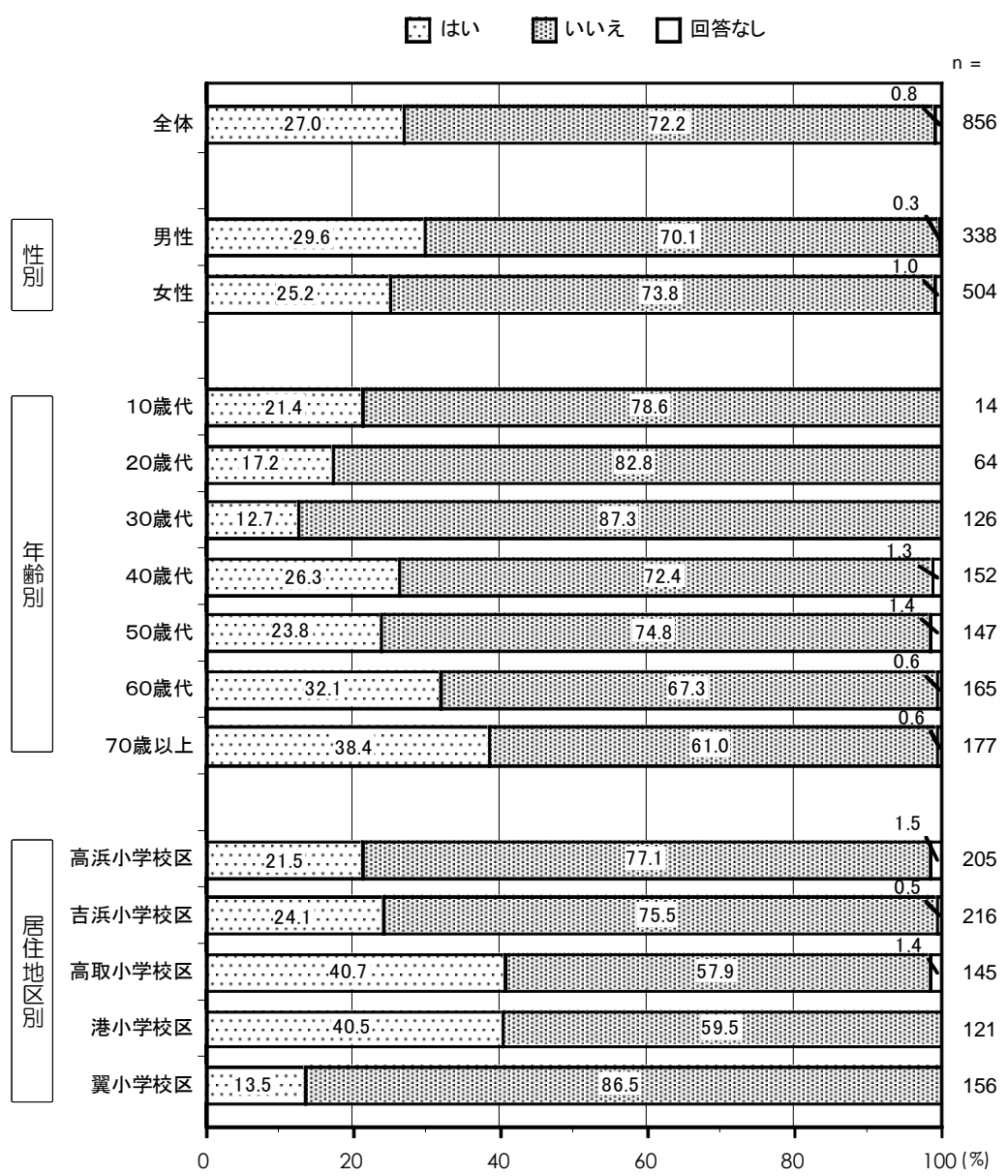


問 18 あなたは、公園・緑地づくりや、街路樹の手入れ、憩いの場となる川づくり・海辺づくりに参加したことがありますか？

「公園・緑地づくりや、街路樹の手入れ、憩いの場となる川づくり・海辺づくりに参加したことがある」市民の割合は、27.0%となっています。

年齢別では、70歳以上（38.4%）で11.4ポイント高く、60歳代（32.1%）でも5.1ポイント高くなっています。一方、30歳代（12.7%）で全体より14.3ポイント低く、20歳代（17.2%）でも全体より9.8ポイント低くなっています。

居住地区別では、高取小学校区（40.7%）で13.7ポイント、港小学校区（40.5%）で13.5ポイント全体より高くなっています。一方、翼小学校区（13.5%）で全体より14.3ポイント低く、高浜小学校区（21.5%）でも全体より5.5ポイント低くなっています。



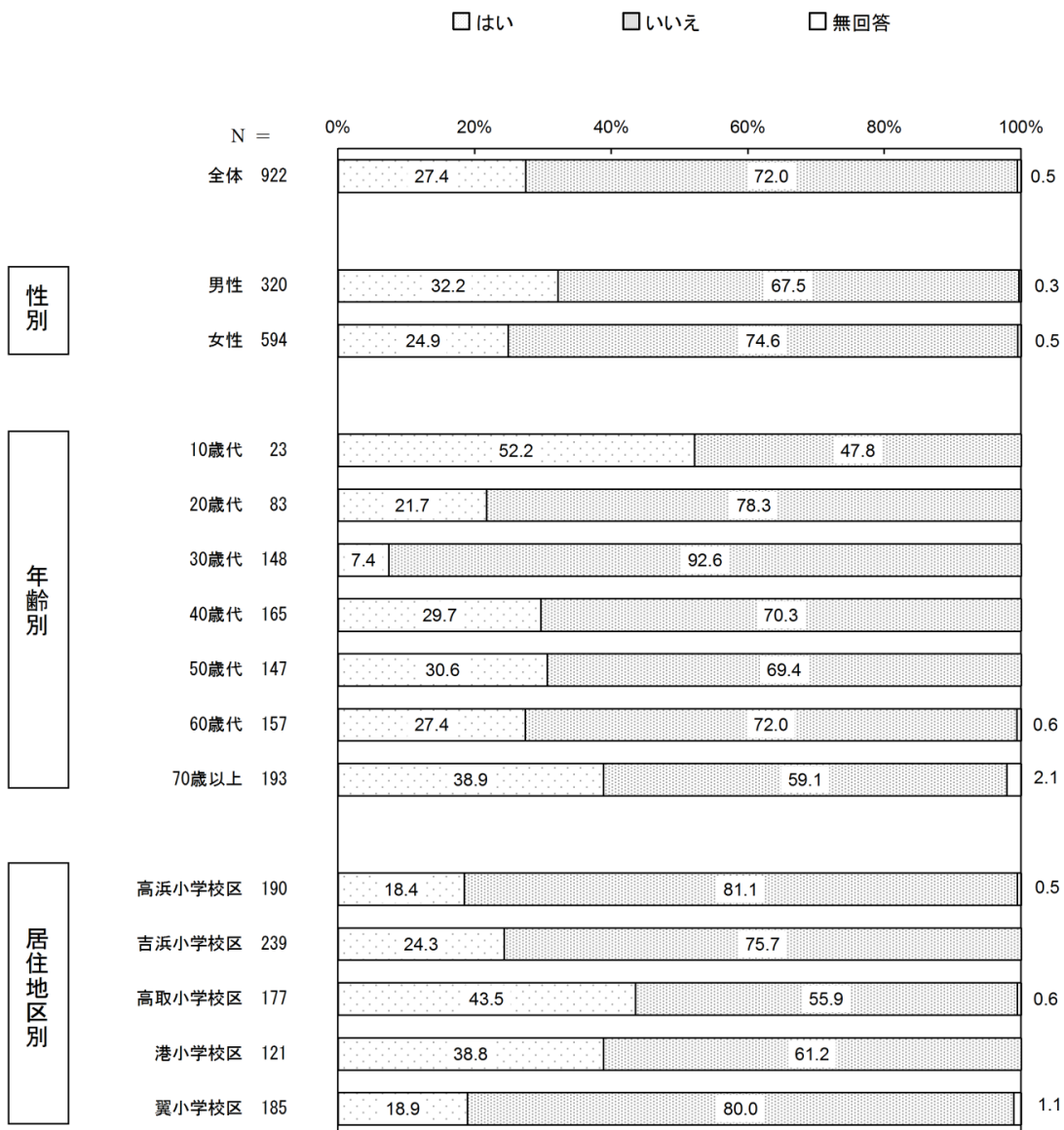
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

「公園・緑地づくりや、街路樹の手入れ、憩いの場となる川づくり・海辺づくりに参加したことがある」市民の割合は、年齢別では30歳代（7.4%⇒12.7%）で5.3ポイント増加している一方で、50歳代（30.6%⇒23.8%）で6.8ポイント減少しています。

居住地区別では、翼小学校区（18.9%⇒13.5%）が5.4ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

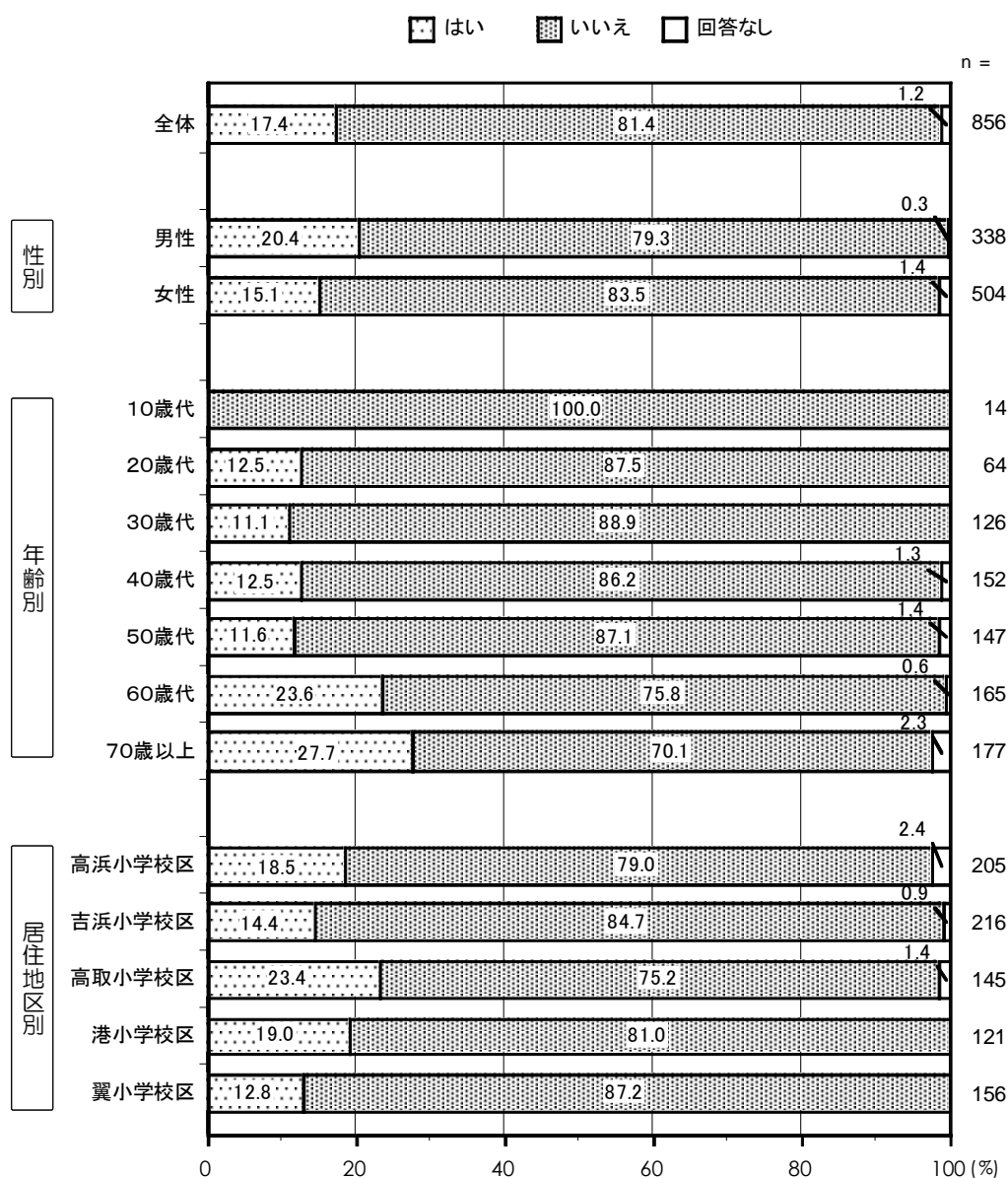


問 19 あなたは、地域福祉に関するボランティア活動（困りごとを抱える人への見守りや生活の手助け、災害時要援護者支援など）に参加したことがありますか？

「地域福祉に関するボランティア活動（困りごとを抱える人への見守りや生活の手助け、災害時要援護者支援など）に参加したことがある」市民の割合は、17.4%となっています。

年齢別では、70歳以上（27.7%）が最も高く、次いで60歳代（23.6%）となっており、全体と比べてそれぞれ、10.3ポイント、6.2ポイント高くなっています。一方で、30歳代（11.1%）と50歳代（11.6%）で全体よりやや低くなっています。

居住地区別では、高取小学校区（23.4%）で全体よりやや高くなっています。

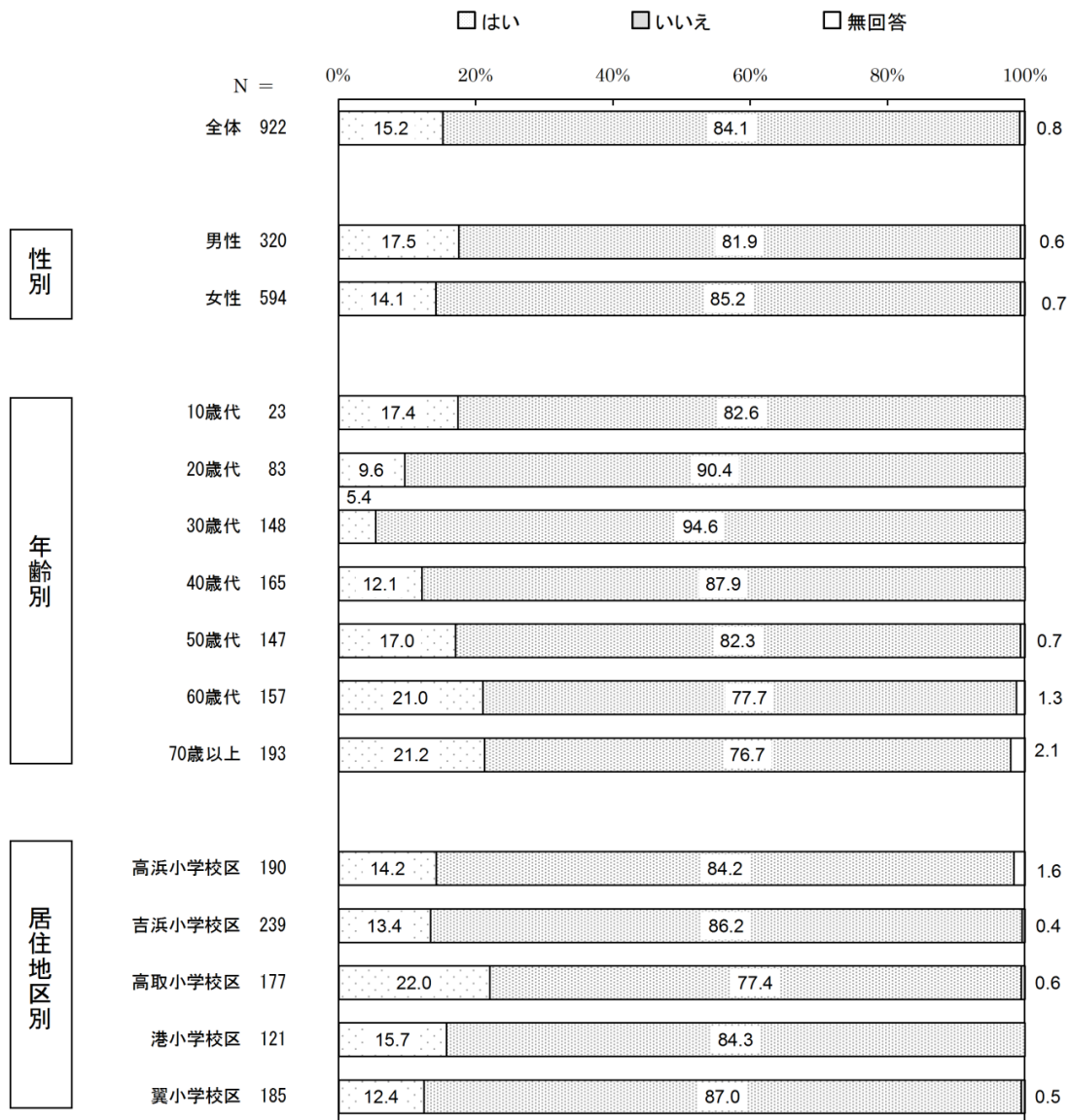


【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

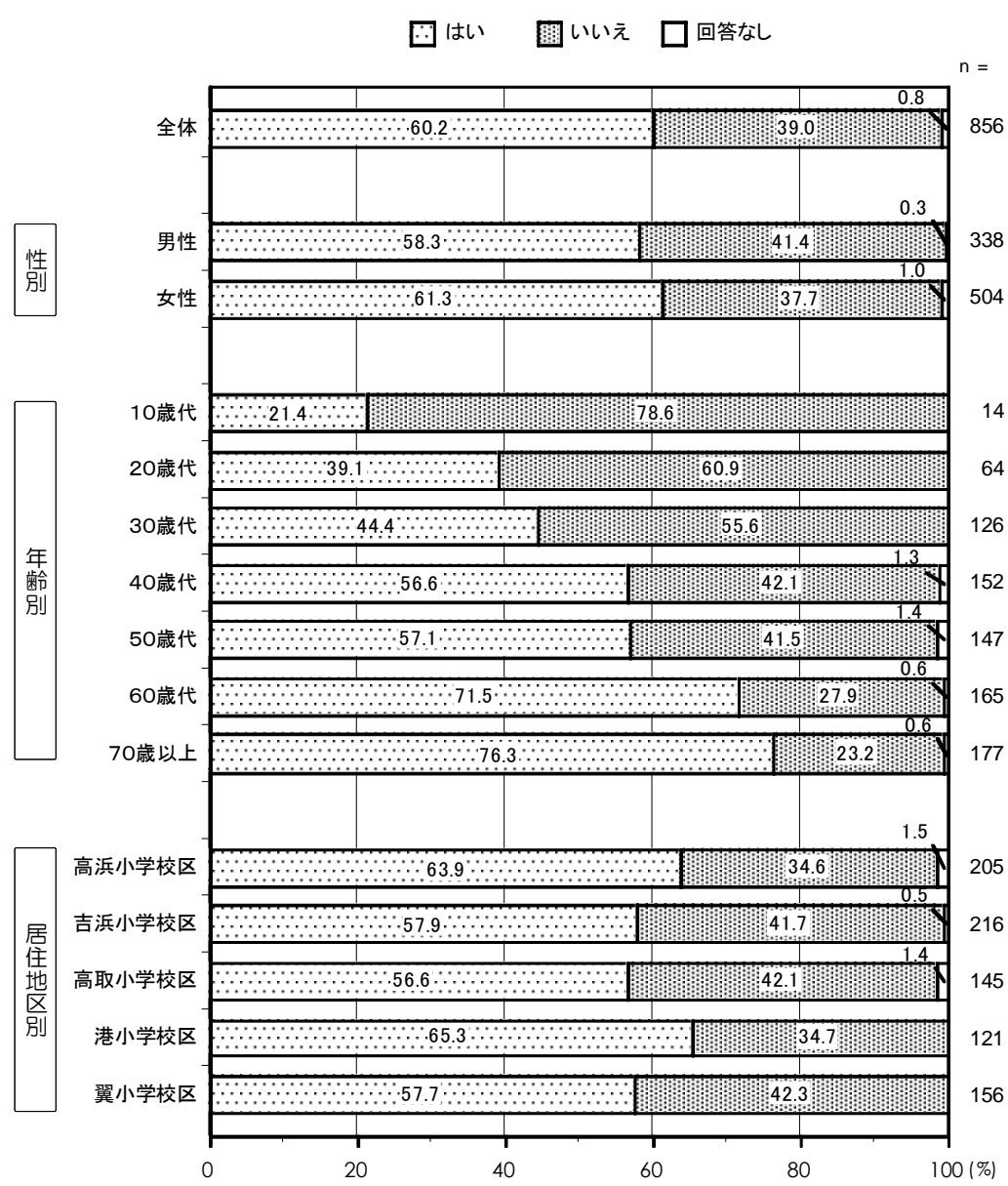
「地域福祉に関するボランティア活動（困りごとを抱える人への見守りや生活の手助け、災害時要援護者支援など）に参加したことがある」市民の割合は、年齢別では70歳代（21.2%⇒27.7%）で6.5ポイント増加、30歳代（5.4%⇒11.1%）で5.7ポイント増加している一方で、50歳代（17.0%⇒11.6%）は5.4ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》



問 20 あなたは、高浜市いきいき広場にある、育児・介護・健康・生活困窮などの不安を抱えた人が相談できる福祉の総合窓口「地域包括支援センター」を知っていますか？

『地域包括支援センター』を知っている」市民の割合は、60.2%となっています。
 年齢別では、70歳以上（76.3%）で最も高く、全体と比べて16.1ポイントも高くなっていますが、年齢層が下がるにつれて『地域包括支援センター』を知っている」市民の割合が低くなる傾向が見られ、20歳代（39.1%）では、全体を21.1ポイントも下回っています。
 居住地区別では、港小学校区（65.3%）で、全体よりやや高くなっています。



【前回調査との比較】

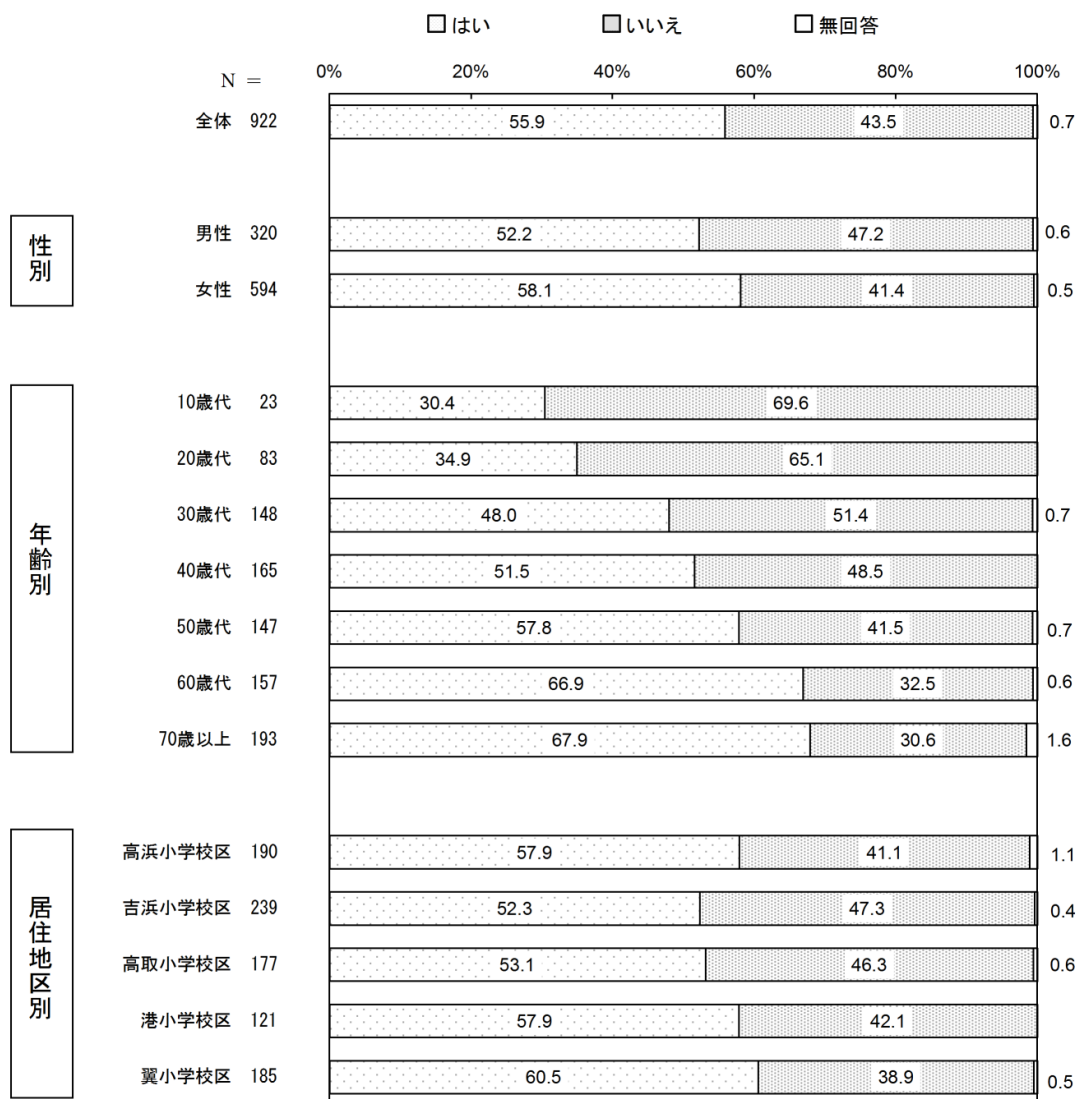
前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

『地域包括支援センター』を知っている」市民の割合は、性別では、男性（52.2%⇒58.3%）が6.1ポイント増加しています。

年齢別では、70歳以上（67.9%⇒76.3%）で8.4ポイント増加、40歳代（51.5%⇒56.6%）で5.1ポイント増加しています。

居住地区別では、港小学校区（57.9%⇒65.3%）が7.4ポイント、高浜小学校区（57.9%⇒63.9%）が6.0ポイント、吉浜小学校区（52.3%⇒57.9%）が5.6ポイント、それぞれ増加しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

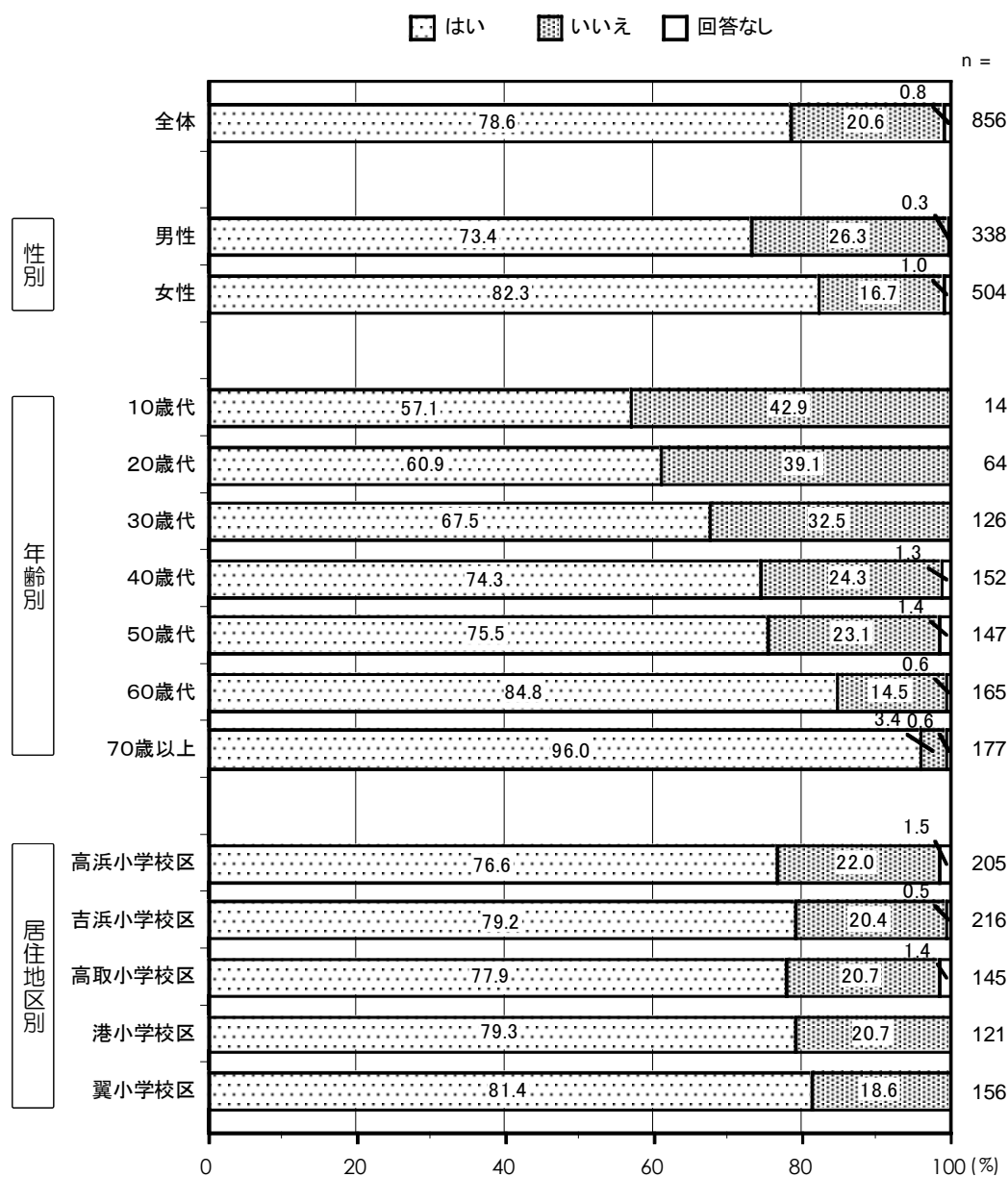


問 21 あなたは、かかりつけ医を持っていますか？

「かかりつけ医を持っている」市民の割合は、78.6%となっています。

性別では、男性（73.4%）で全体よりやや低くなっています。

年齢別では、70歳以上（96.0%）が最も高く、全体と比べて17.4ポイント高く、次いで60歳代（84.8%）となっており、全体と比べて6.2ポイント高くなっています。年齢層が下がるにつれて「かかりつけ医を持っている」市民の割合が低くなる傾向が見られ、20歳代（60.9%）では、全体を17.7ポイントも下回っています。



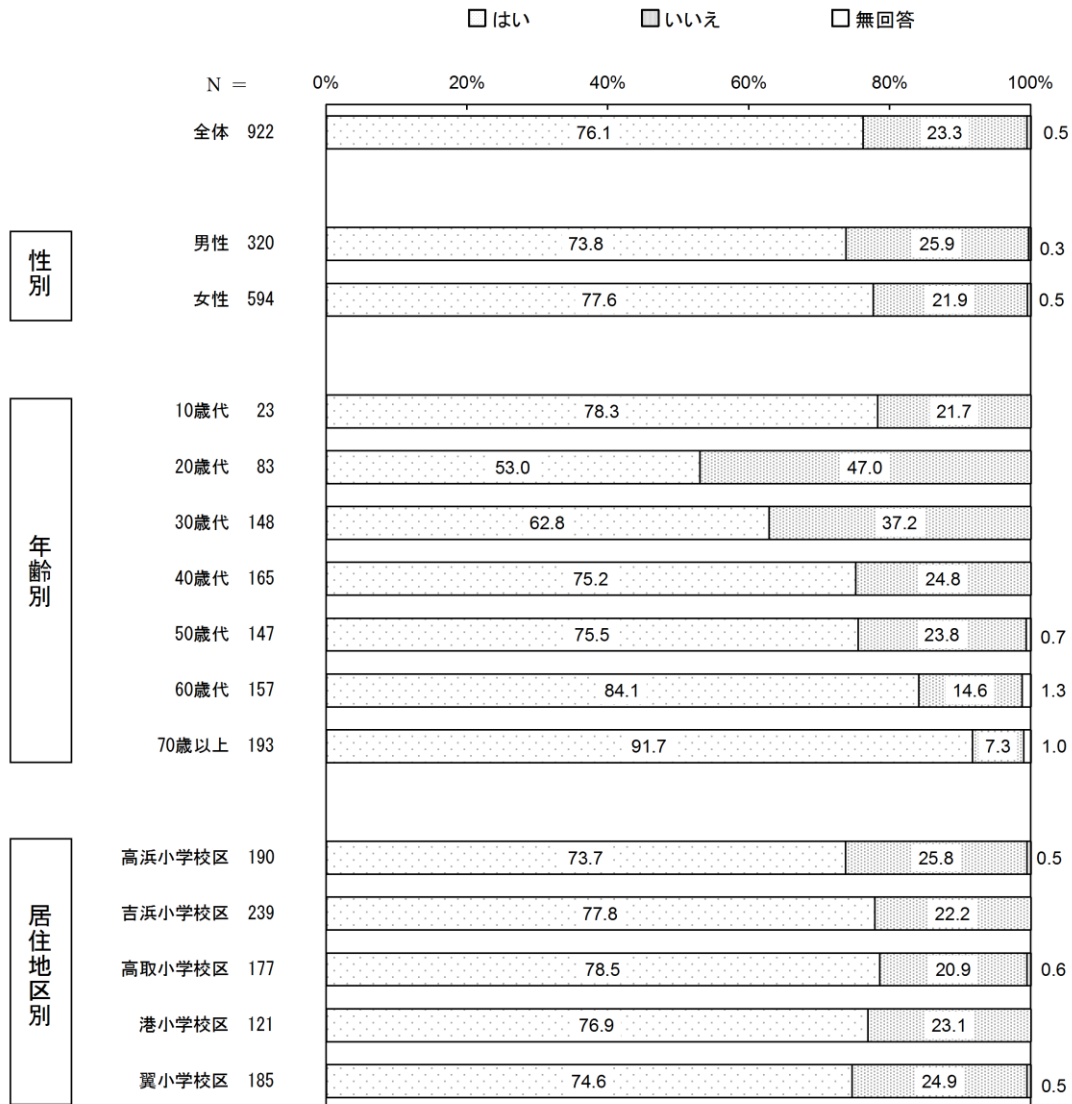
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

「かかりつけ医を持っている」市民の割合は、年齢別では20歳代（53.0%⇒60.9%）で7.9ポイント増加しています。

居住地区別では、翼小学校区（74.6%⇒81.4%）が6.8ポイント増加しています。

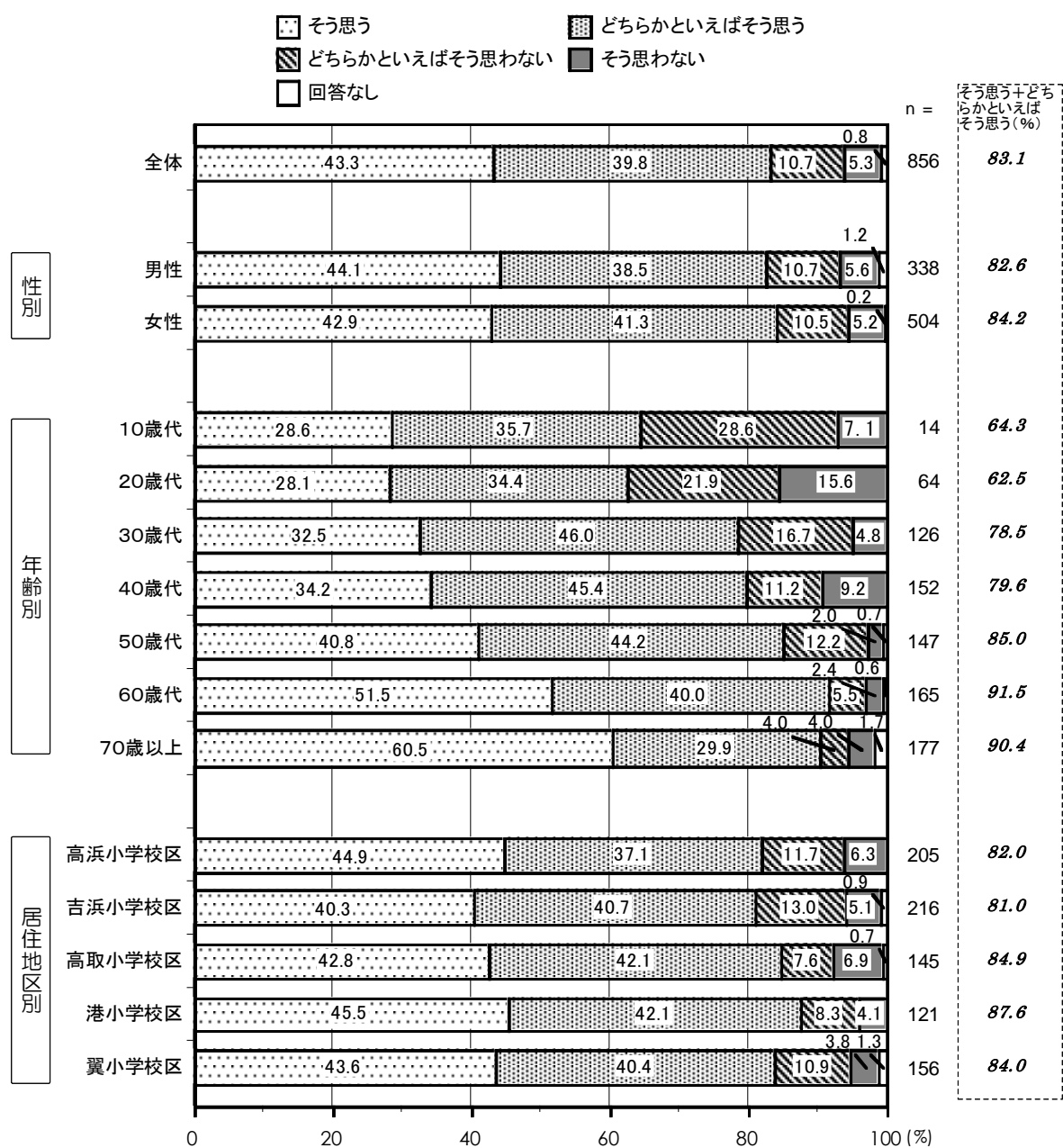
《参考：前回調査の結果（H28年度）》



問 22 今後も高浜市に長く住み続けたいと思う。

「今後も高浜市に長く住み続けたいと思う」市民の割合は、「そう思う」が43.3%、「どちらかといえばそう思う」が39.8%であり、合わせて83.1%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、年齢層が上がるにつれて概ね増加する傾向が見られ、60歳代(91.5%)で全体より8.4ポイント高く、70歳以上(90.4%)で全体より7.3ポイント高くなっており、一方、20歳代(62.5%)で全体より20.6ポイントも低くなっています。



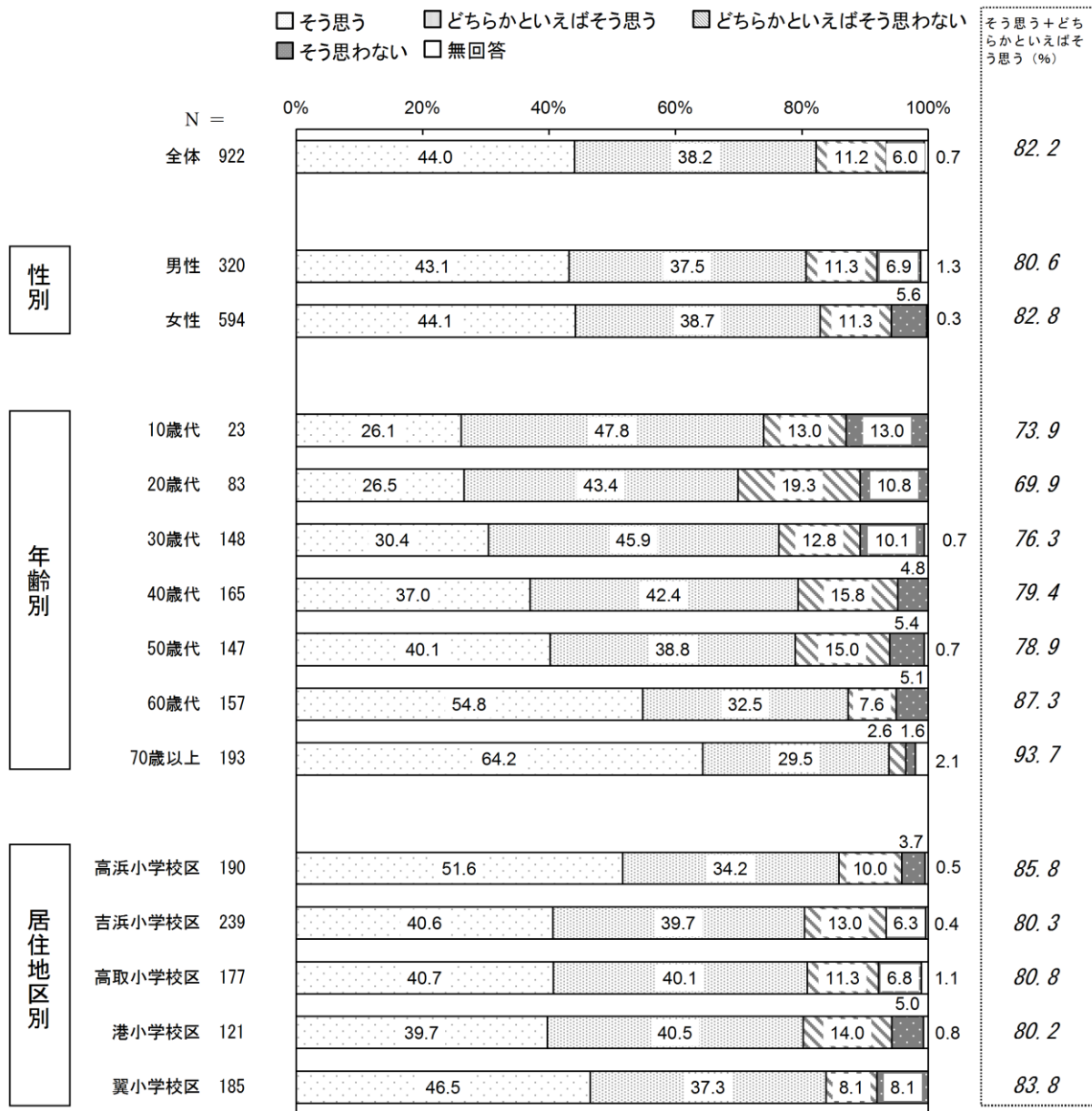
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、50歳代（78.9%⇒85.0%）で6.1ポイント増加している一方で、20歳代（69.9%⇒62.5%）で7.4ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区（80.2%⇒87.6%）で7.4ポイント増加しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

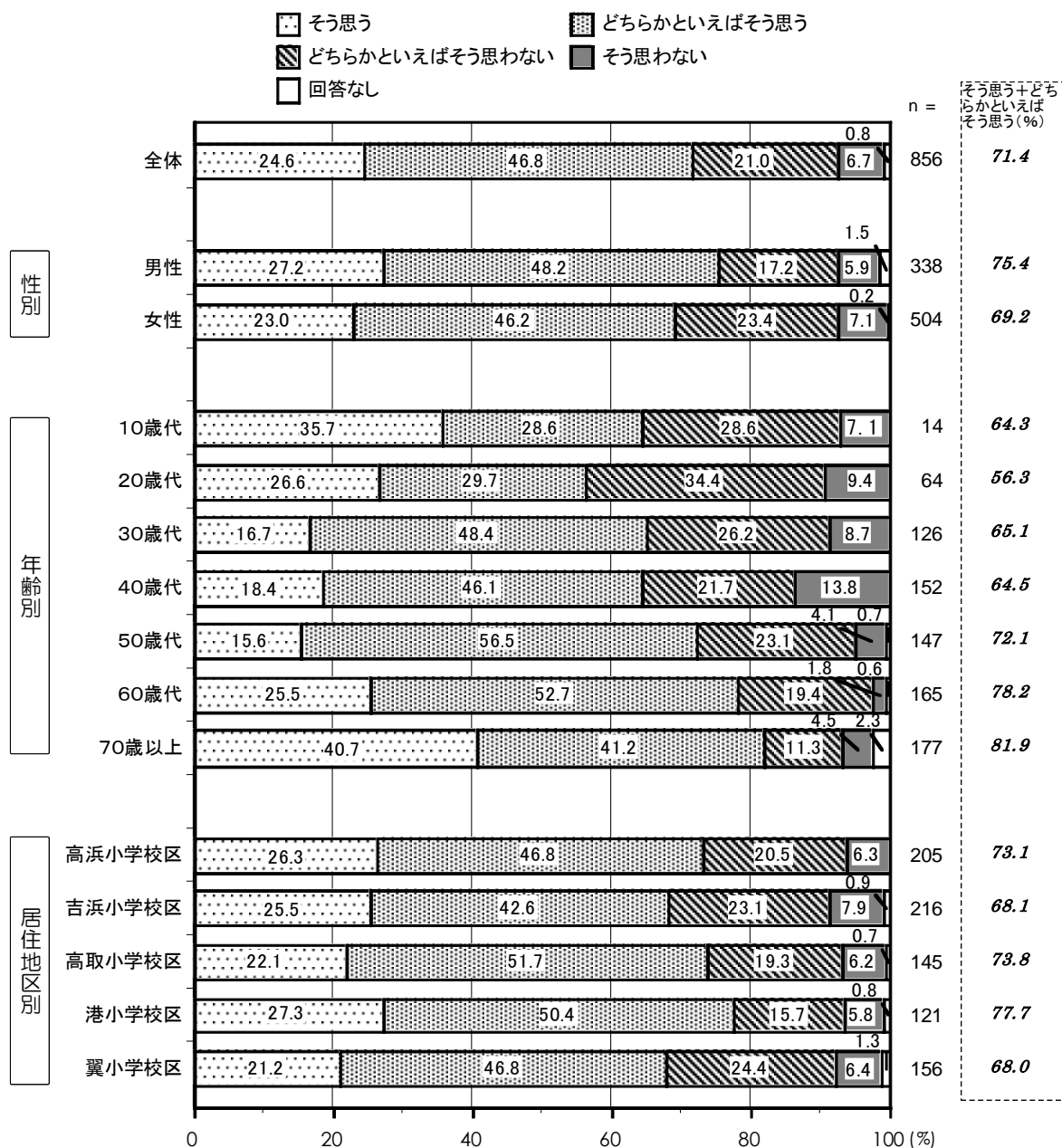


問 23 高浜市に愛着や誇りを感じる。

「高浜市に愛着や誇りを感じる」市民の割合は、「そう思う」が24.6%、「どちらかといえばそう思う」が46.8%であり、合わせて71.4%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、70歳以上(81.9%)で全体より10.5ポイント高く、60歳代(78.2%)でも全体よりやや高くなっており、高齢者層で高くなっています。一方、40歳代以下の年齢層では全体よりも低く、特に20歳代(56.3%)で低く、全体を15.1ポイントも下回っています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区(77.7%)で全体より6.3ポイント高くなっています。



【前回調査との比較】

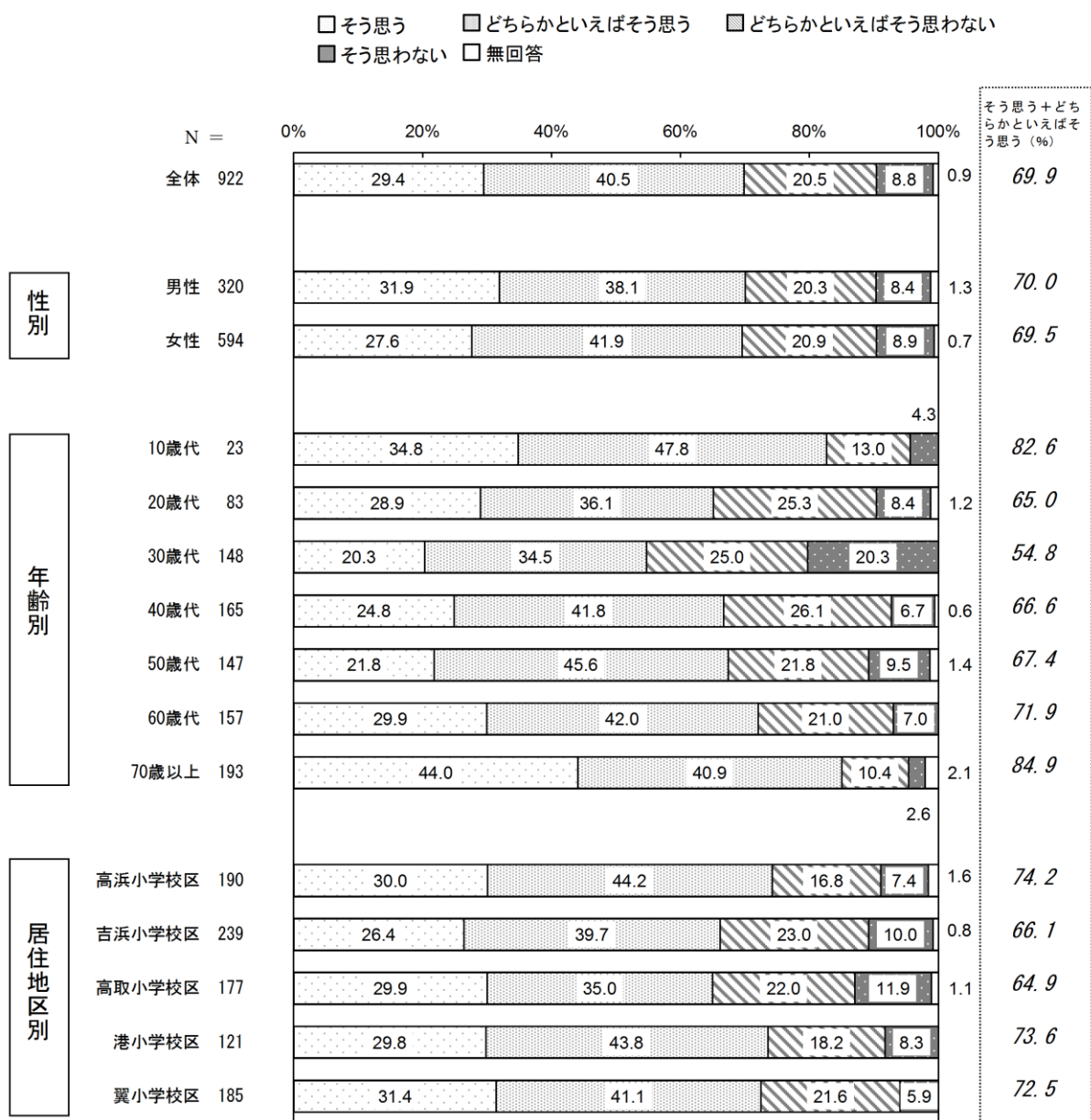
前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（70.0%⇒75.4%）で5.4ポイント増加しています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、30歳代（54.8%⇒65.1%）で10.3ポイント増加、60歳代（71.9%⇒78.2%）で6.3ポイント増加している一方で、20歳代（65.0%⇒56.3%）で8.7ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高取小学校区（64.9%⇒73.8%）で8.9ポイント増加しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

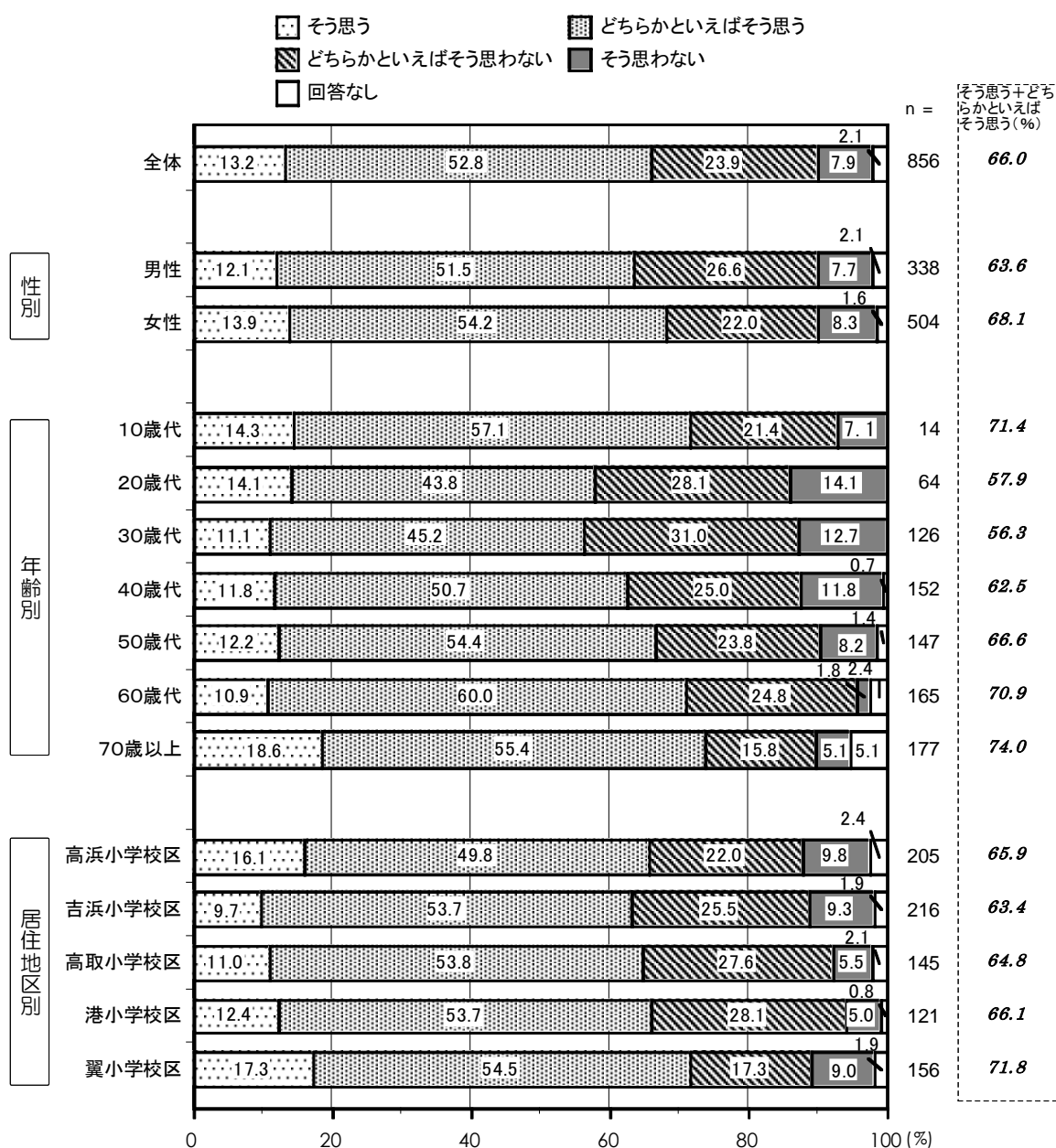


問 24 高浜市は、子どもを産み、育てやすいまちだと思う。

「子どもを産み、育てやすいまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が13.2%、「どちらかといえばそう思う」が52.8%であり、合わせて66.0%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、70歳以上(74.0%)で全体より8.0ポイント高くなっている一方で、30歳代(56.3%)と20歳代(57.9%)ではそれぞれ、全体より9.7ポイント、8.1ポイント低くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、翼小学校区(71.8%)で全体より5.8ポイント高くなっています。



【前回調査との比較】

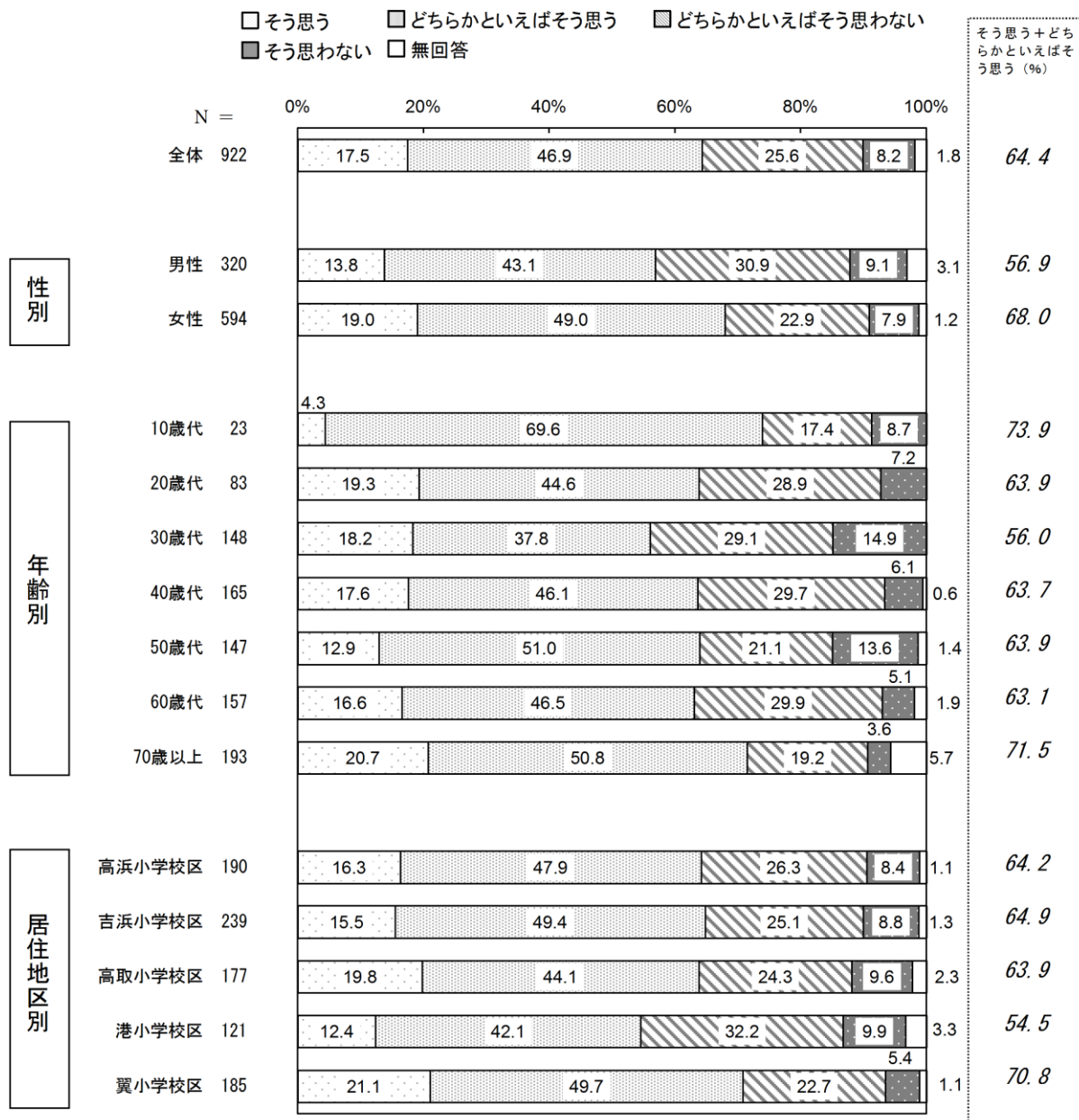
前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（56.9%⇒63.6%）で6.7ポイント増加しています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、60歳代（63.1%⇒70.9%）で7.8ポイント増加している一方で、20歳代（63.9%⇒57.9%）で6.0ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、港小学校区（54.5%⇒66.1%）で11.6ポイント増加しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》



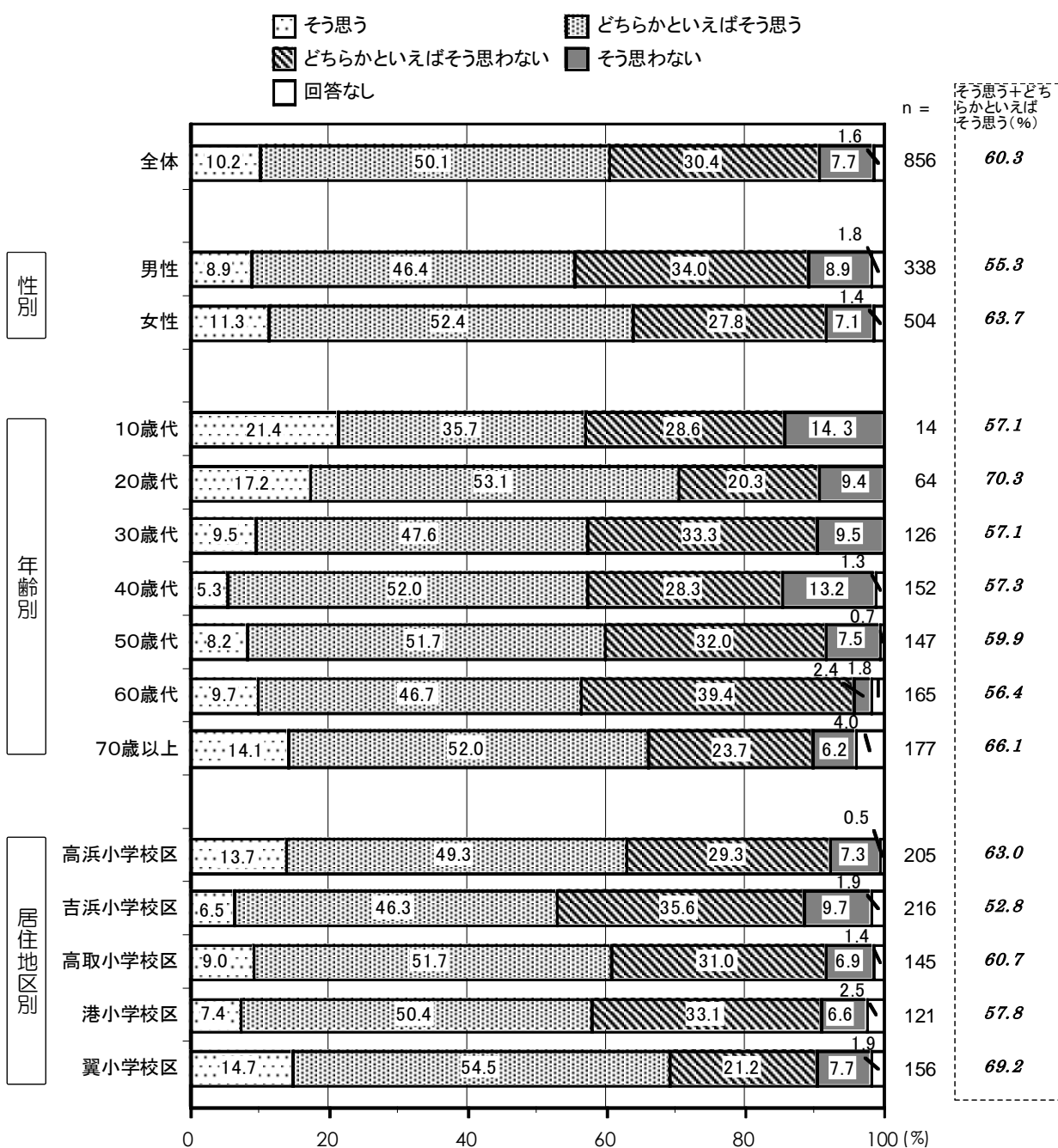
問 25 高浜市は、暮らしやすい環境が形成されているまちだと思う。

「暮らしやすい環境が形成されているまちだと思う」市民の割合は、「そう思う」が10.2%、「どちらかといえばそう思う」が50.1%であり、合わせて60.3%となっています。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（55.3%）で全体よりやや低くなっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代（70.3%）で全体より10.0ポイント高く、また、70歳代（66.1%）でも全体よりやや高くなっています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、翼小学校区（69.2%）で全体より8.9ポイント高くなっている一方で、吉浜小学校区（52.8%）で全体より7.5ポイント低くなっています。



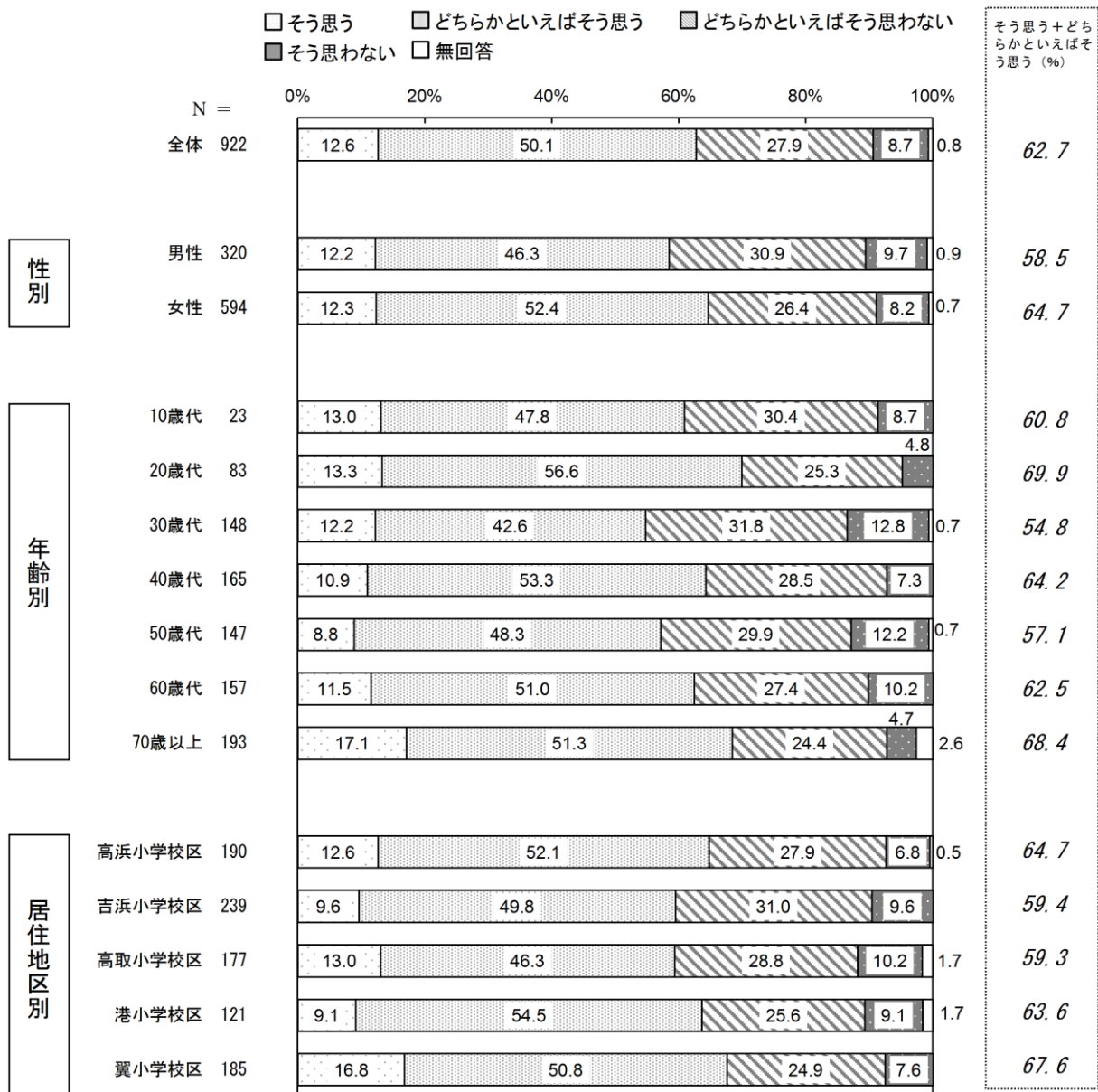
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、40歳代（64.2%⇒57.3%）で6.9ポイント減少、60歳代（62.5%⇒56.4%）でも6.1ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、吉浜小学校区（59.4%⇒52.8%）で6.6ポイント減少、港小学校区（63.6%⇒57.8%）でも5.8ポイント減少しています。

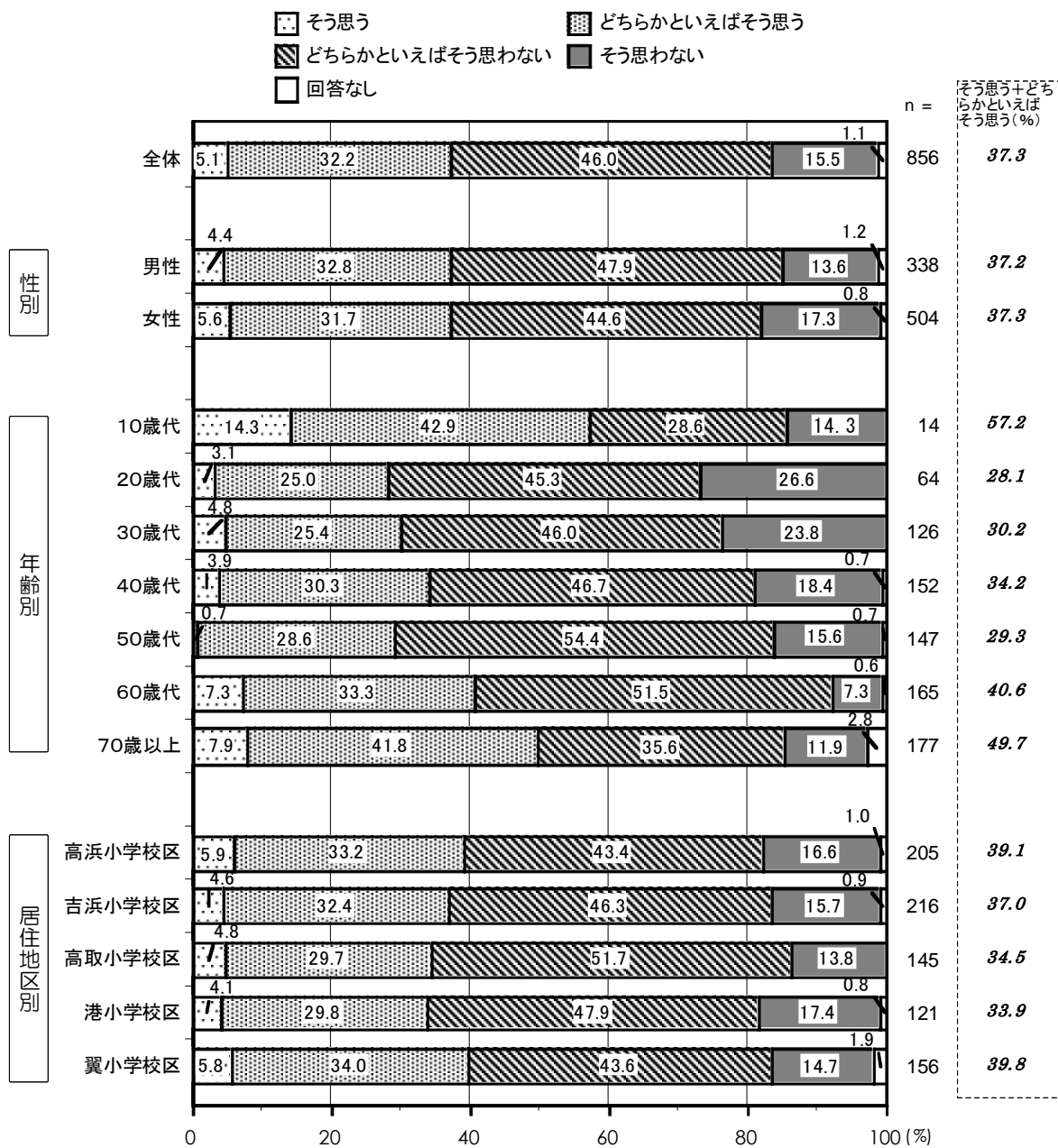
《参考：前回調査の結果（H28年度）》



問 26 あなた自身、災害（地震や風水害など）への備えができていると思う。

「災害（地震や風水害など）への備えができていると思う」市民の割合は、「そう思う」が5.1%、「どちらかといえばそう思う」が32.2%であり、合わせて37.3%となっています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、60歳代と70歳代では共に4割を超えており、中でも70歳以上（49.7%）で全体より12.4ポイント高くなっています。一方で、20歳代（28.1%）や50歳代（29.3%）、30歳代（30.2%）では、全体よりそれぞれ、9.2ポイント、8.0ポイント、7.1ポイント低くなっています。



【前回調査との比較】

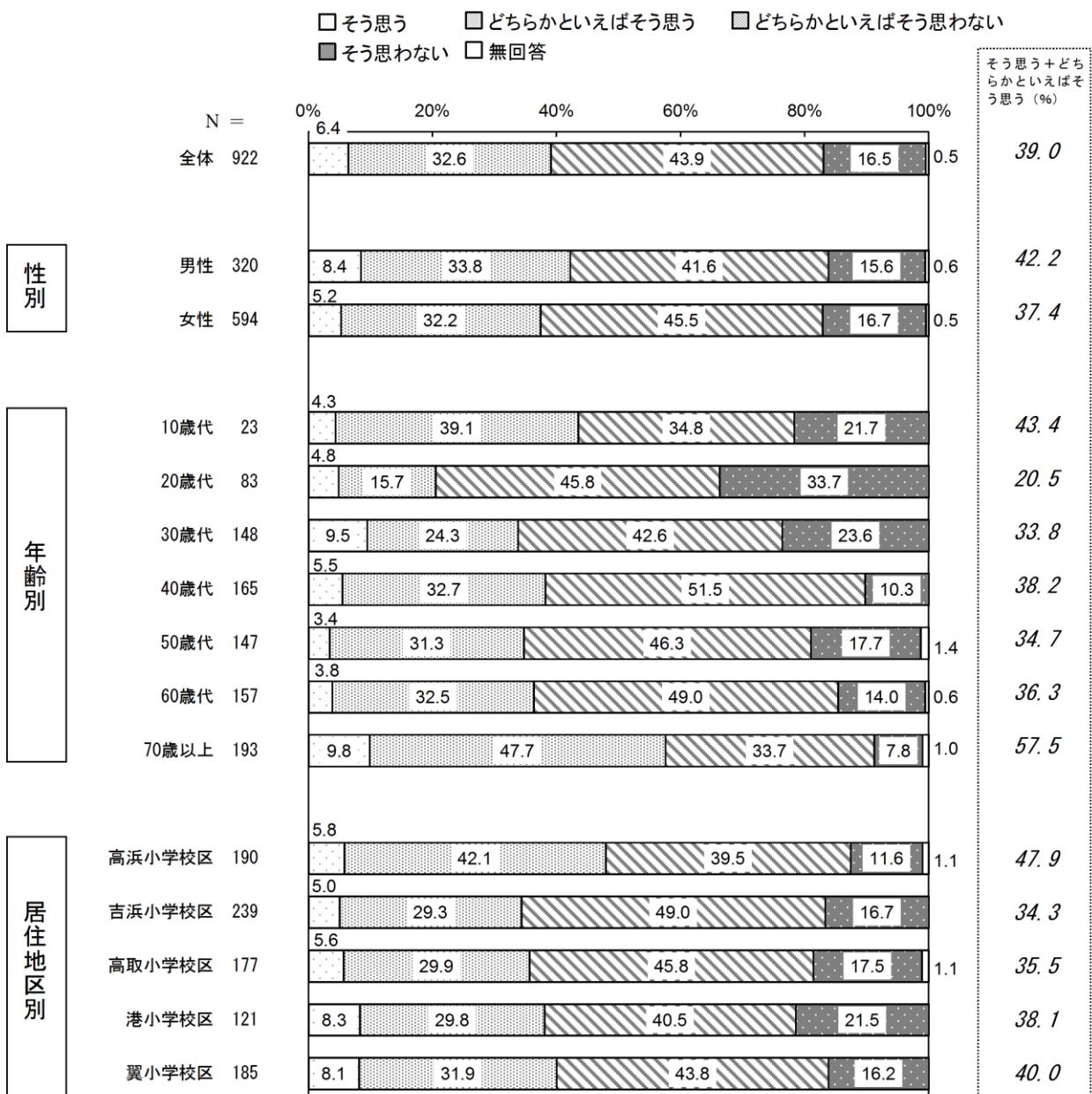
前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、男性（42.2%⇒37.2%）で5.0ポイント減少しています。

年齢別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、20歳代（20.5%⇒28.1%）で7.6ポイント増加している一方で、70歳以上（57.5%⇒49.7%）で7.8ポイント減少、50歳代（34.7%⇒29.3%）で5.4ポイント減少しています。

居住地区別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、高浜小学校区（47.9%⇒39.1%）で8.8ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

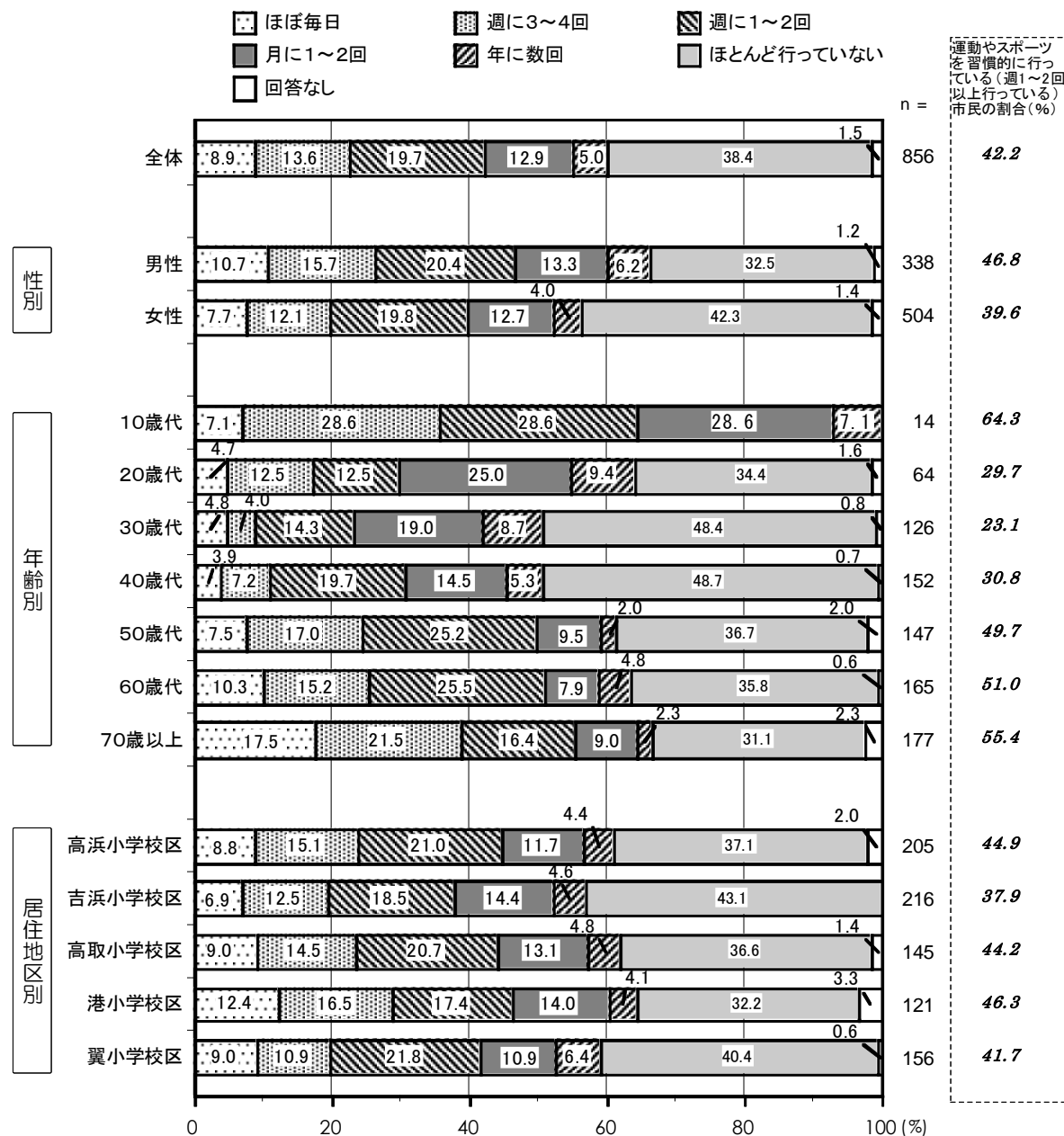


問 27 あなたは、運動やスポーツをどのくらいの頻度で行っていますか？
 <1つに○印>

「運動やスポーツを行っている頻度」は、「ほとんど行っていない」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「週に1～2回」の割合が 19.7%、「週に3～4回」の割合が 13.6%となっています。運動やスポーツに頻繁に取り組む習慣化していると判断できる週1～2回以上行っている市民の割合は、合わせて 42.2%となっています。

性別では、「週1～2回以上行っている」市民の割合は、男性（46.8%）の方が女性（39.6%）より 7.2ポイント高くなっています。

年齢別では、運動やスポーツに頻繁に取り組む習慣化している割合は、60歳代や70歳以上の中高年層で高く、5割を超えています。特に70歳以上（55.4%）で全体より13.2ポイント高くなっていると同時に、「ほぼ毎日」の割合も17.5%を占め、全体を8.6ポイント上回っています。一方、30歳代（23.1%）や20歳代（29.7%）、40歳代（30.8%）では、運動やスポーツに頻繁に取り組む習慣化している割合が全般的に低くなっています。



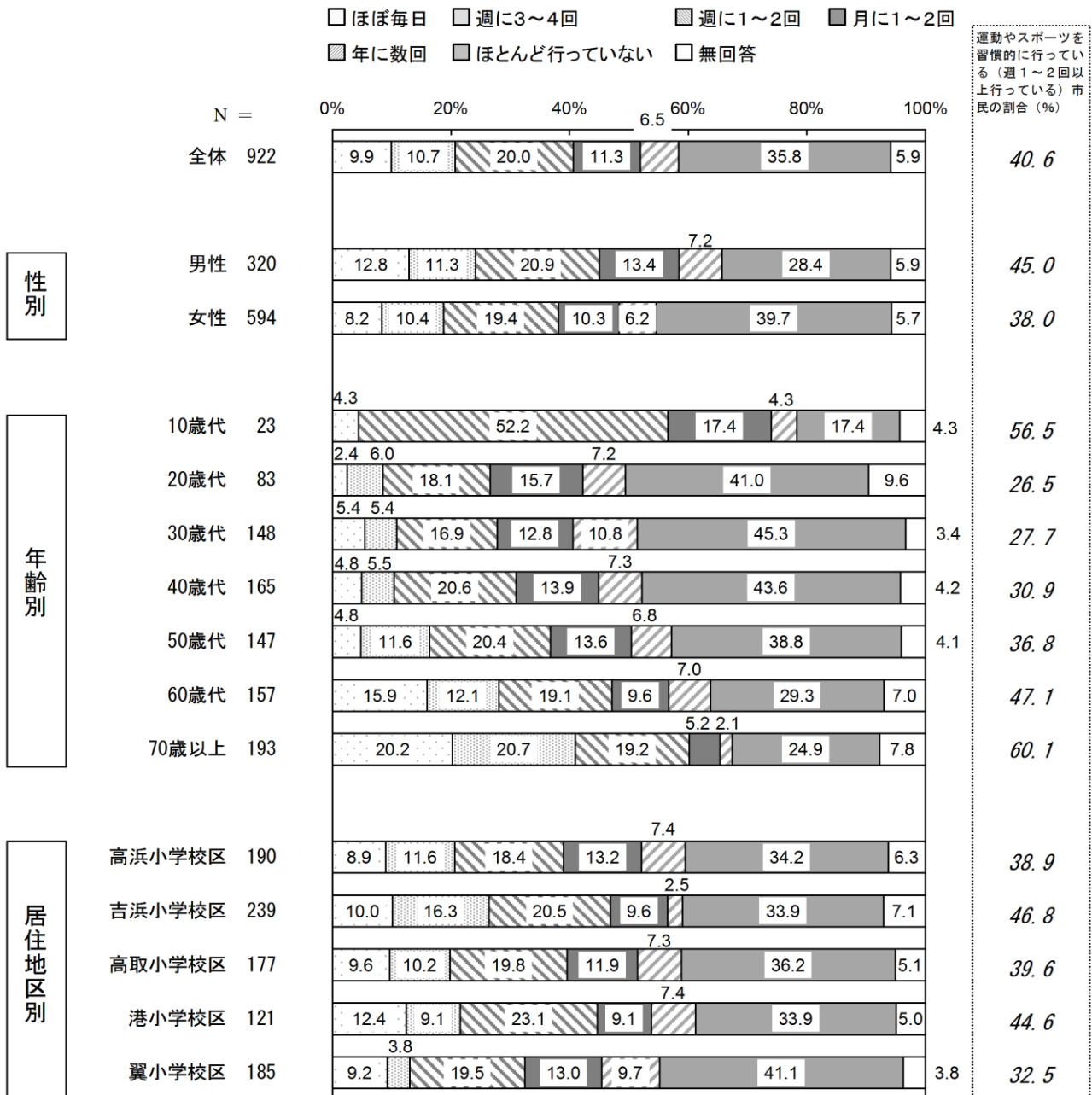
【前回調査との比較】

運動やスポーツを行っている頻度として、「週1～2回以上行っている」市民の割合は、前回調査と比較すると全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、「週1～2回以上行っている」市民の割合は50歳代（36.8%⇒49.7%）で12.9ポイント増加しています。

居住地区別では、「週1～2回以上行っている」市民の割合は翼小学校区（32.5%⇒41.7%）で9.2ポイント増加、高浜小学校区（38.9%⇒44.9%）で6.0ポイント増加している一方で、吉浜小学校区（46.8%⇒37.9%）で8.9ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》



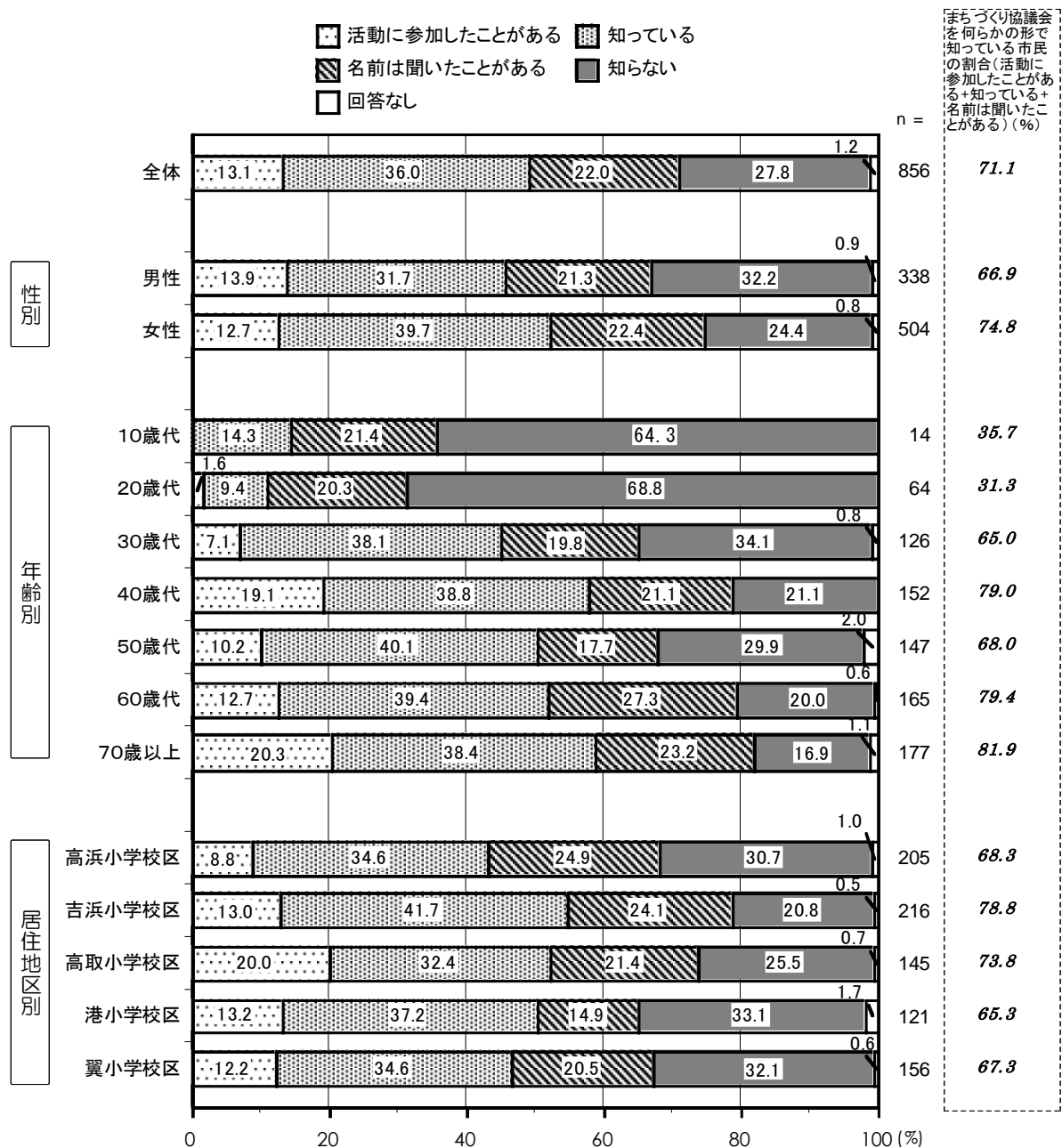
問 28 あなたは、小学校区を単位としてまちづくり活動を行っている「まちづくり協議会」を知っていますか？ <1つに○印>

「まちづくり協議会」について、「活動に参加したことがある」(13.1%)、「知っている」(36.0%)、「名前は聞いたことがある」(22.0%)を合わせると、まちづくり協議会を何らかの形で知っている割合は71.1%となっています。

性別では、まちづくり協議会を何らかの形で知っている割合は、女性(74.8%)の方が男性(66.9%)よりも高くなっています。

年齢別では、「活動に参加したことがある」の割合は、70歳以上(20.3%)と40歳代(19.1%)で全体よりやや高くなっています。また、まちづくり協議会を何らかの形で知っている市民の割合は、70歳代(81.9%)で全体より10.8ポイント高く、60歳代(79.4%)で8.3ポイント高く、40歳代(79.0%)で7.9ポイント高くなっています。一方、20歳代(31.3%)で39.8ポイントも低く、また、30歳代(65.0%)でもやや低くなっています。

居住地区別では、「活動に参加したことがある」の割合は、高取小学校区(20.0%)で全体より6.9ポイント高くなっています。また、まちづくり協議会を何らかの形で知っている市民の割合は、吉浜小学校区(78.8%)で7.7ポイント高い一方で、港小学校区(65.3%)で全体よりやや低くなっています。



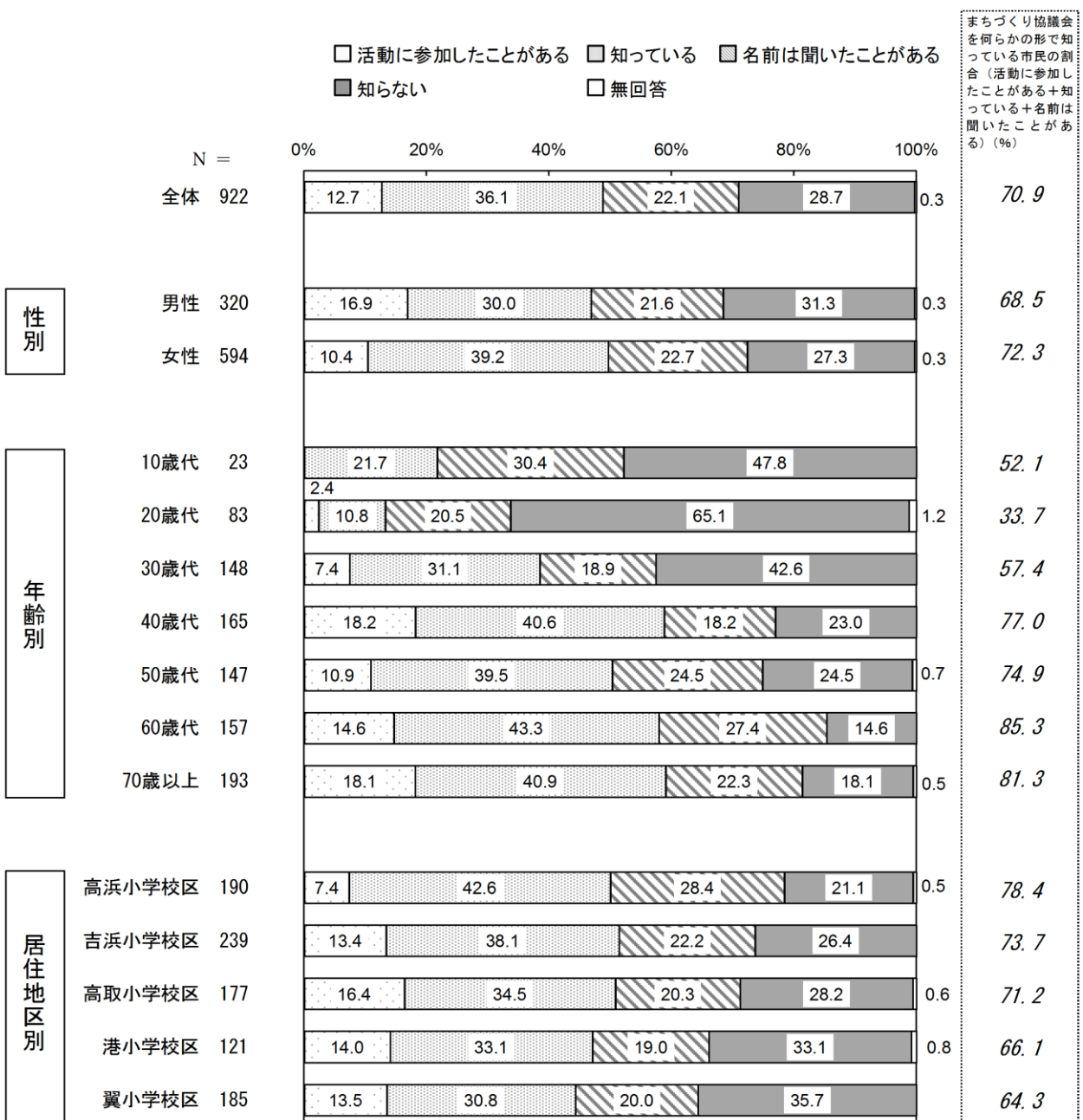
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、まちづくり協議会を何らかの形で知っている市民の割合が、30歳代（57.4%⇒65.0%）で7.6ポイント増加している一方で、50歳代（74.9%⇒68.0%）で6.9ポイント減少、60歳代（85.3%⇒79.4%）も5.9ポイント減少しています。

居住地区別では、まちづくり協議会を何らかの形で知っている市民の割合が、吉浜小学校区（73.7%⇒78.8%）で5.1ポイント増加している一方で、高浜小学校区（78.4%⇒68.3%）で10.1ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

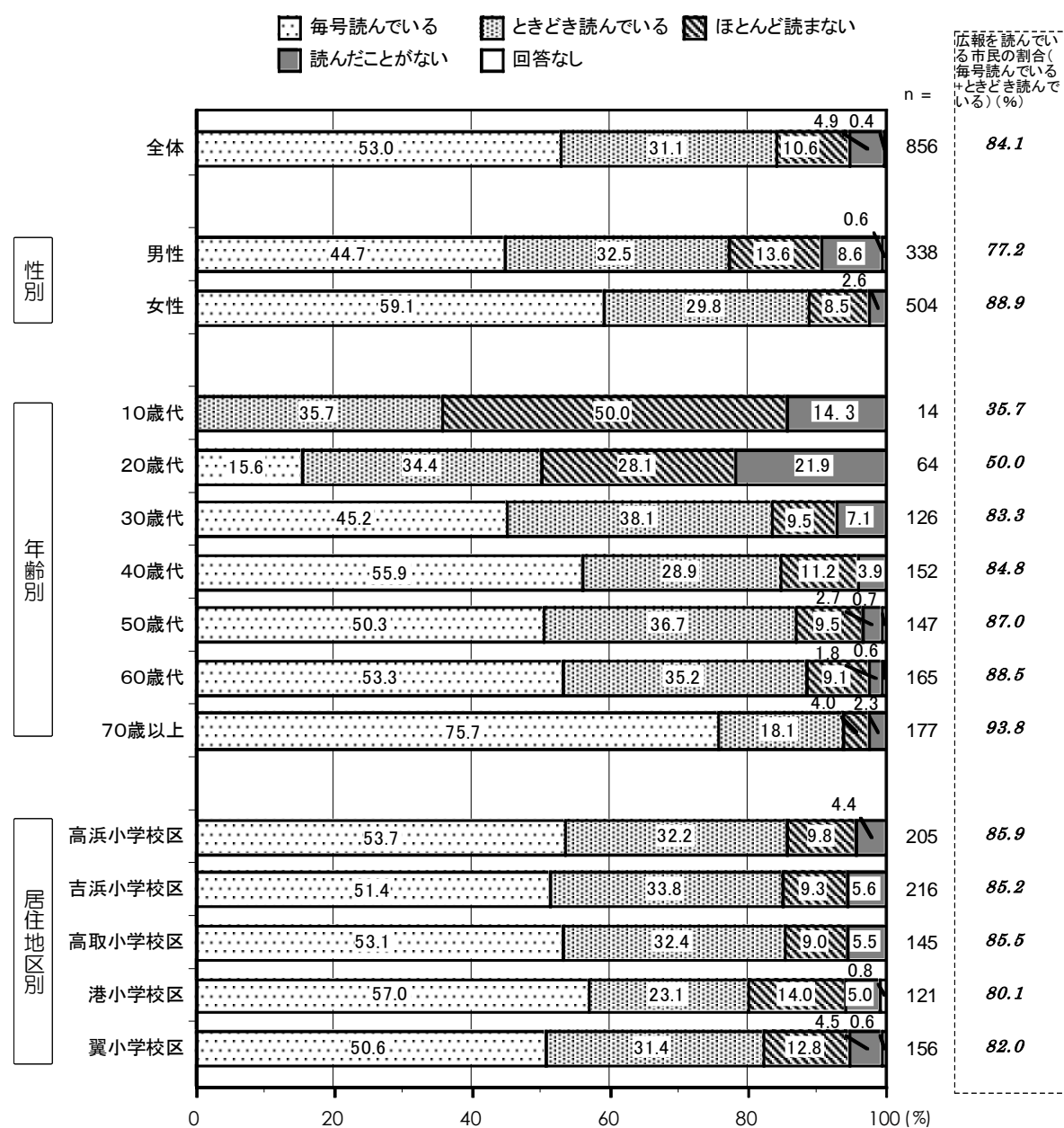


問 29 あなたは、「広報たかはま」（毎月1日号・15日号発行）を読んでいますか？
 <1つに○印>

「広報たかはま」については、「毎号読んでいる」の割合が53.0%と過半数を占めており、「ときどき読んでいる」の割合（31.1%）と合わせると、広報を読んでいる市民の割合は84.1%にのびります。

性別では、「毎号読んでいる」の割合は、男性（44.7%）で全体よりやや低く、女性（59.1%）で全体よりやや高く、女性の方が男性よりも「広報たかはま」をよく読んでいます。

年齢別では、広報を読んでいる市民の割合は、20歳代（50.0%）で全体より34.1ポイントも低くなっています。年齢層が上がるにつれて高くなる傾向が見られ、70歳以上では93.8%になっています。

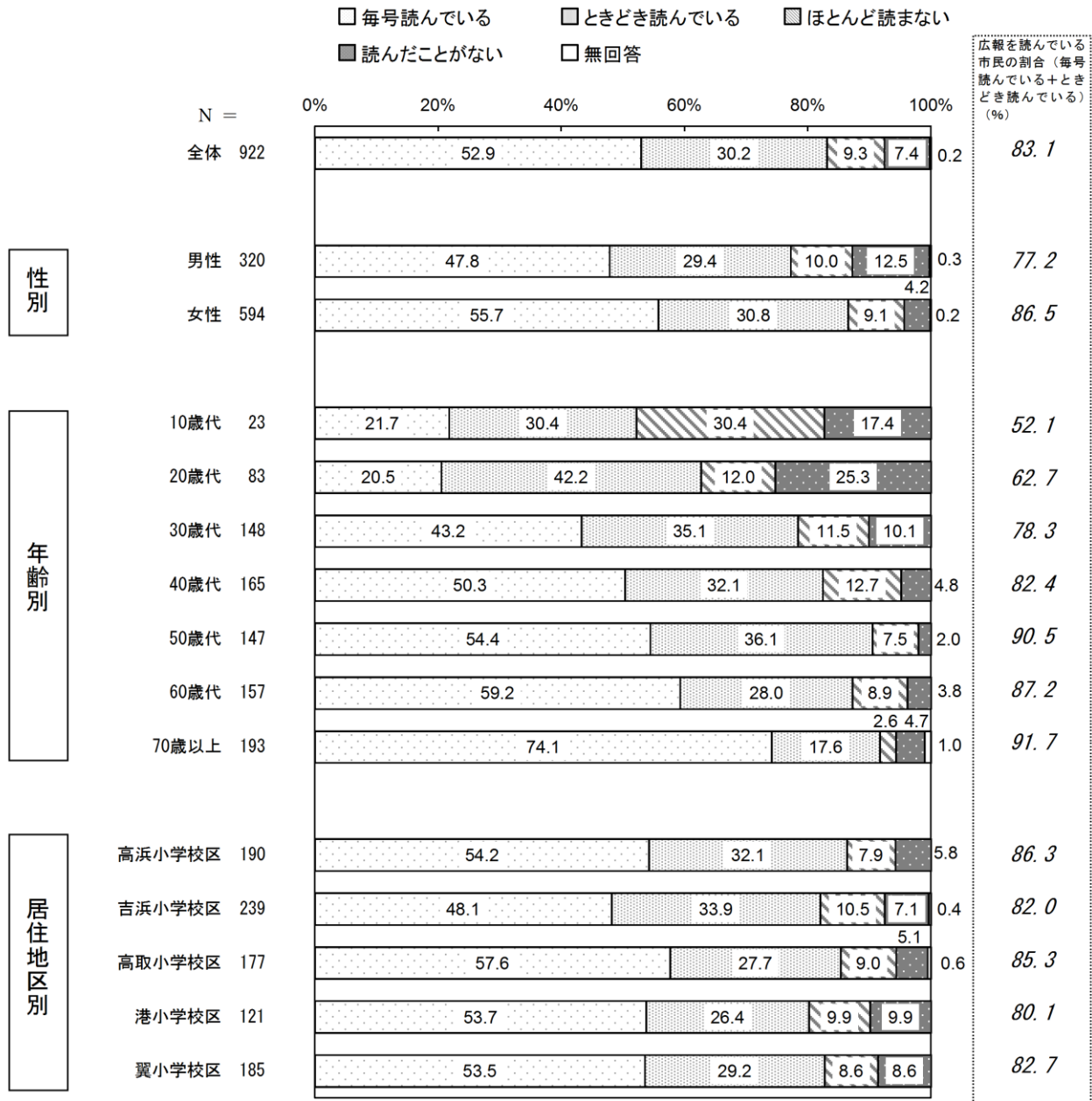


【前回調査との比較】

「広報たかはまを毎号読んでいる＋ときどき読んでいる」市民の割合は、前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

年齢別では、30歳代(78.3%⇒83.3%)で5.0ポイント増加している一方で、20歳代(62.7%⇒50.0%)で12.7ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

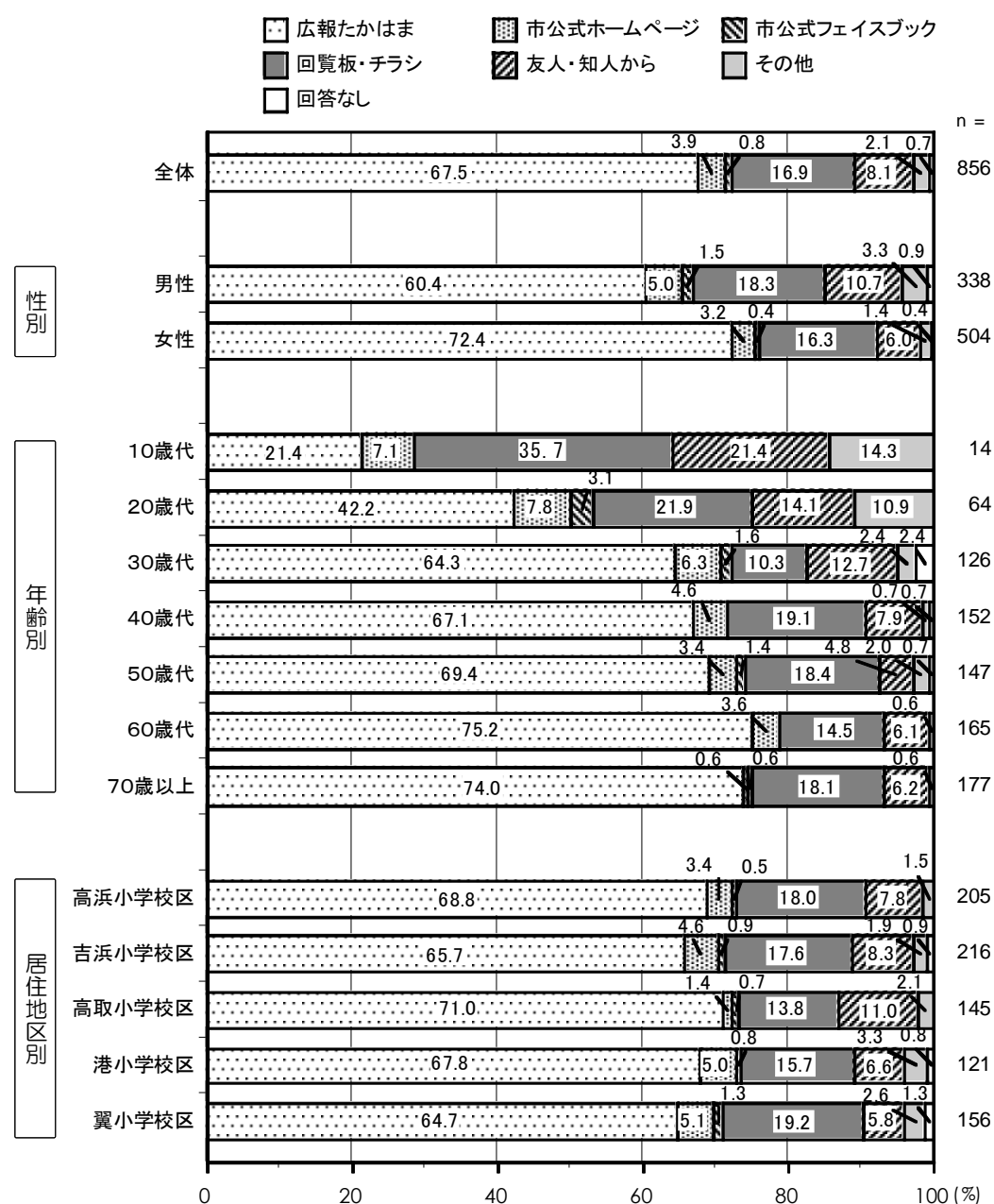


問 30 あなたは、市の情報を主に何から得ていますか？〈1つに○印〉

市の情報の主な入手手段で割合が最も高いのは、「広報たかはま」で67.5%を占めています。次いで「回覧板・チラシ」の割合が16.9%、「友人・知人から」の割合が8.1%となっています。その一方で、「市公式ホームページ」(3.9%)や「市公式フェイスブック」(0.8%)といったネット系の情報手段はどちらも僅かな割合となっています。

性別では、「広報たかはま」の割合は、女性(72.4%)の方が男性(60.4%)よりも高くなっています。

年齢別では、「広報たかはま」の割合は、60歳代(75.2%)と70歳代(74.0%)で全体よりやや高い一方、20歳代では42.2%と半数を大きく下回っており、その分、20歳代では、「友人・知人から」「回覧板・チラシ」などの割合がやや高くなっています。20歳代においてもネット系の情報手段は補完的な役割にとどまっている状況がうかがえます。

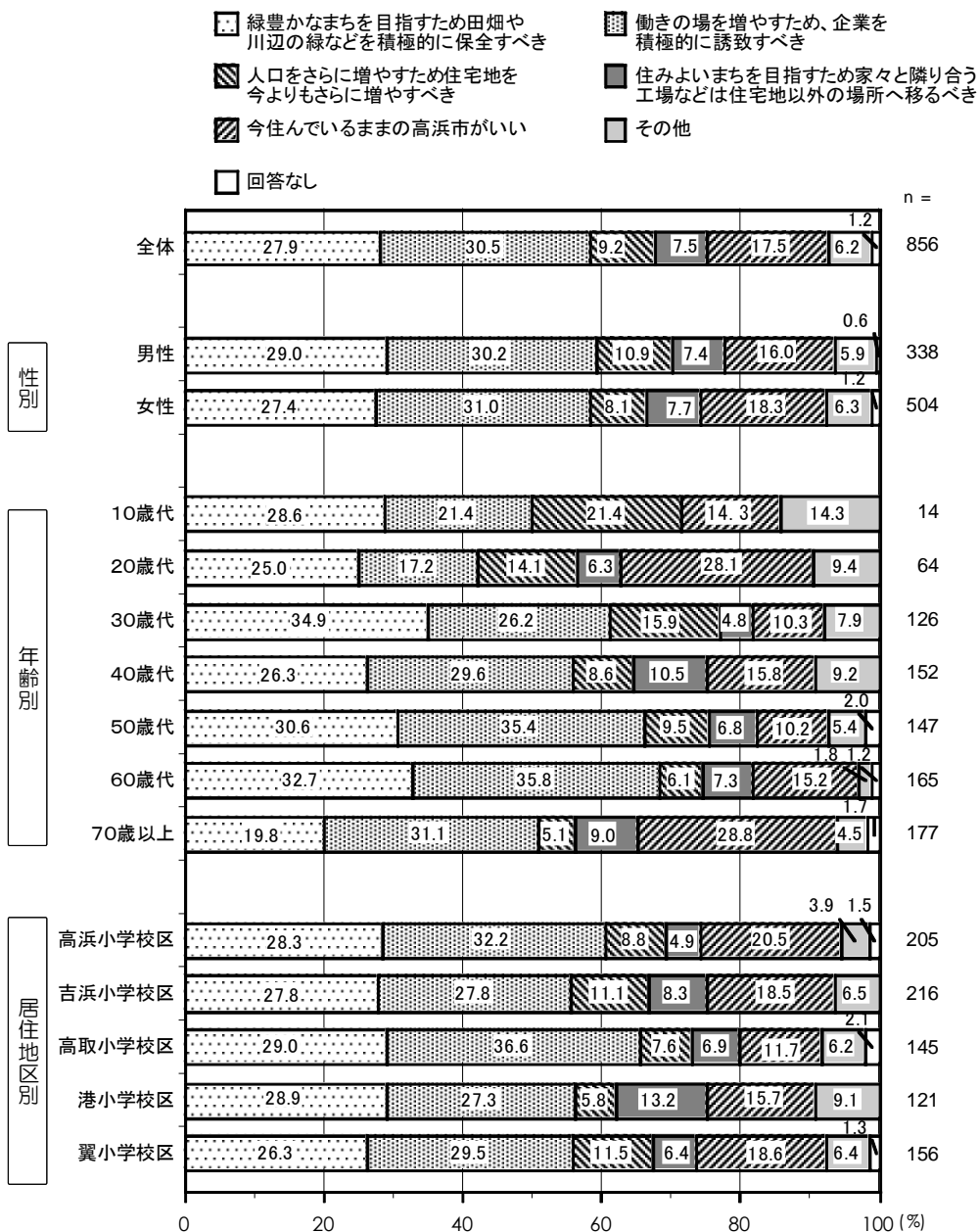


問 31 これからの高浜市の目指すべき都市基盤整備について、あなたが最も望ましいと思うものは何ですか？〈1つに○印〉

最も望ましいと思われるこれからの高浜市の目指すべき都市基盤整備で割合が最も高いのは、「働き場を増やすため、企業を積極的に誘致すべき」で30.5%を占めています。次いで「緑豊かなまちを目指すため田畑や川辺の緑などを積極的に保全すべき」(27.9%)、「今住んでいるままの高浜がいい」(17.5%)が高くなっています。

年齢別では、「働き場を増やすため、企業を積極的に誘致すべき」の割合は、60歳代(35.8%)で全体よりやや高い一方で、20歳代(17.2%)では全体より13.3ポイントも低くなっています。20歳代ではその分、「今住んでいるままの高浜がいい」の割合が28.1%と全体を10.6ポイント上回っています。「今住んでいるままの高浜がいい」の割合は、20歳代よりもさらに70歳代(28.8%)で高く、全体を11.3ポイント上回っています。「緑豊かなまちを目指すため田畑や川辺の緑などを積極的に保全すべき」の割合は、30歳代(34.9%)で全体よりやや高く、70歳代(19.8%)でやや低くなっています。30歳代では、「人口をさらに増やすため住宅地を今よりもさらに増やすべき」の割合(15.9%)も全体よりやや高くなっています。

居住地区別にみると、高取小学校区では、「働き場を増やすため、企業を積極的に誘致すべき」の割合(36.6%)が全体よりやや高くなっている一方で、「今住んでいるままの高浜がいい」の割合(11.7%)が全体より低くなっています。また、「住みよいまちを目指すため家々と隣り合う工場などは住宅地以外の場所へ移るべき」の割合が、港小学校区(13.2%)で全体よりやや高くなっています。



問 32 あなたは、幸せだと感じていますか？ <あなたの実感に最も近いもの（数値）1つに○を付けてください>

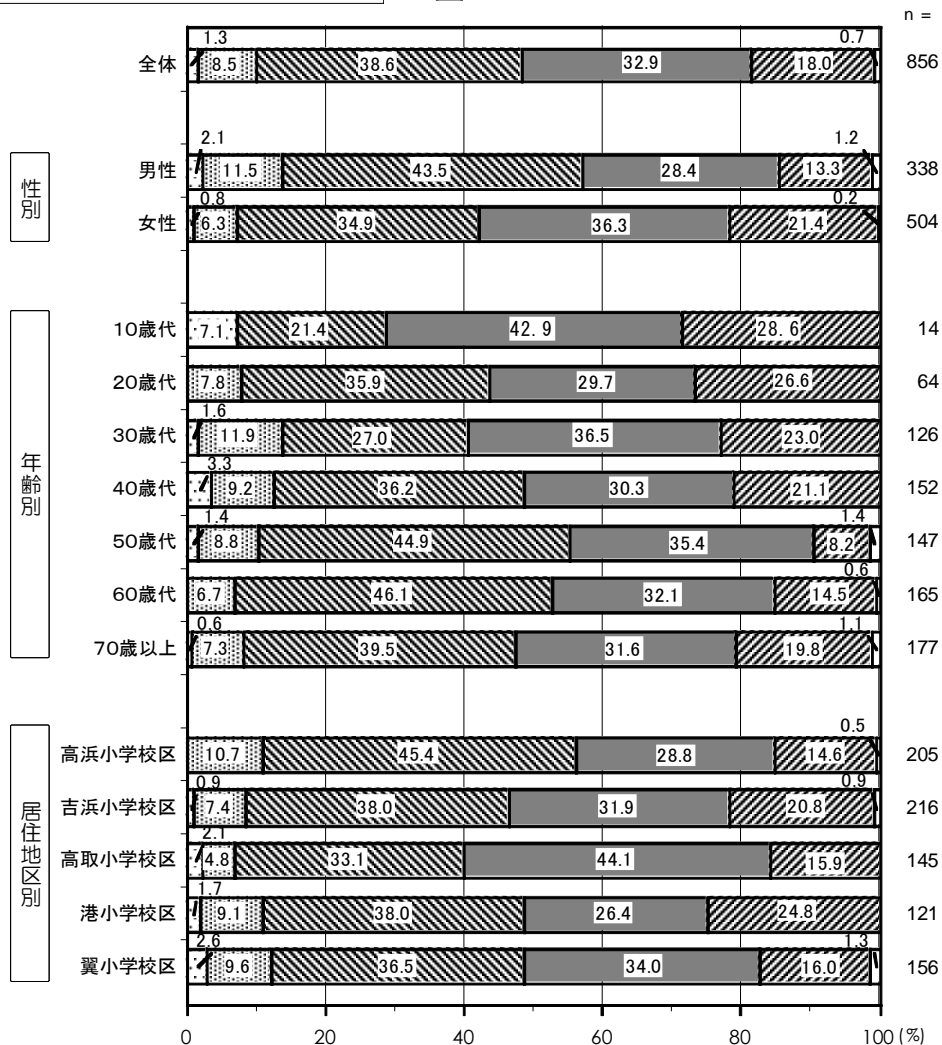
幸せだと「大いに感じている」の人の割合は、レベル3（38.6%）が最も高く、次いでレベル4（32.9%）が高くなっています。「まったく感じない：レベル1」（1.3%）は最も低くなっています。

「大いに感じている：レベル5」（18.0%）とレベル4（32.9%）を合わせた「幸せと感じている市民」の割合は過半数（50.9%）を占めているのに対して、「まったく感じない：レベル1」（1.3%）とレベル2（8.5%）を合わせた「幸せと感じていない市民」の割合は9.8%となっており、「幸せと感じている市民」が「幸せと感じていない市民」を大きく上回っています。

性別では、「幸せと感じている市民」の割合は、女性（57.7%：36.3%+21.4%）の方が男性（41.7%：28.4%+13.3%）よりも16.0ポイントも上回っています。

年齢別では、「幸せと感じている市民」の割合は、30歳代（59.5%：36.5%+23.0%）で全体より8.6ポイント高くなっている一方で、50歳代（43.6%：35.4%+8.2%）で7.3ポイント低くなっています。

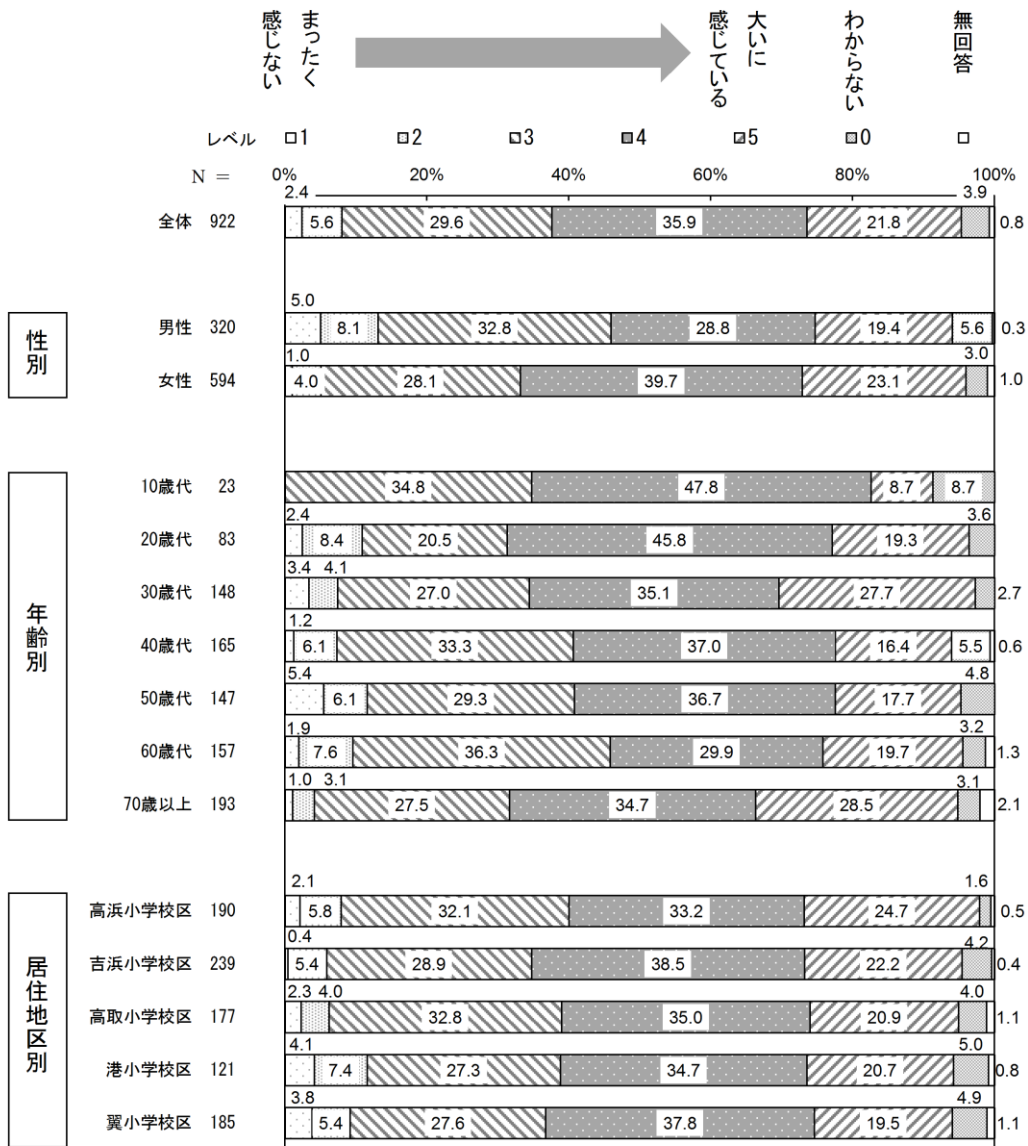
居住地区別では、「幸せと感じている市民」の割合は、高取小学校区（60.0%：44.1%+15.9%）で全体より9.1ポイント高い一方で、高浜小学校区（43.4%：28.8%+14.6%）で全体より7.5ポイント低くなっています。



【前回調査との比較】

※H28年度では、選択肢に「わからない」があるのに対して、H29年度にはないことから、単純に比較できないため、H28年度のグラフを掲載するだけにしてあります。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》



VI 今後の高浜市における重要施策について（設問 33）

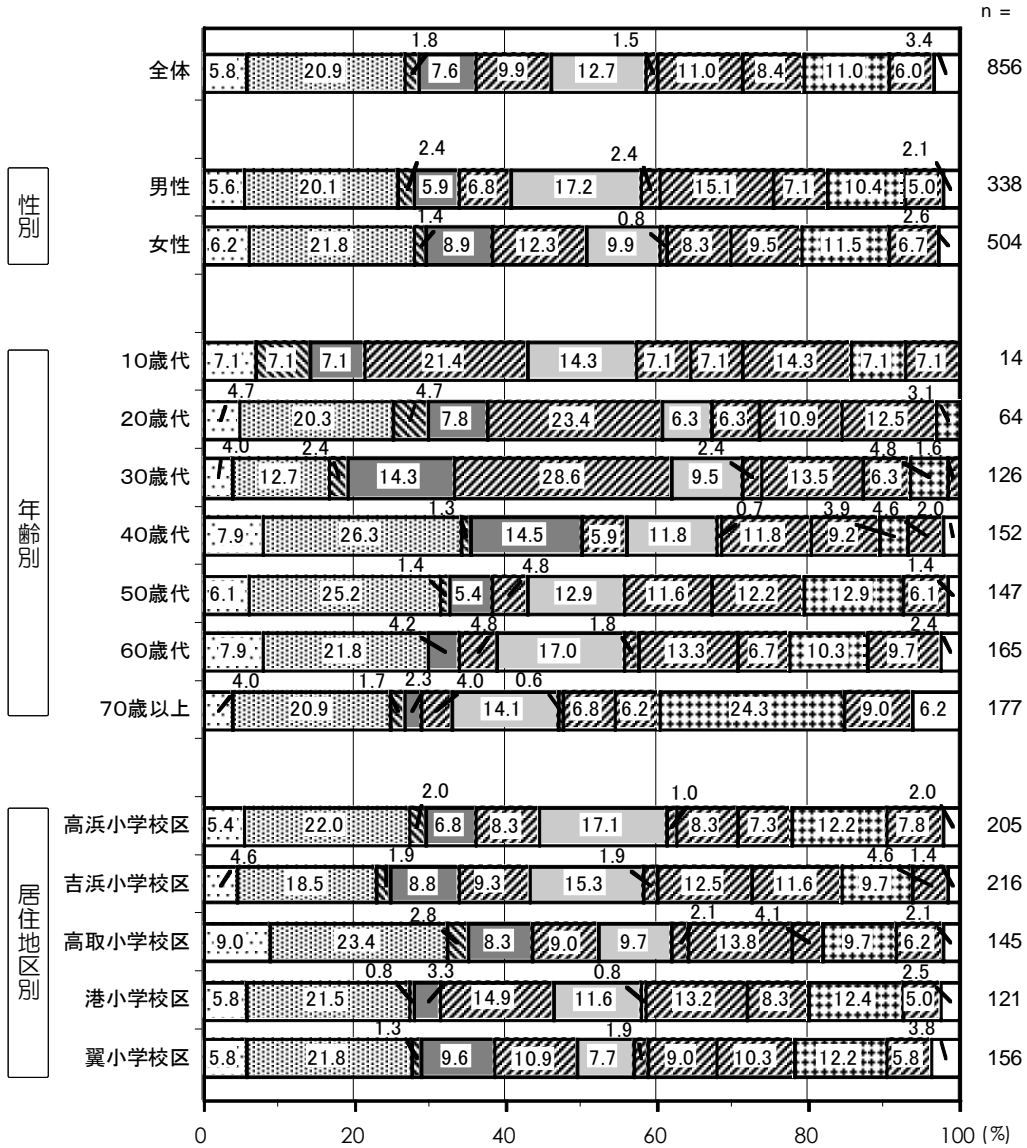
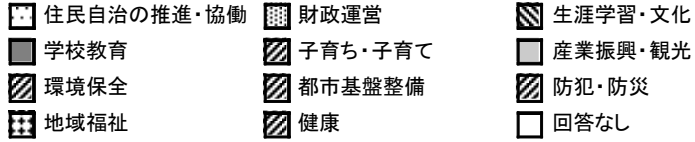
問 33 後期基本計画期間中の高浜市において、あなたが最も重要と考える施策（キーワード）は何ですか。あなたのお考えに近い番号を1つだけ選んで○印をつけてください。

後期基本計画において重要と考える施策について割合が1番高いのは、「財政運営」で20.9%を占めています。次いで、2番目は「産業振興・観光」（12.7%）、3番目は「都市基盤整備」（11.0%）と「地域福祉」（11.0%）、5番目は「子育て・子育て」（9.9%）、6番目は「防犯・防災」（8.4%）となっています。

性別では、「産業振興・観光」と「都市基盤整備」の割合は、男性ではそれぞれ17.2%、15.1%に対して女性ではそれぞれ9.9%、8.3%で、女性に比べて男性の方が高くなっています。逆に、「子育て・子育て」の割合は、女性（12.3%）の方が男性（6.8%）より高くなっています。

年齢別では、全体で1番割合が高い「財政運営」の割合は、40歳代（26.3%）で全体よりやや高くなっている一方で、30歳代（12.7%）で全体よりやや低くなっています。この分、30歳代では、「子育て・子育て」（28.6%）が全体より18.7ポイントも高く、「学校教育」（14.3%）も全体よりやや高くなっていることが特徴として見られます。また、「子育て・子育て」については、30歳代に加えて、20歳代（23.4%）でも全体より13.5ポイントも高くなっています。さらに、「学校教育」については、30歳代以上に40歳代（14.5%）における割合が高くなっています。この他には、「地域福祉」が70歳以上（24.3%）で全体より13.3ポイントも高くなっていることが特徴として見られます。

居住地域別では、「子育て・子育て」の割合が、港小学校区（14.9%）で全体よりやや高くなっている一方で、「産業振興・観光」の割合が、翼小学校区（7.7%）で全体よりやや低くなっています。

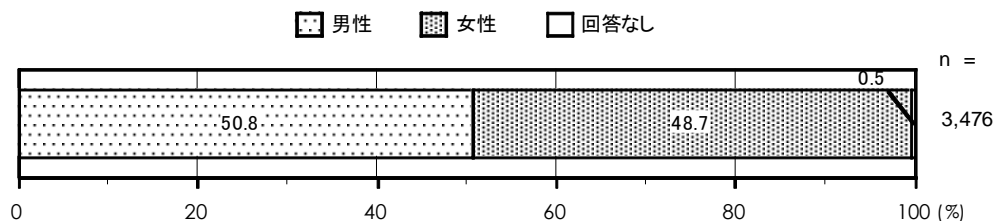


Ⅶ 児童・生徒の意識や行動に関するアンケート

1 回答者属性

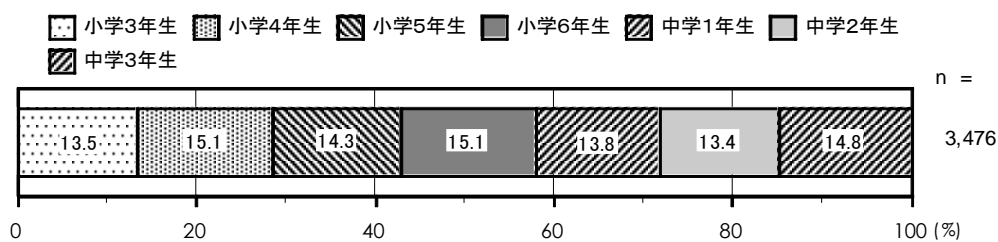
① 性別（問1）

「男性」の割合が50.8%、「女性」の割合が48.7%となっています。



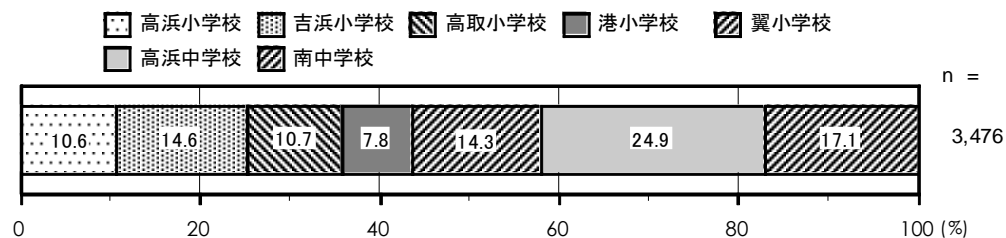
② 学年（問2）

「小学4年生」と「小学6年生」の割合が共に15.1%と最も高く、次いで「中学3年生」の割合が14.8%、「小学5年生」の割合が14.3%となっています。



③ 小学校・中学校（問3）

「高浜中学校」の割合が24.9%と最も高く、次いで「南中学校」の割合が17.1%、「吉浜小学校」の割合が14.6%となっています。



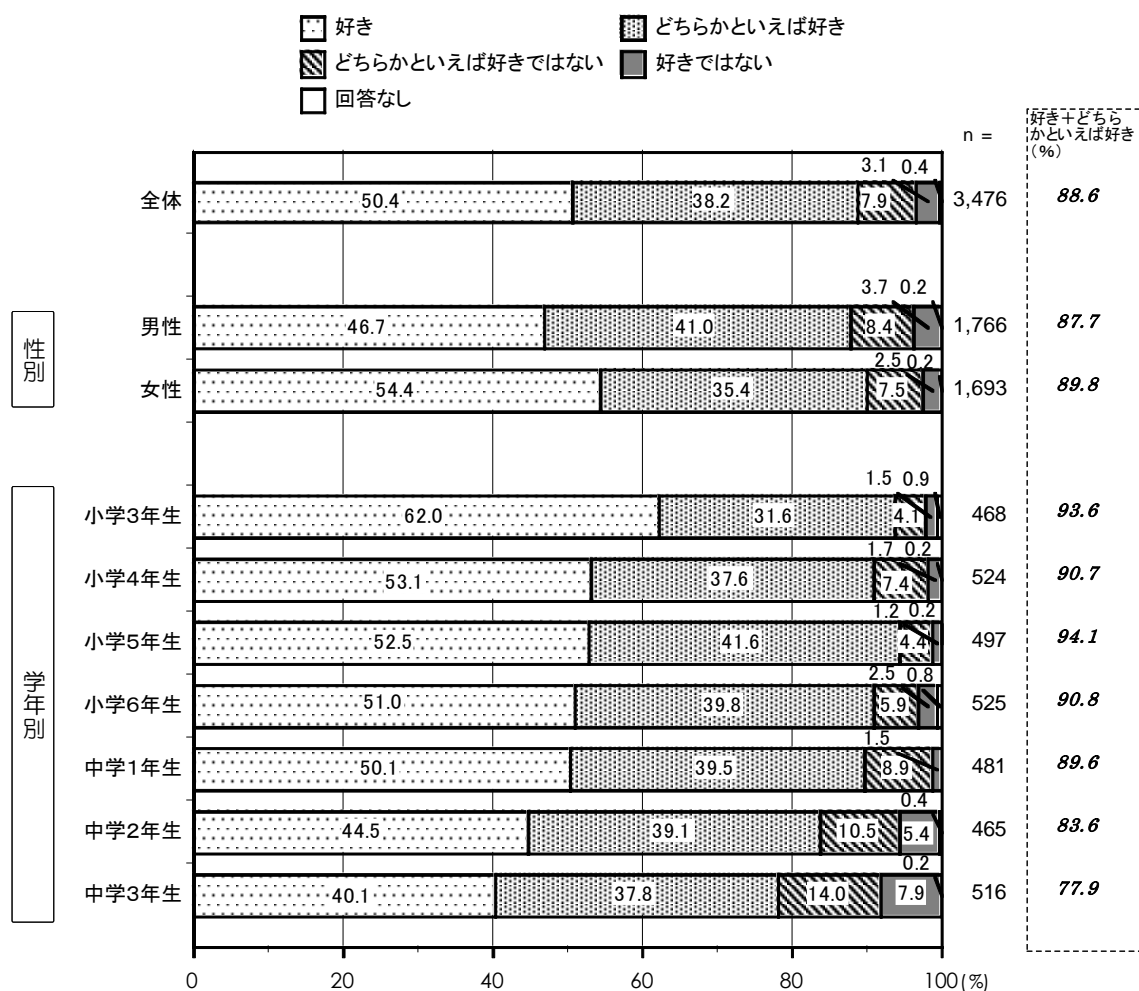
2 児童・生徒の意識（問4～11）

問4 あなたは、学校が好きですか。

「学校が好き」という児童・生徒の割合は、「好き」が50.4%、「どちらかといえば好き」が38.2%であり、合わせて88.6%となっています。

性別では、「好き」という児童・生徒の割合は、女性（54.4%）の方が男性（46.7%）よりもやや高くなっています。

学年別では、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた割合は、小学5年生（94.1%）が最も高く、中学3年生（77.9%）が最も低い割合となっています。

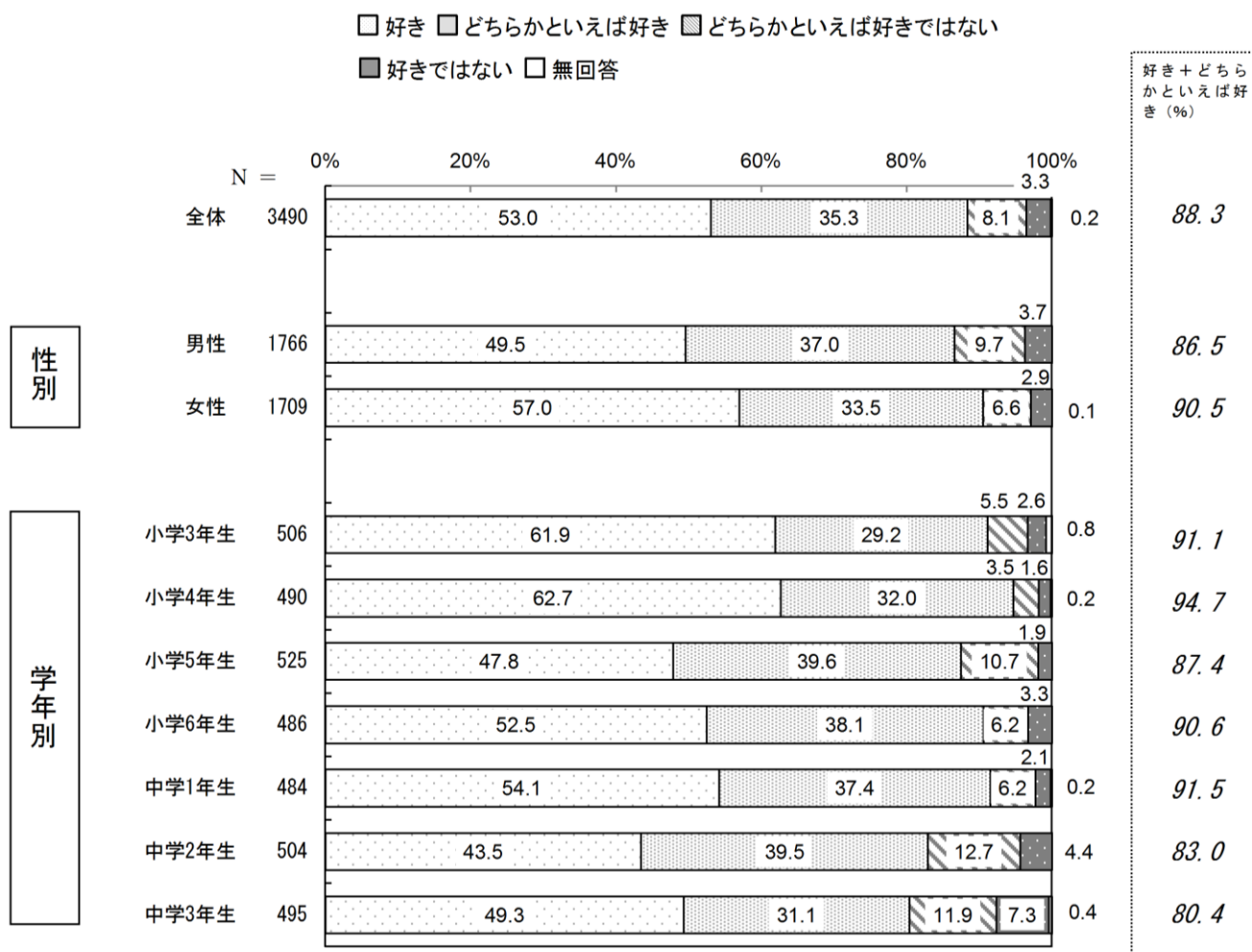


【前回調査との比較】

「学校が好き+どちらかといえば好き」という児童・生徒の割合は、前回調査と比較すると全体では大きな変化は見られません。

学年別では、「学校が好き+どちらかといえば好き」という児童・生徒の割合は、小学5年生(87.4%⇒94.1%)で6.7ポイント増加しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

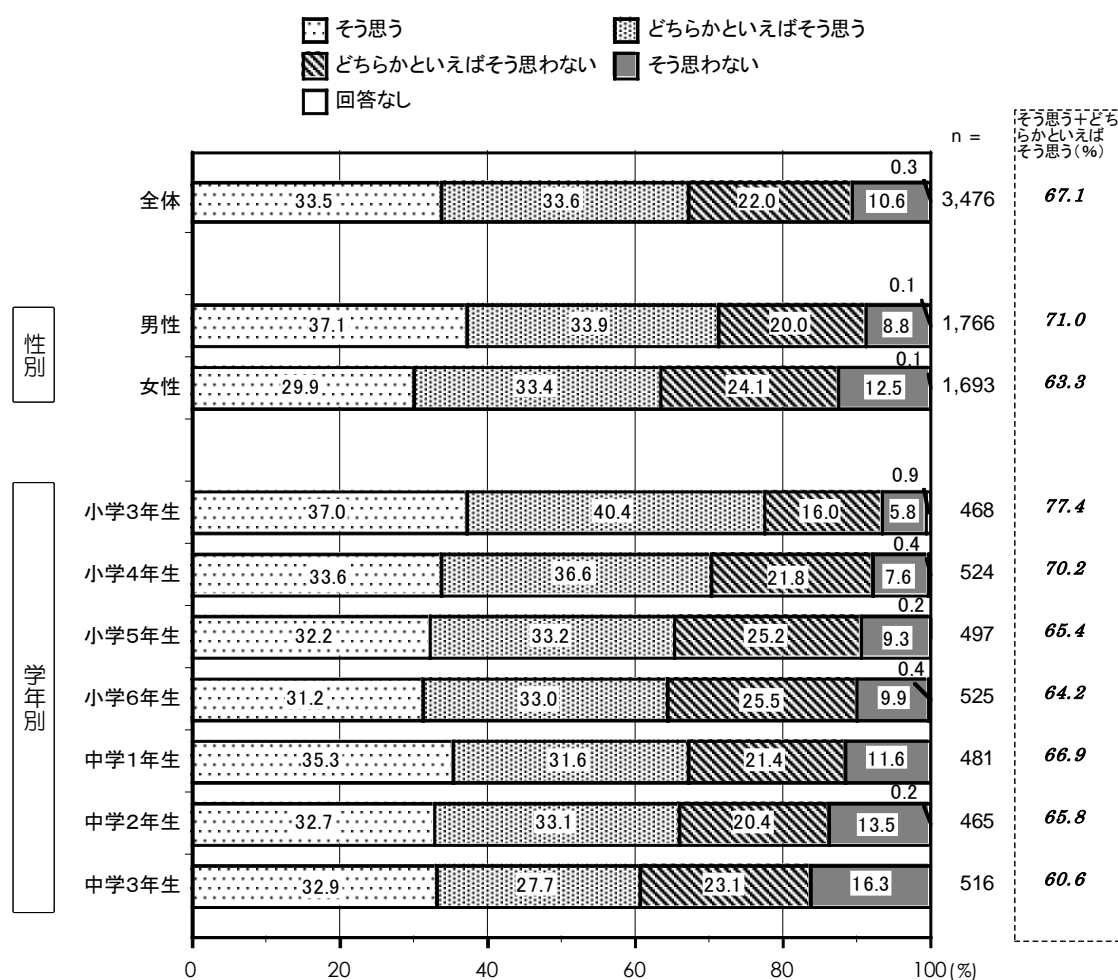


問5 あなたは、授業中に手をあげて、発言していますか？

「授業中に手をあげて発言している」と思う児童・生徒の割合は、「そう思う」が33.5%、「どちらかといえばそう思う」が33.6%であり、合わせて67.1%となっています。

性別では、「そう思う」という児童・生徒の割合は、男性(37.1%)の方が女性(29.9%)よりもやや高くなっており、男性の方がやや積極的である状況がうかがえます。

学年別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、小学3年生(77.4%)が最も高く、全体と比べて10.3ポイント上回っている一方で、中学3年生(60.6%)が最も低く、全体を6.5ポイント下回っています。

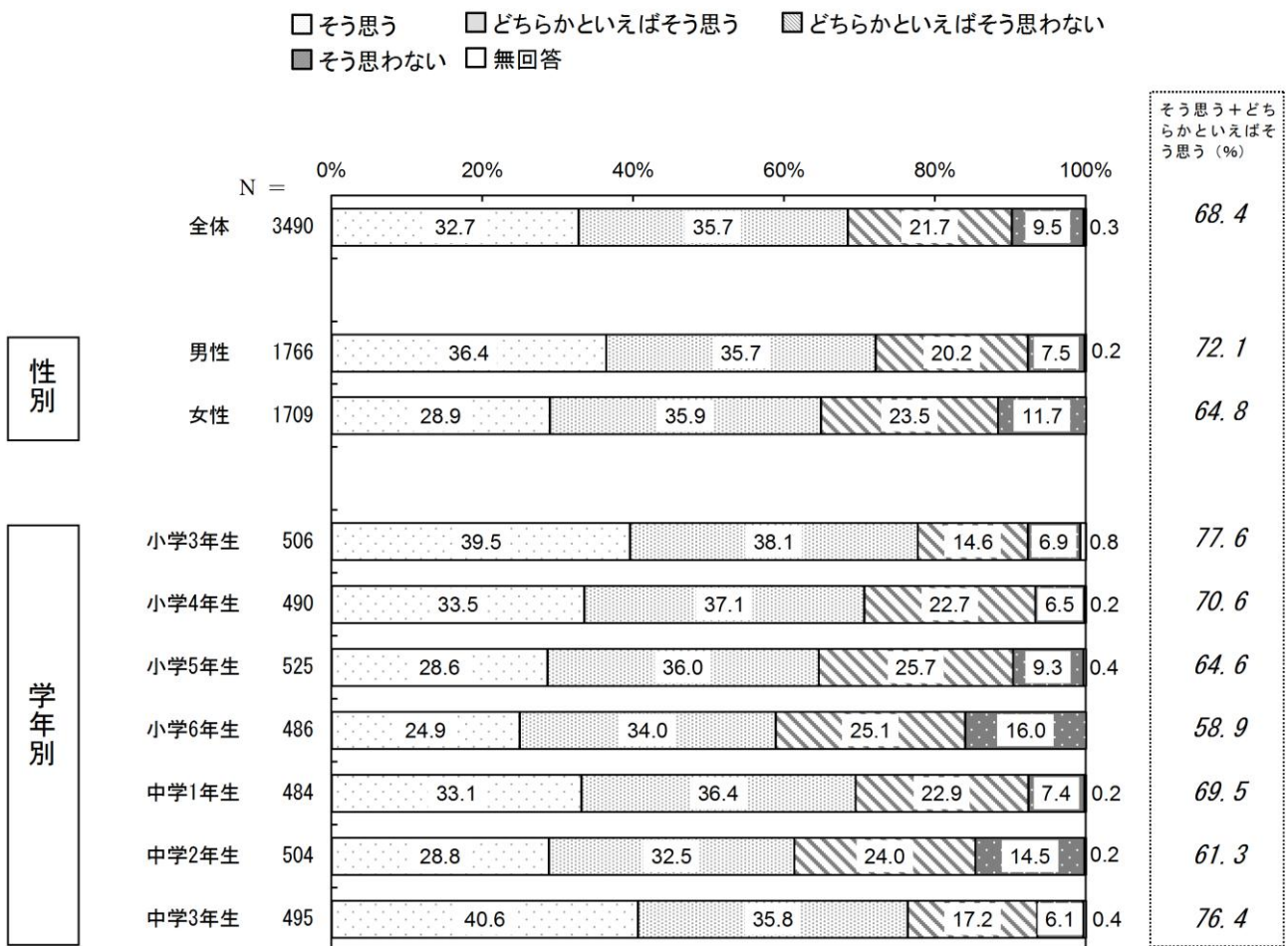


【前回調査との比較】

「授業中に手をあげて発言していると思う+どちらかといえばそう思う」児童・生徒の割合は、前回調査と比較すると全体では大きな変化は見られません。

学年別では、「授業中に手をあげて発言していると思う+どちらかといえばそう思う」児童・生徒の割合は、小学6年生（58.9%⇒64.2%）で5.3ポイント増加し、中学2年生（61.3%⇒65.8%）で僅かに増加している一方で、中学3年生（76.4%⇒60.6%）で15.8ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

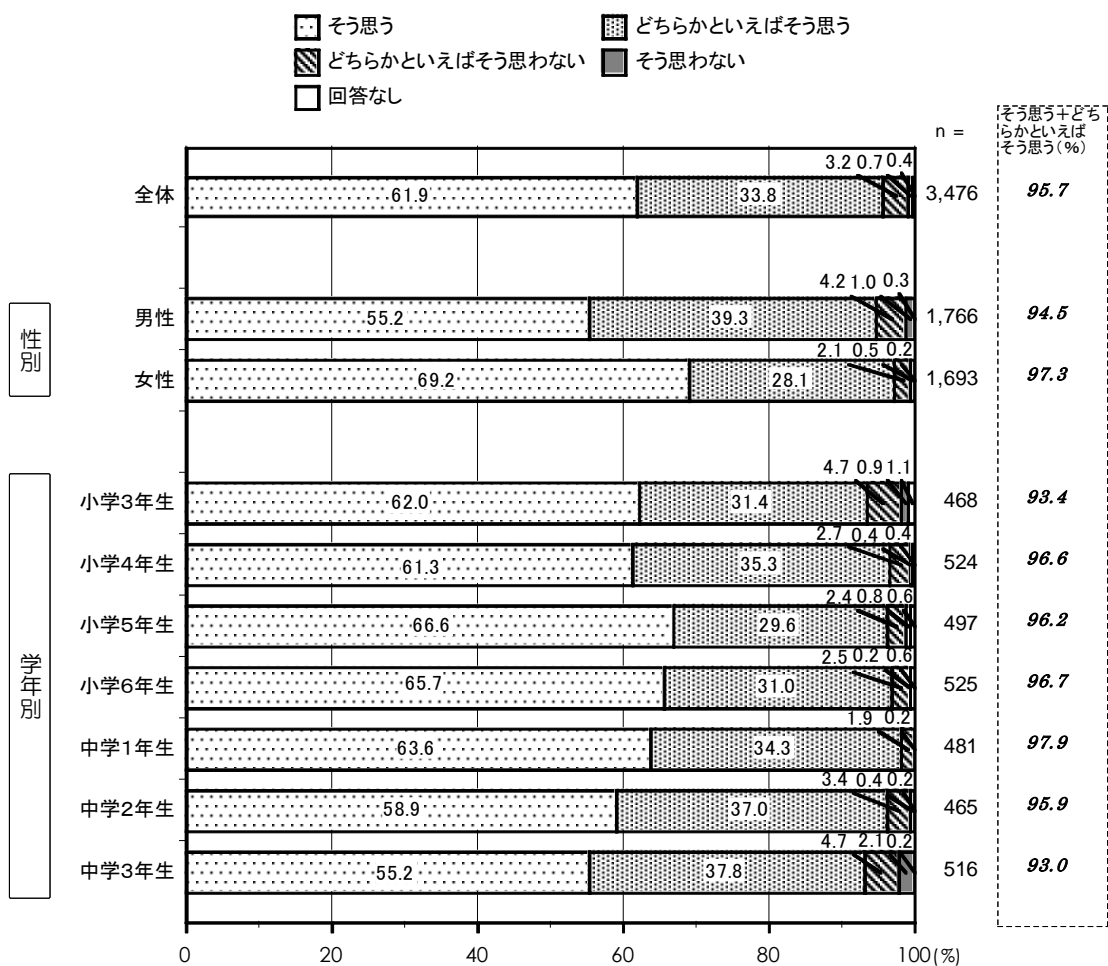


問6 あなたは、授業中に先生や友達の話聞いていますか？

「授業中に先生や友達の話をしている」と思う児童・生徒の割合は、「そう思う」が61.9%、「どちらかといえばそう思う」が33.8%であり、合わせて95.7%となっています。

性別では、「そう思う」という児童・生徒の割合は、男性（55.2%）で全体より6.7ポイント低くなっている一方で、女性（69.2%）で全体より7.3ポイント高くなっています。また、女性の方が男性より14.0ポイント上回っています。

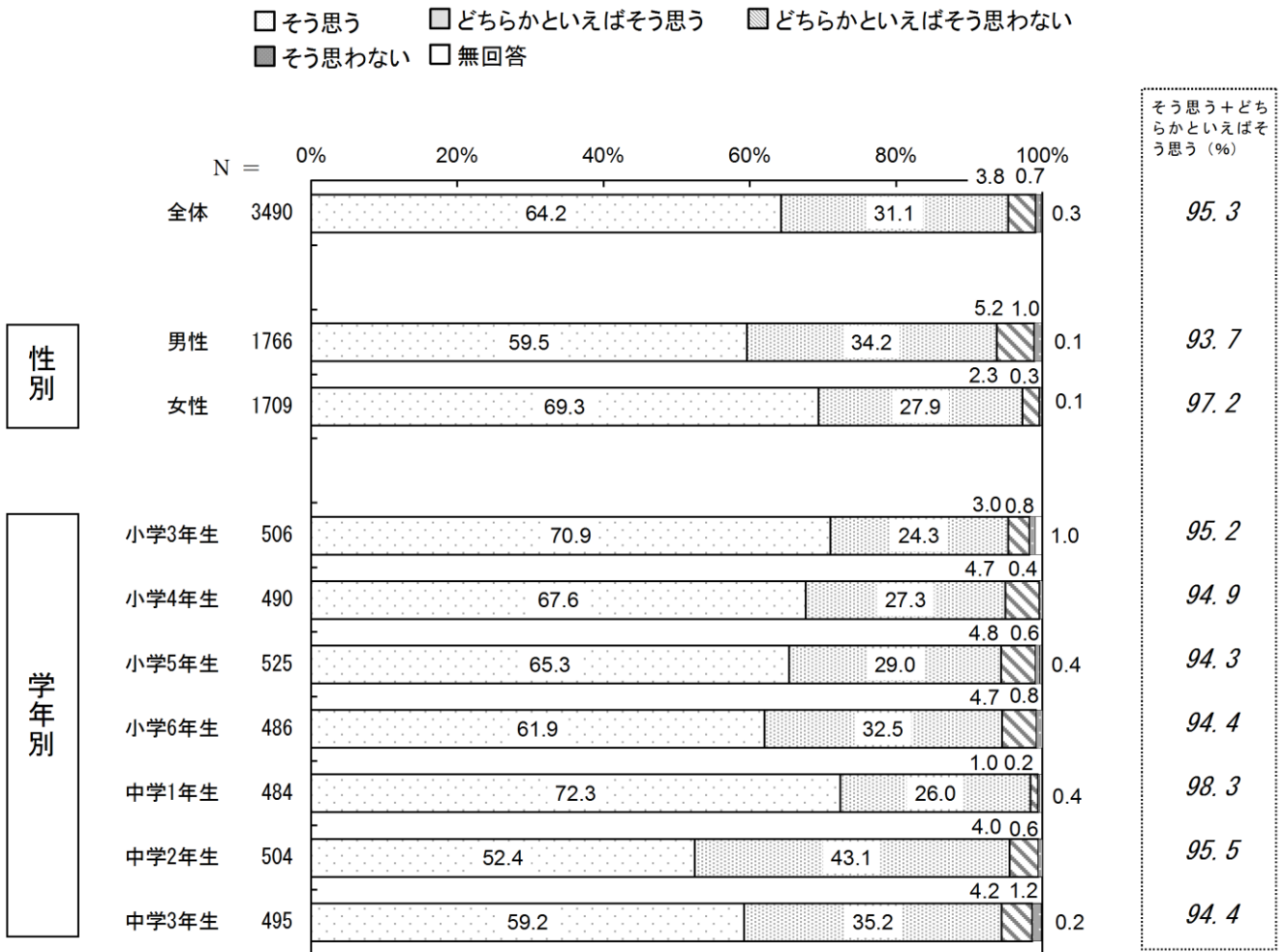
学年別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、中学1年生（97.9%）が最も高く、その他の学年でも9割を超えています。



【前回調査との比較】

「授業中に先生や友達の話をしていると思う+どちらかといえばそう思う」児童・生徒の割合は、前回調査と比較すると大きな変化は見られません。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》

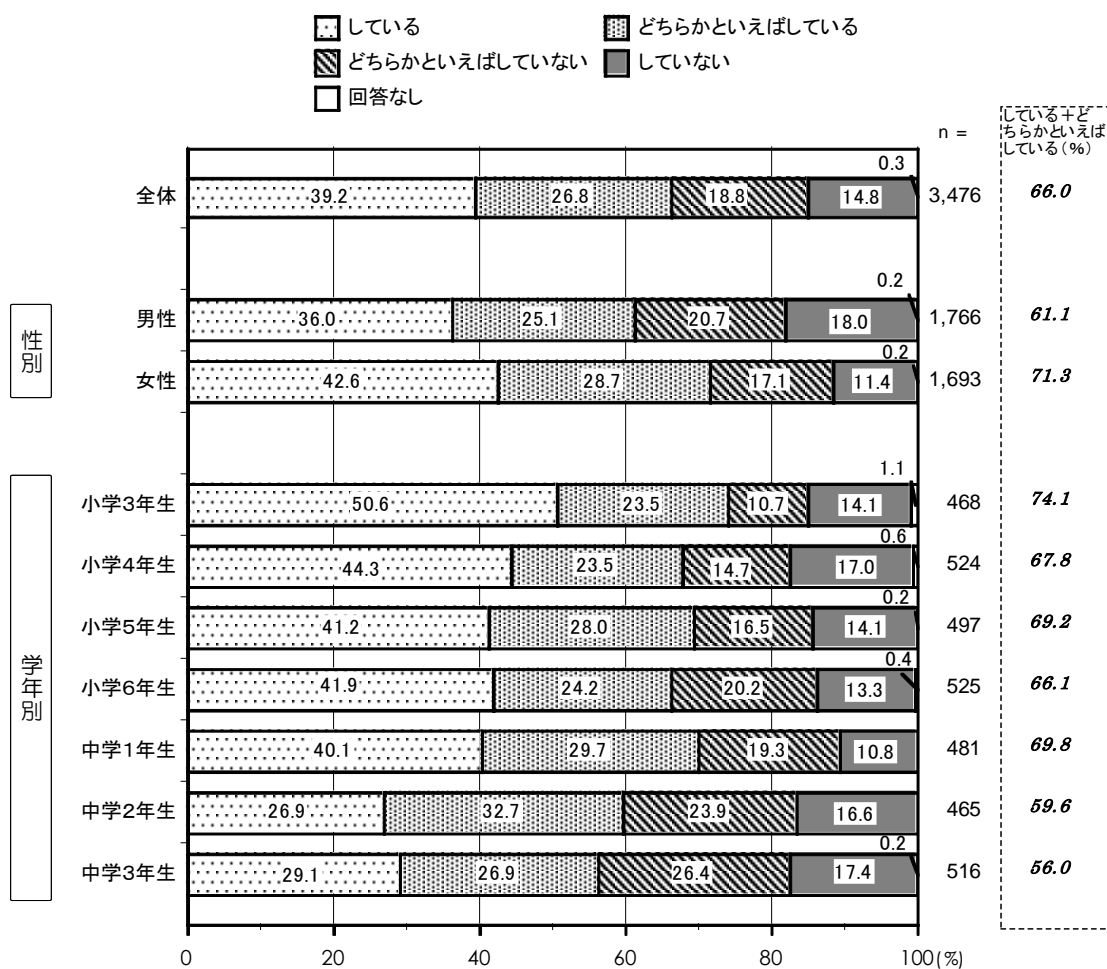


問7 あなたは、家で宿題以外の勉強をしていますか？

「家で宿題以外の勉強をしている」と答えた児童・生徒の割合は、「している」が39.2%、「どちらかといえばしている」が26.8%であり、合わせて66.0%となっています。

性別では、「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた割合は、女性（71.3%）の方が男性（61.1%）より10.2ポイント高くなっています。

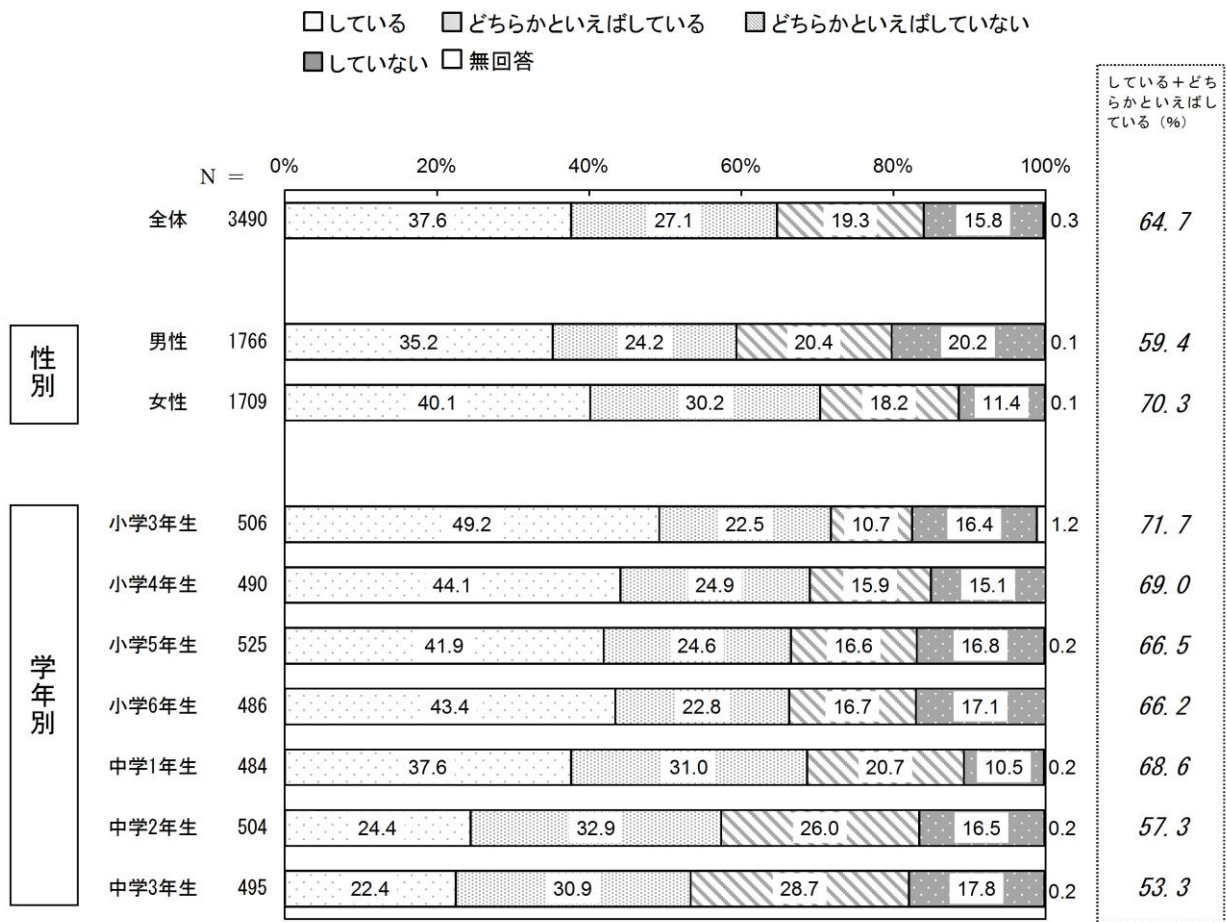
学年別では、「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた割合は、小学3年生（74.1%）が最も高く、中学3年生（56.0%）が最も低い割合となっており、中学3年生では全体よりも10.0ポイント低くなっています。また、中学2年生（59.6%）も全体よりやや低くなっています。



【前回調査との比較】

「家で宿題以外の勉強をしている+どちらかといえばしている」児童・生徒の割合は、前回調査と比較すると大きな変化は見られません。

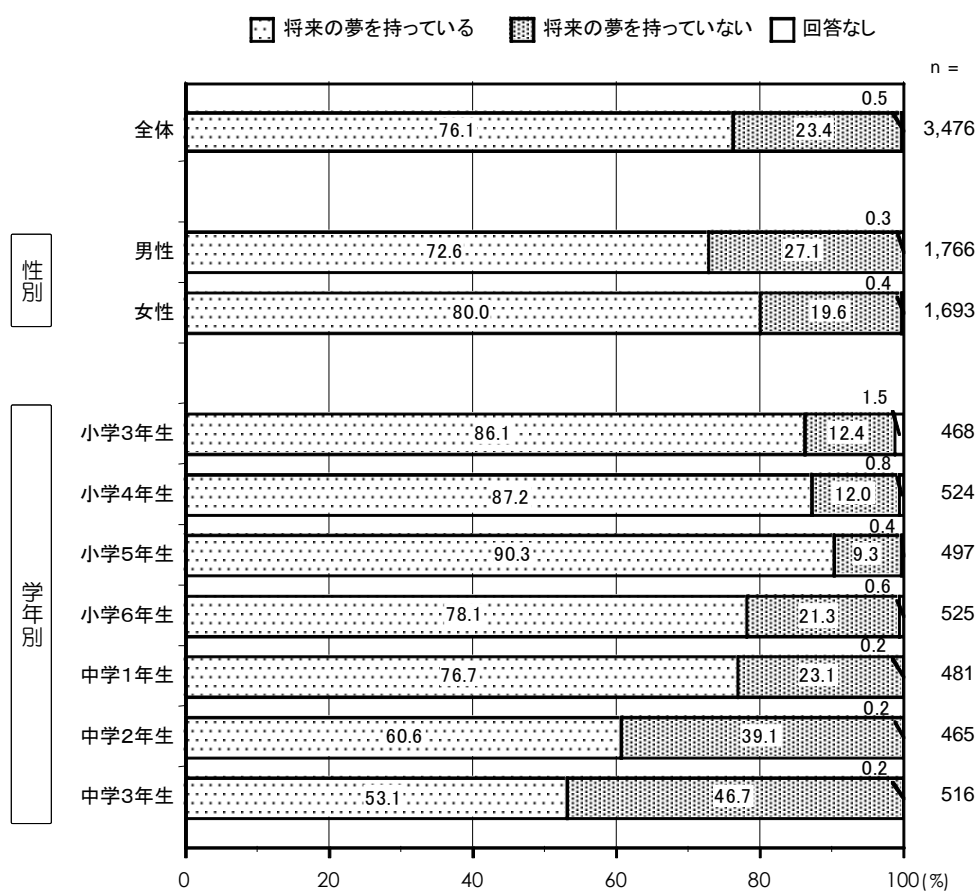
《参考：前回調査の結果（H28年度）》



問8 あなたは将来の夢を持っていますか？

「将来の夢を持っている」児童・生徒の割合は、76.1%となっています。

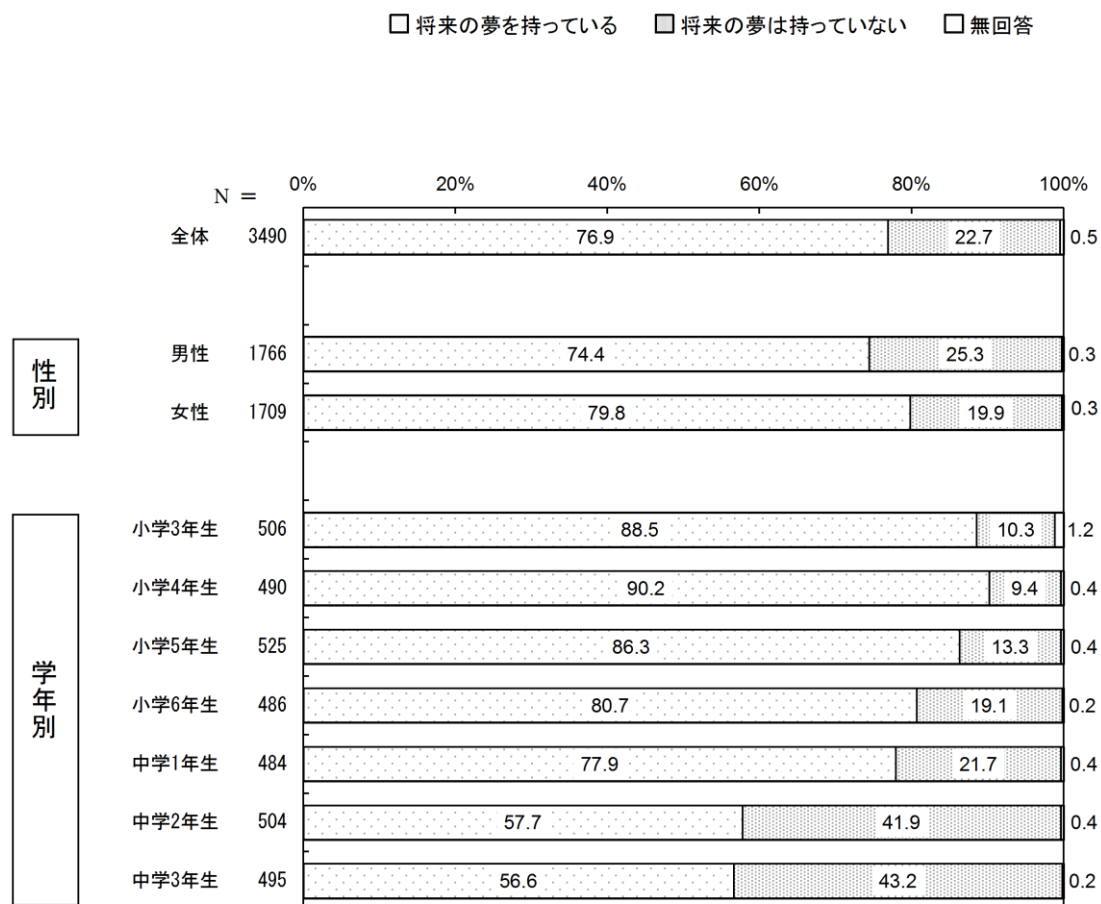
学年別では、「将来の夢を持っている」の割合は、小学5年生（90.3%）が最も高く、全体と比べて14.2ポイント上回っている一方で、中学3年生（53.1%）が最も低く、全体を23.0ポイント下回っています。また、小学5年生以降は、学年が上がるにつれて、「将来の夢を持っている」児童・生徒の割合が低くなる傾向が見られます。



【前回調査との比較】

「将来の夢を持っている」児童・生徒の割合は、前回調査と比較すると大きな変化は見られません。

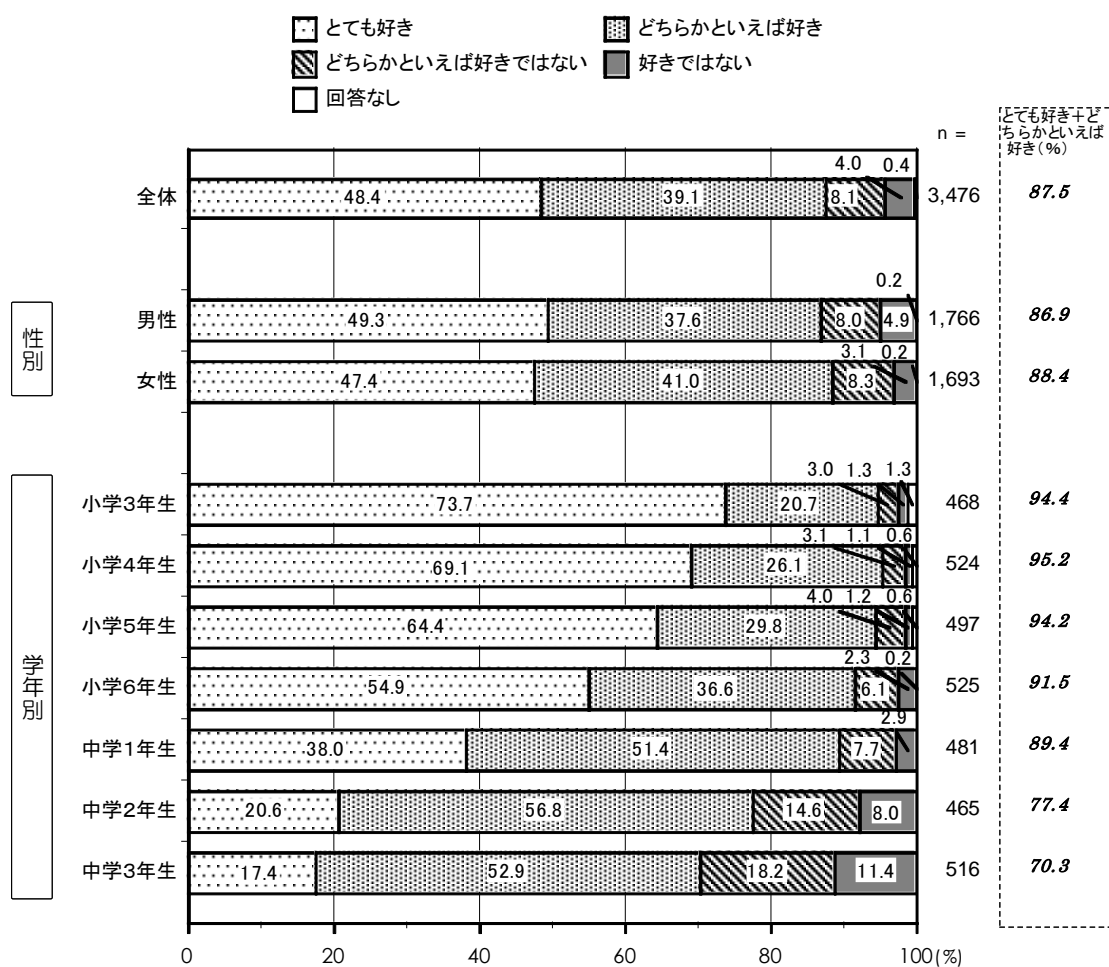
《参考：前回調査の結果（H28年度）》



問9 あなたは高浜市というまちが好きですか？

「高浜市というまちが好き」と答えた児童・生徒の割合は、「とても好き」が48.4%、「どちらかといえば好き」が39.1%であり、合わせて87.5%となっています。

学年別では、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた割合は、小学4年生（95.2%）が最も高く、中学3年生（70.3%）が最も低い割合となっています。また、「とても好き」と答えた児童・生徒の割合は、小学3年生では73.7%とかなりの割合を占めていますが、学年が上がるにつれてその割合が低くなる傾向がみられ、中学3年生では、17.4%まで低下しています。

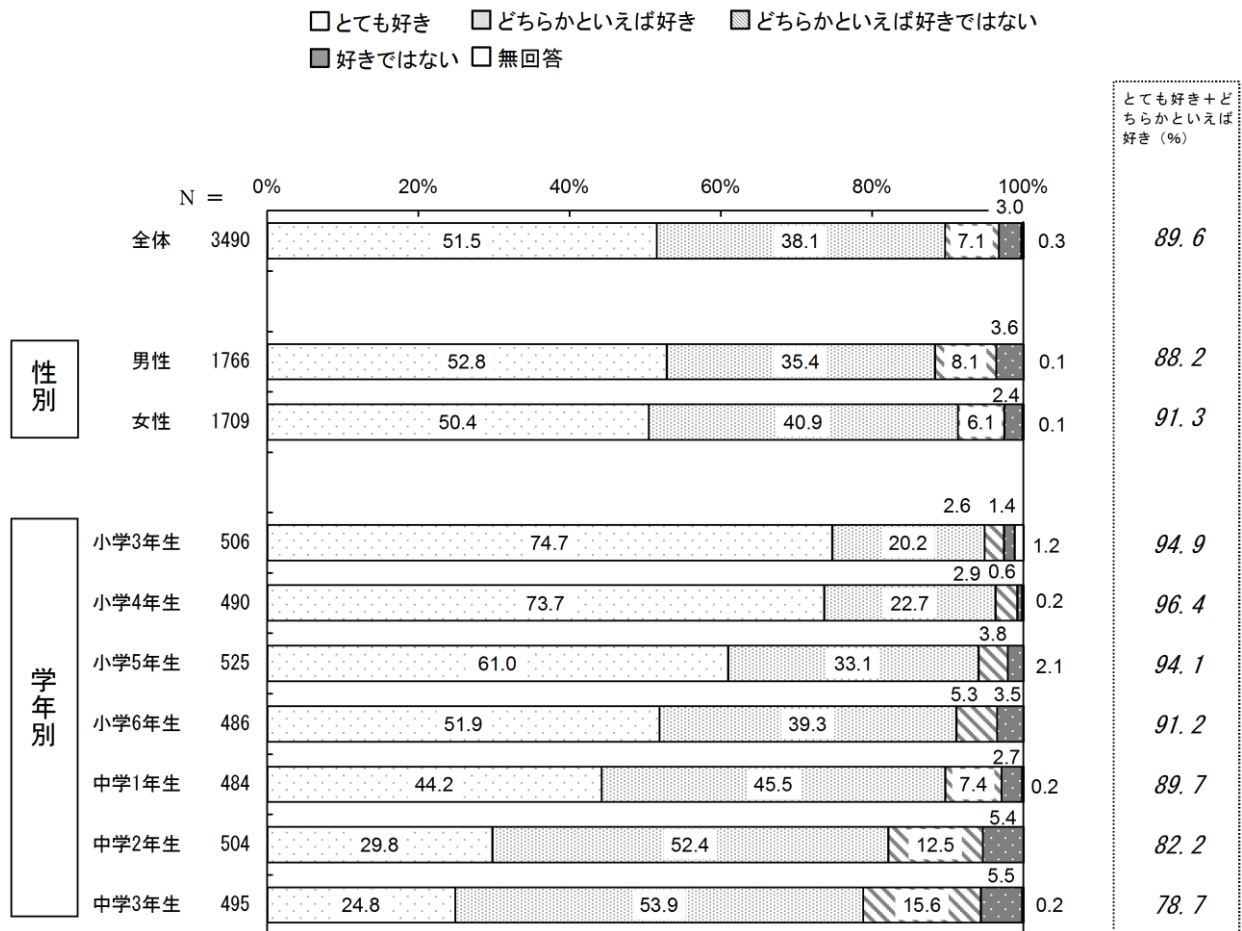


【前回調査との比較】

「高浜市が好き+どちらかといえば好き」と答えた児童・生徒の割合は、前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

学年別では、「高浜市が好き+どちらかといえば好き」と答えた児童・生徒の割合は、中学3年生（78.7%⇒70.3%）で8.4ポイント減少しています。

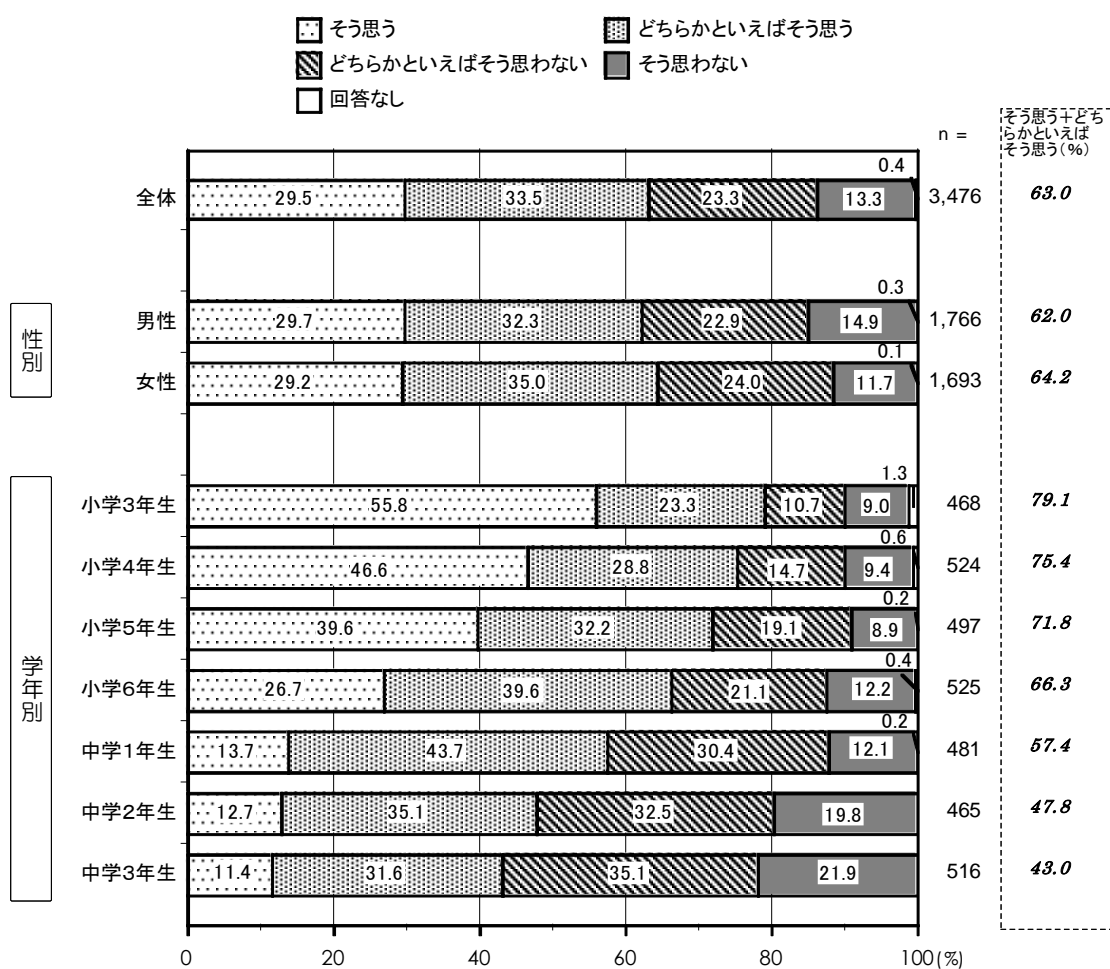
《参考：前回調査の結果（H28年度）》



問10 大人になっても高浜市に住んでいたいと思いますか？

「大人になっても高浜市に住んでいたい」と思う児童・生徒の割合は、「そう思う」が29.5%、「どちらかといえばそう思う」が33.5%であり、合わせて63.0%となっています。

学年別では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、小学3年生(79.1%)が最も高く、中学3年生(43.0%)が最も低い割合となっています。また、学年が上がるにつれて、「大人になっても高浜市に住んでいたい」と思う児童・生徒の割合が低くなる傾向が見られます。「そう思う」と答えた児童・生徒の割合についても同様の傾向が見られます。

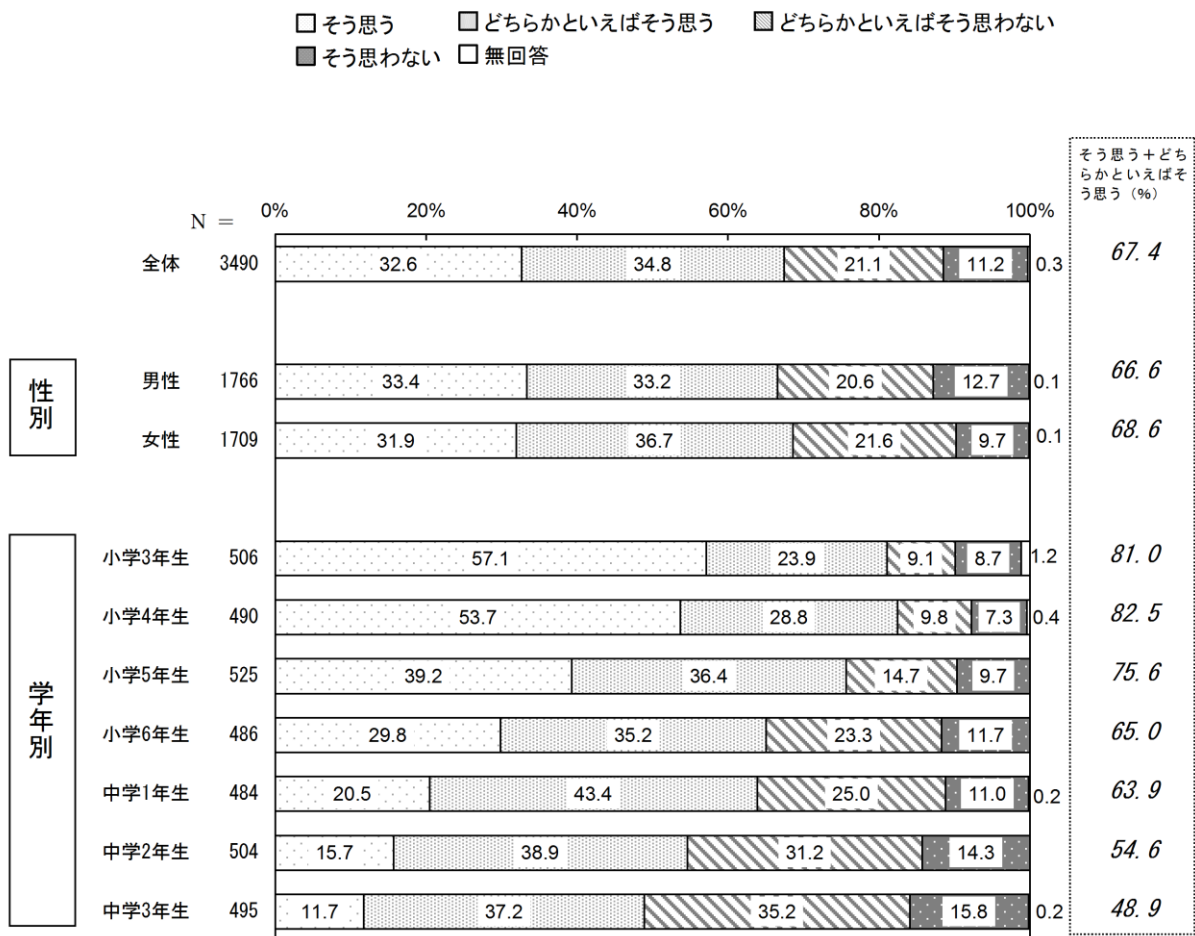


【前回調査との比較】

「大人になっても高浜市に住んでいたいと思う+どちらかといえばそう思う」と答えた児童・生徒の割合は、全体では（67.4%⇒63.0%）4.4ポイント減少しています。

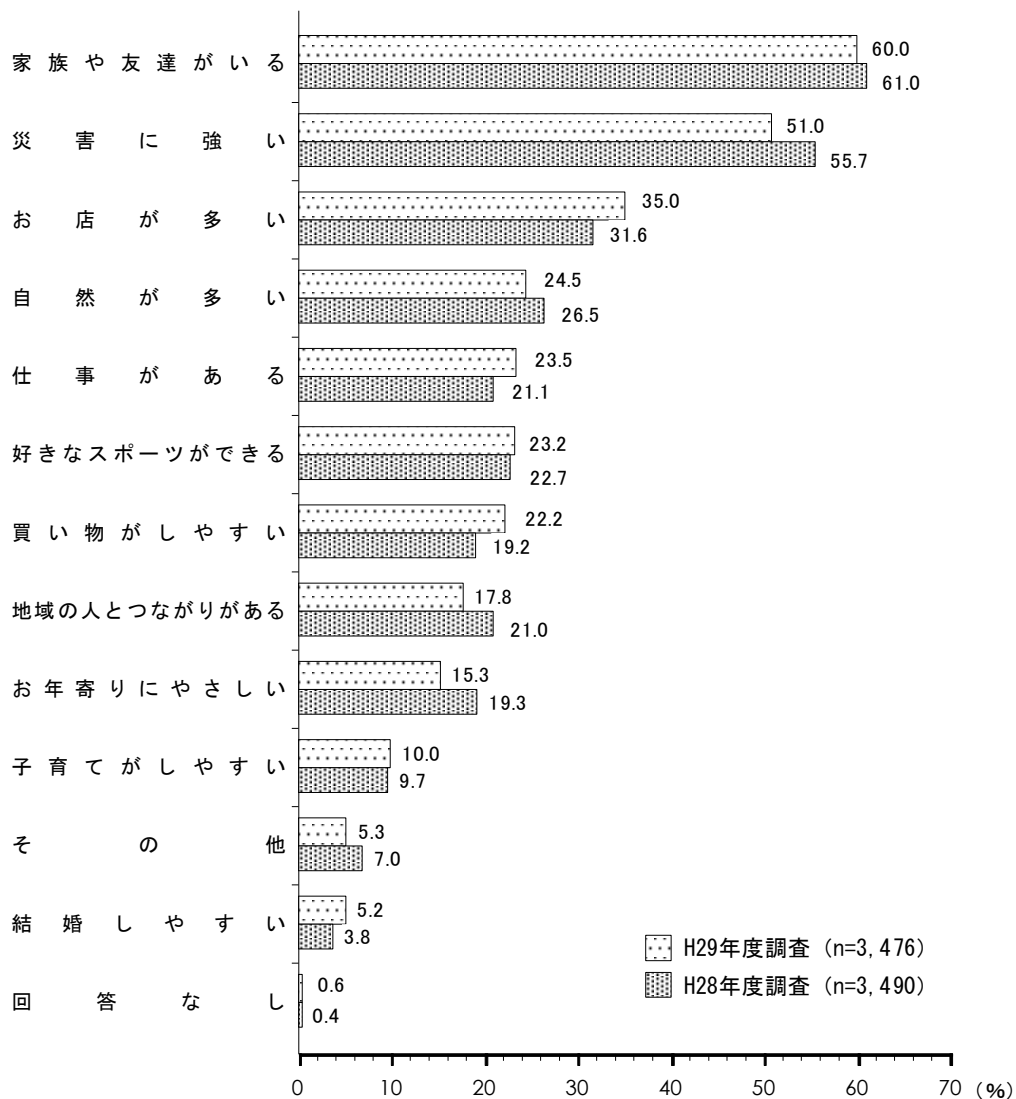
学年別では、「大人になっても高浜市に住んでいたいと思う+どちらかといえばそう思う」と答えた児童・生徒の割合は、小学4年生（82.5%⇒75.4%）で7.1ポイント減少、中学2年生（54.6%⇒47.8%）で6.8ポイント減少、中学1年生（63.9%⇒57.4%）で6.5ポイント減少、中学3年生（48.9%⇒43.0%）で5.9ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》



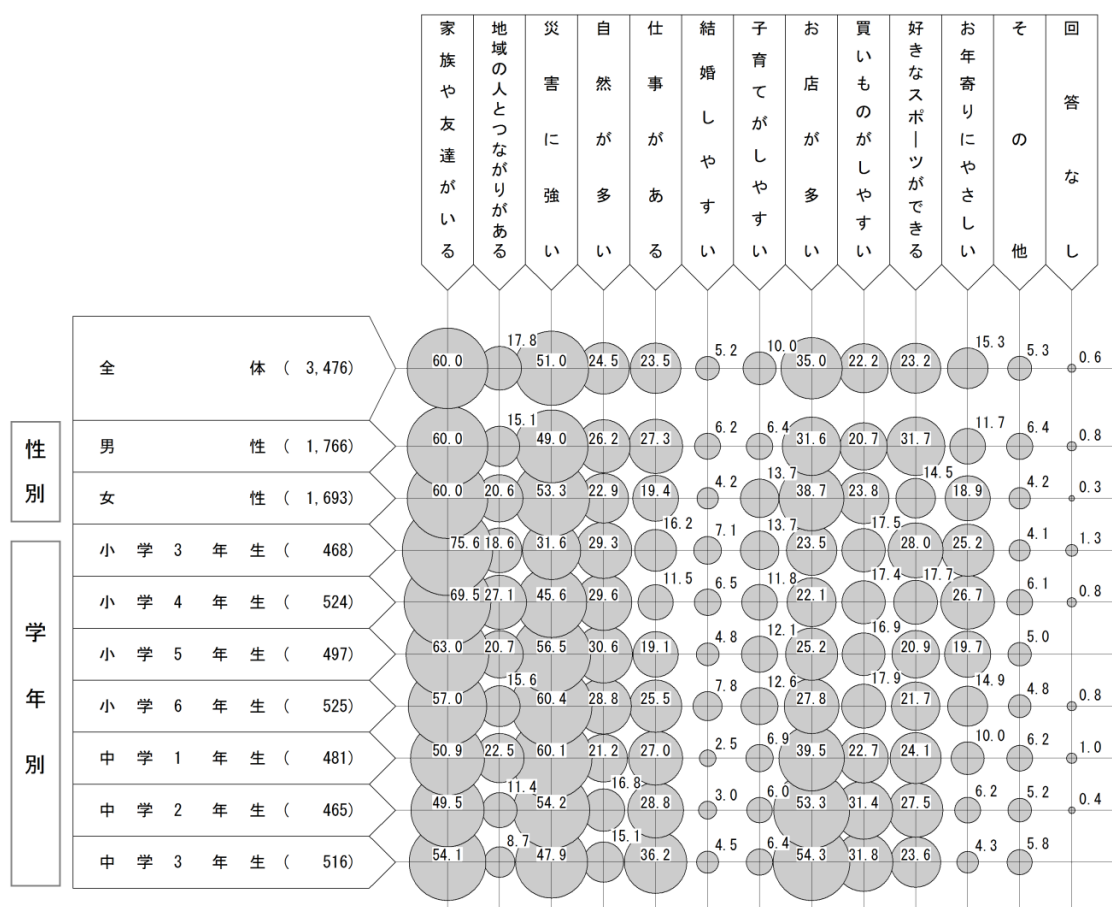
問11 高浜市がどんなまちならずっと住んでいたいと思いますか？あてはまる番号を3つ選んで「○」をしてください。〈3つに○印〉

「高浜市がどんなまちならずっと住んでいたいのか」については、「家族や友達がいる」の割合が60.0%と最も高く、次いで「災害に強い」の割合が51.0%、「お店が多い」の割合が35.0%となっています。



性別では、男女ともに「家族や友達がいる」の割合が60.0%で最も高くなっています。また、「好きなスポーツができる」の割合は、男性(31.7%)で全体より8.5ポイント高く、女性(14.5%)で全体より8.7ポイント低くなっています。

学年別では、「家族や友達がいる」の割合は、小学3年生(75.6%)で全体より高く、小学4年生(69.5%)で全体よりやや高くなっています。また、「仕事がある」の割合は、中学3年生(36.2%)で全体より高く、「お店が多い」の割合は、中学3年生(54.3%)と中学2年生(53.3%)で全体より高くなっています。「仕事がある」と「お店が多い」、「買い物がしやすい」の3項目については、いずれも小学4年生以降、学年が上がるにつれて割合が高くなるのに対して、「自然が多い」と「お年寄りにやさしい」の2項目については、概ね逆の傾向がみられます。



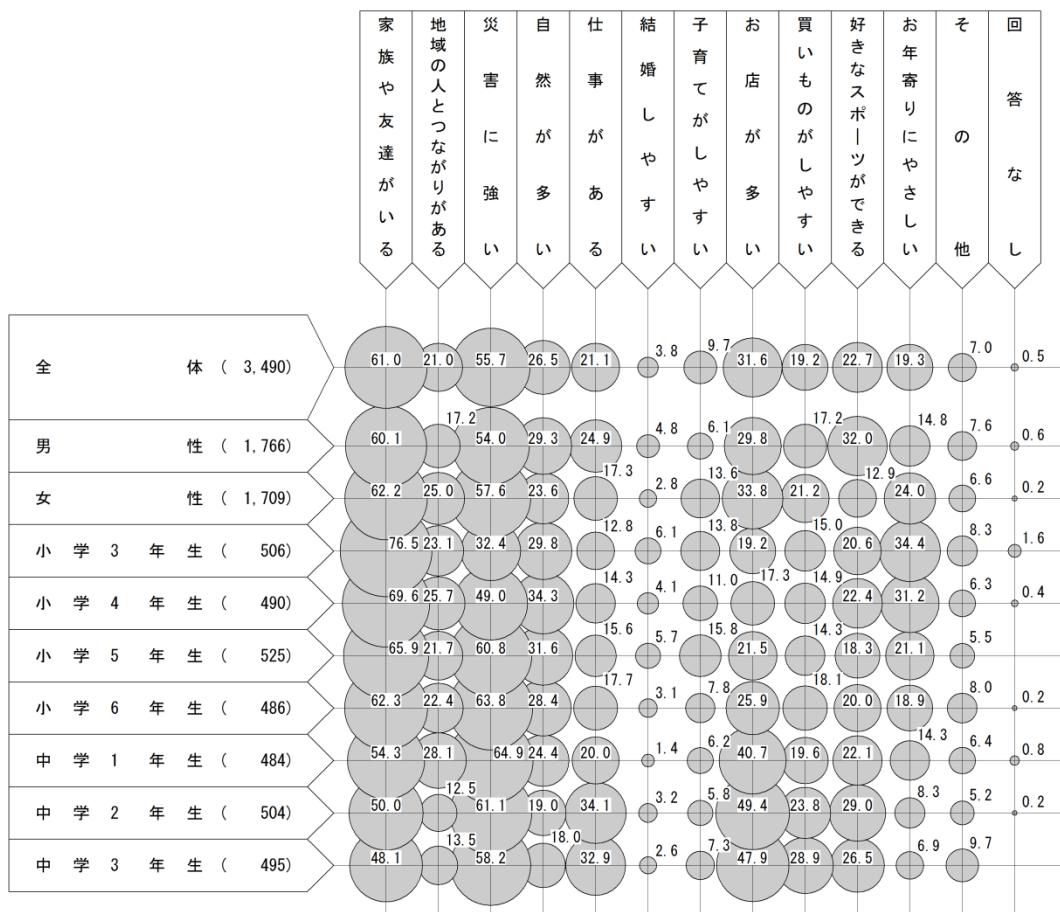
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

性別では、「災害に強い」の割合が男性（54.0%⇒49.0%）でやや減少しており、「お年寄りにやさしい」の割合が女性（24.0%⇒18.9%）でやや減少しています。

学年別では、「災害に強い」の割合が、中学3年生（58.2%⇒47.9%）で10.3ポイント減少、中学2年生（61.1%⇒54.2%）で6.9ポイント減少しています。「家族や友達がいる」の割合は、小学6年生（62.3%⇒57.0%）でやや減少している一方で、中学3年生（48.1%⇒54.1%）でやや増加しています。また、「地域の人とつながりがある」の割合は、小学6年生（22.4%⇒15.6%）と中学1年生（28.1%⇒22.5%）の2学年でやや減少しています。これに対して「仕事がある」の割合は、小学6年生（17.7%⇒25.5%）と中学1年生（20.0%⇒27.0%）、中学3年生（32.9%⇒36.2%）の3学年でやや増加しており、「お店が多い」の割合は、中学3年生（47.9%⇒54.3%）、「買い物がしやすい」の割合は、中学2年生（23.8%⇒31.4）でそれぞれやや増加しています。それから、小学3年生では、「好きなスポーツができる」の割合（20.6%⇒28.0%）がやや増加している一方で、「お年寄りにやさしい」の割合（34.4%⇒25.2%）が9.2ポイント減少しています。

《参考：前回調査の結果（H28年度）》



高浜市まちづくりや市民生活の現状
及び児童・生徒の意識や行動に関する
アンケート報告書
【概要版】

発行：平成 29 年 6 月

編集：高浜市企画部総合政策グループ

〒444-1398 高浜市青木町四丁目 1 番地 2

TEL：0566-52-1111

FAX：0566-52-1110

Email：seisaku@city.takahama.lg.jp